

# 大野市子ども・子育て会議（第1回） 次第

日 時 令和元年7月2日（火）午後7時～

場 所 結とびあ 302号室

## 1 開 会

## 2 委嘱状交付

## 3 市長あいさつ

## 4 自己紹介

## 5 会長、副会長の選任について

会長 \_\_\_\_\_ 副会長 \_\_\_\_\_

## 6 議 事

### (1) 大野市子ども・子育て支援事業計画（案）の策定について

- ・計画策定の趣旨について
- ・本市の出生数などの推移の状況について
- ・本市の子育て支援事業等の取り組みについて
- ・昨年実施した保護者に対するニーズ調査結果について

### (2) その他

## 7 閉 会

大野市子ども・子育て会議委員名簿

任期:委嘱の日から令和3年7月1日まで

NO	区 分	団 体・機 関 名	役 職	氏 名
1	学識経験者	仁愛大学	人間生活学部 子ども教育学科 准教授	青井 夕貴
2		大野市民生委員児童委員協議会	会長	清水 進治
3	子どもの保護者の代表者	大野市立保育園保護者連合会	会長	木原 雄大
4		民間保育園等保護者	大野市民間保育園保護者会連合会 会長	松田 匡彦
5		放課後児童クラブ保護者	代表	砂子 智美
6		大野市PTA連合会	副会長	野尻 紀江
7		地域子育て支援センター利用者	代表	岡崎 秀美
8		子育て交流広場ちゅっ・たっく利用者	代表	中道 真由美
9		フレディの会	役員	横町 紀美代
10	子ども・子育て支援に関する事業に従事する者の代表者	公立保育園	代表(あかね保育園 園長)	松田 明子
11		大野市民間保育園等	いとよ保育園 園長	村上 珠乃
12		大野市児童センター	館長	幅岸 清美
13		大野市小中学校校長会	代表(陽明中学校校長)	青木 俊文
14	事業主の代表者	大野商工会議所	総務課長	田中 伸恵
15	市長が必要と認める者	福井県奥越健康福祉センター	地域保健福祉課長	堀本 弘美
16		公募(18歳以上の一般公募委員)		高橋 美保
17		公募(祖父母世代で子育て支援に関心のある人)		竹下 慶子

事務局

所	属	役 職	氏 名
大野市民生環境部		部長	坂井 八千代
大野市民生環境部福祉こども課		課長	山田 徹夫
大野市民生環境部福祉こども課		課長補佐	多田 桂子
大野市民生環境部福祉こども課		企画主査	善藤 照美

# 令和元年度 計画策定スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子ども・子育て支援事業計画			委員公募	第1回会議			第2回会議			第3回会議	議会説明	第4回会議
	ニーズ調査の取りまとめ			関係団体からの意見聴取依頼	素案の検討 ・新規施策の検討 ・計画の数値目標の検討		素案の説明 関係団体からの意見聴取	計画案の数値目標の決定	計画案の説明		パブリックコメント	

## 1 計画策定の趣旨

近年、我が国では、出生数の減少や出生率の低下に伴い、急速に少子化が進行しています。子どもや子育てを取り巻く環境が厳しくなっており、核家族化や地域のつながりの希薄化などから子育てに不安や孤立感をもつ保護者も少なくありません。また、仕事と子育ての両立を支援する環境の整備が求められています。

これらの課題に対処し、子育て世代が子育てしやすい社会にしていくためにも、地域の実情に応じた多様な子育て支援など、新たな取り組みが必要となります。

平成24年8月には子ども・子育て関連3法が成立し、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的提供や、地域の子ども・子育て支援の充実のための新たな子育て支援制度が整備されました。

市町村は、この新制度に基づき、幼児期の学校教育・保育をはじめとする子ども・子育て支援事業の提供体制の確保に関する子ども・子育て支援事業計画を策定しています。

本市においては、この第1期計画の期間が、平成27年度から5年間となっていることから、子育て支援に関するこれまでの成果と課題を検証し、今年度、新たに第2期計画を策定します。

第2期計画は、子育て世代が安心して子育てしやすい環境を整備するとともに、すべての子どもの健やかな育ちと保護者が喜びを感じながら子育てができるまちづくりを目指すことを目的に策定します。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画として策定するものであり、今後の地域における幼児期の学校教育・保育の提供体制や子育て支援事業の実施内容、その時期などを示すものです。

また、本市においては、子どもを産み育てることに喜びを感じ、次世代の社会を担う宝である子どもたちが、健やかに育つことのできる地域の実現に向け、大野市次世代育成支援対策推進行動計画を策定し、着実な推進に取り組んでいますが、その取り組みは、本市の子ども・子育て支援の充実を図る上で、今後も重要な役割を担っていきます。

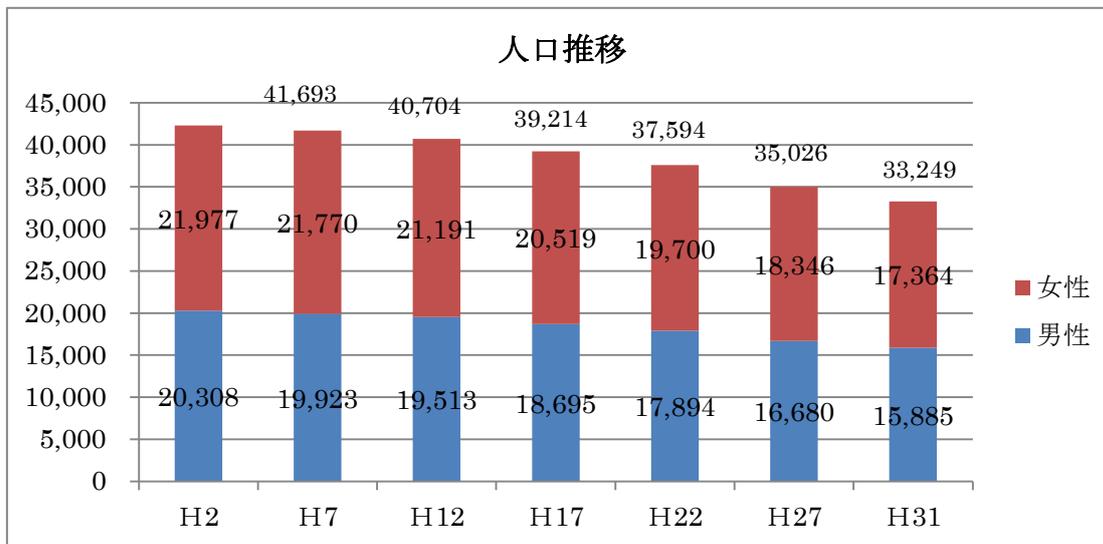
本計画は、次世代育成支援対策も踏まえた幅広い視点から策定することとし、本市の上位計画である大野市総合計画や、その他の個別計画との整合性を図りながら策定することとします。

## 3 計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とします。

なお、計画期間中においても、社会情勢の変化や子育て支援のニーズに対応するため、大野市子ども・子育て会議において、必要に応じて各施策の見直し等を行います。

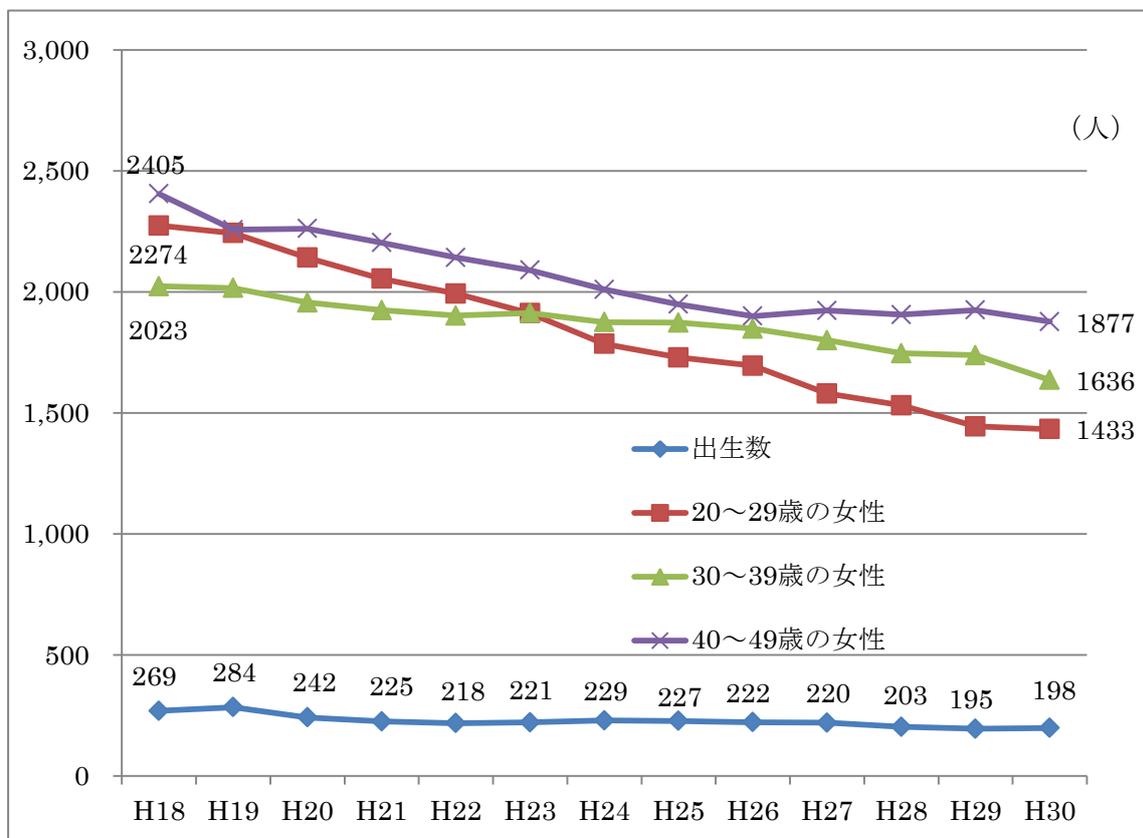
### ①本市の出生数などの推移の状況



※各年4月1日

大野市住民基本台帳

### ②出生数と20～49歳の女性の人数の推移

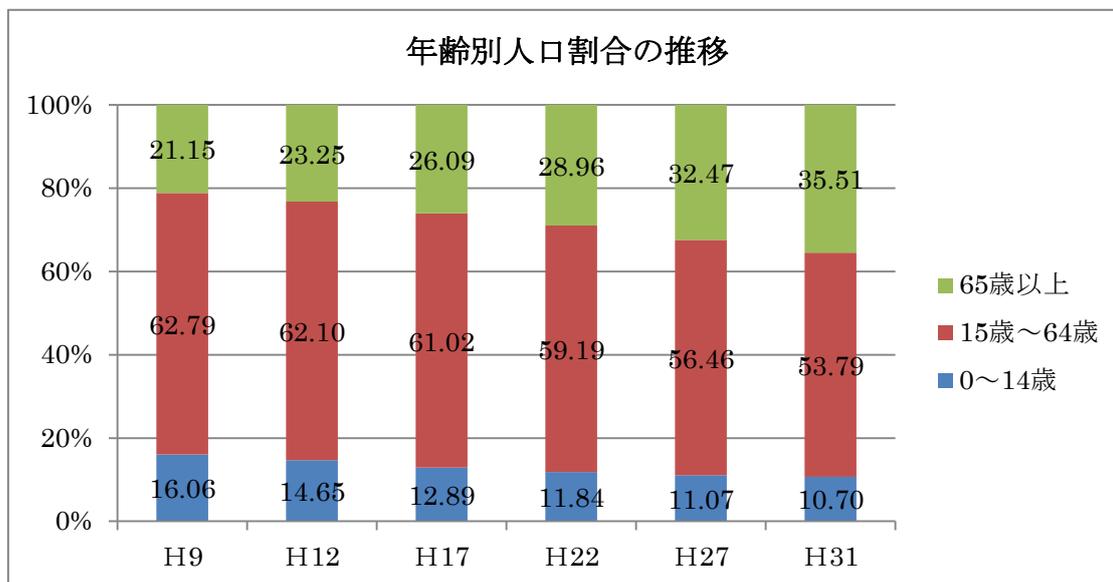


※各年1月1日の20歳から49歳までの女性の人数

大野市住民基本台帳

※出生数は、各年1年間の出生数

### ③年齢別人口割合の推移

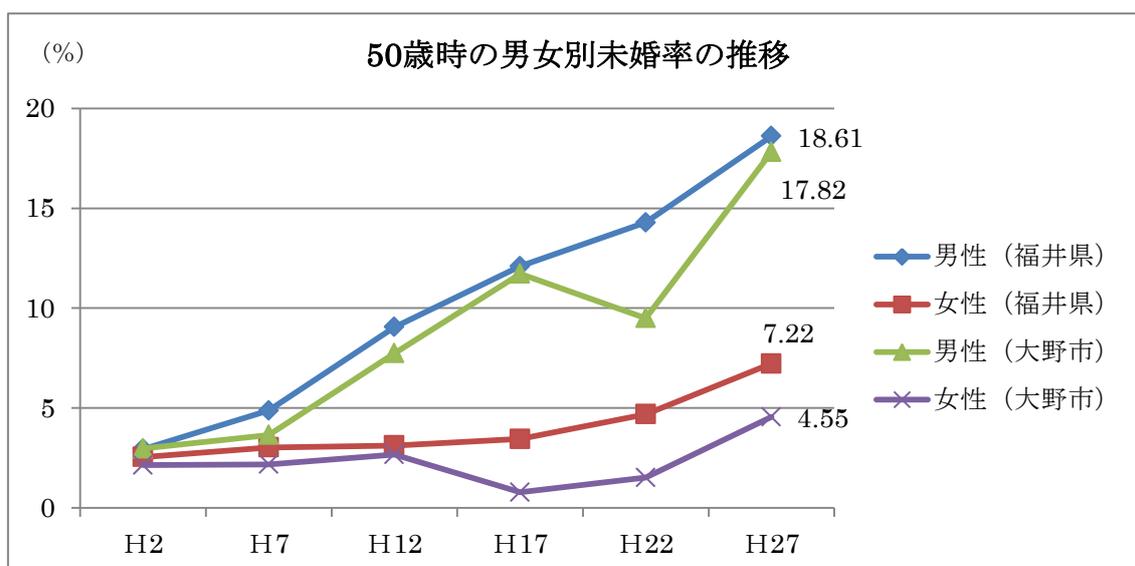


※各年4月1日

大野市住民基本台帳

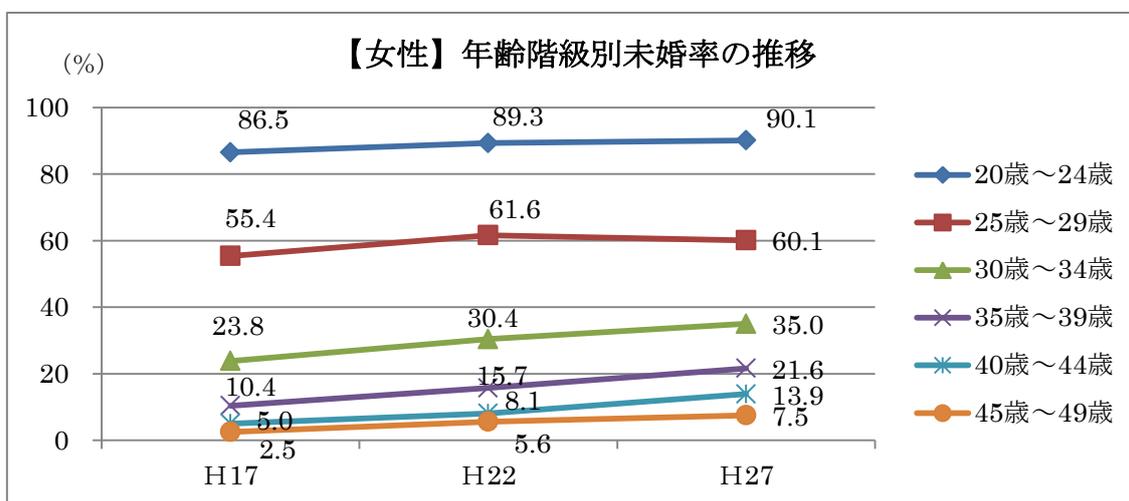
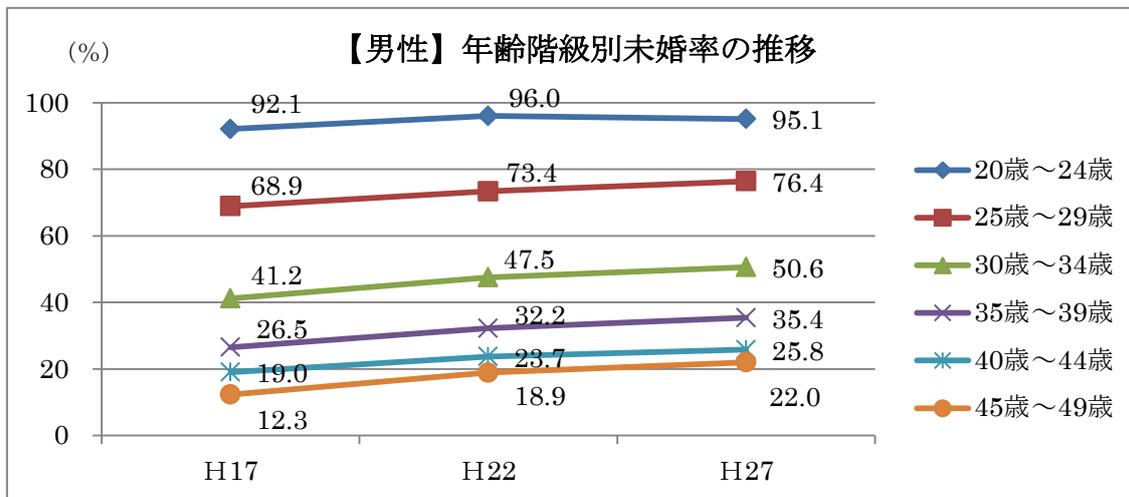
### ④50歳時の男女別未婚率の推移

	H2	H7	H12	H17	H22	H27
男性(福井県)	2.95	4.87	9.05	12.10	14.29	18.61
女性(福井県)	2.55	3.03	3.12	3.45	4.69	7.22
男性(大野市)	2.97	3.65	7.74	11.72	9.50	17.82
女性(大野市)	2.14	2.18	2.67	0.78	1.52	4.55



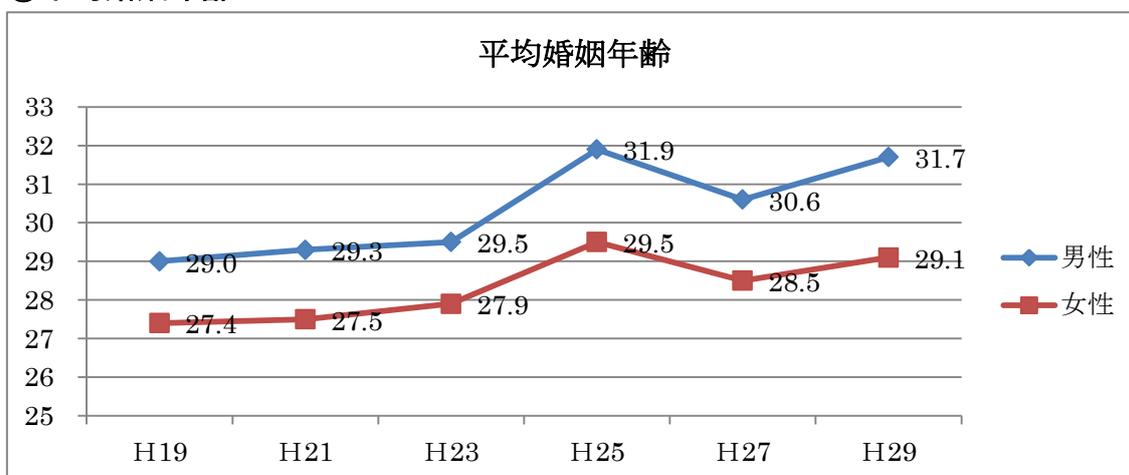
平成27年国勢調査福井県独自集計報告書～人口等基本集計分～

### ⑤年齢階級別未婚率の推移



国勢調査人口等基本集計

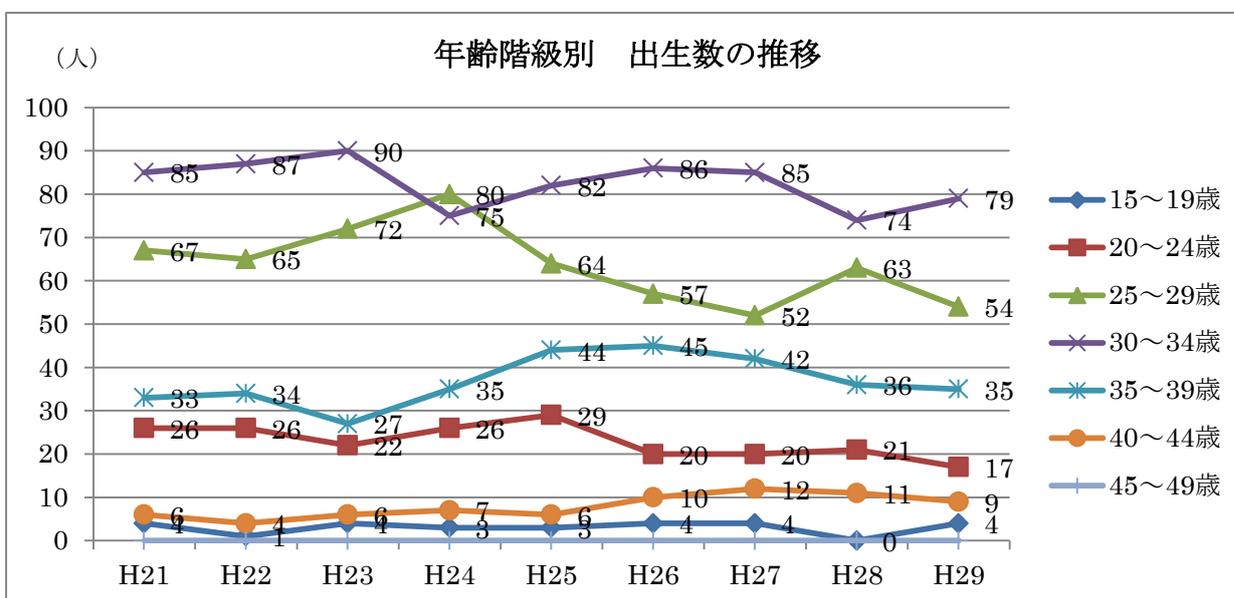
### ⑥平均婚姻年齢



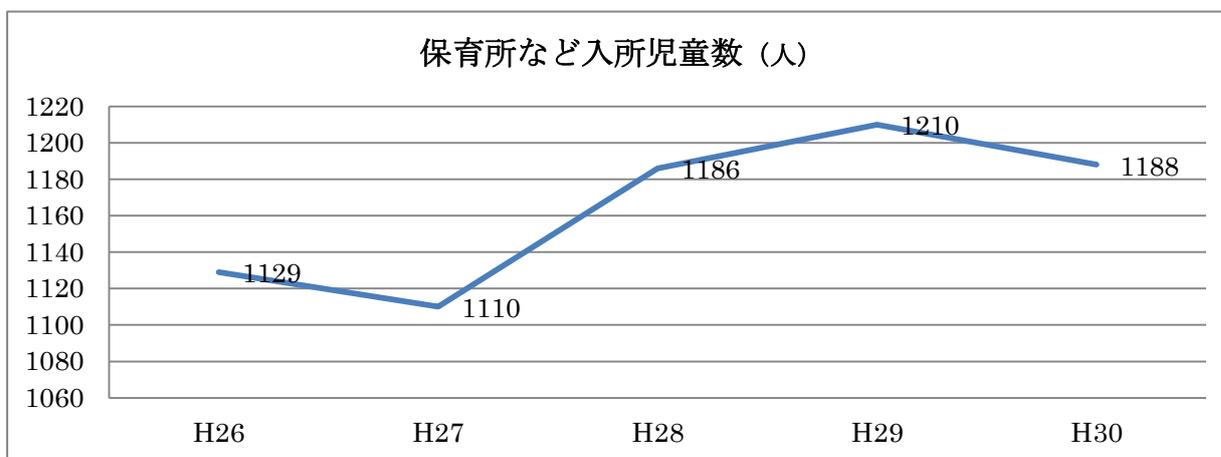
福井県衛生統計年報人口動態統計

### ⑦年齢階級別 出生数の推移

出生数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
15～19歳	4	1	4	3	3	4	4	0	4
20～24歳	26	26	22	26	29	20	20	21	17
25～29歳	67	65	72	80	64	57	52	63	54
30～34歳	85	87	90	75	82	86	85	74	79
35～39歳	33	34	27	35	44	45	42	36	35
40～44歳	6	4	6	7	6	10	12	11	9
45～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	221	217	221	226	228	222	215	205	198



### ⑧保育所などの入所児童数の推移



各年1月1日時点の入所数(ただし、幼稚園は一部5月1日の入園数)

第2章 教育・保育の量の見込みと提供体制

(単位：人)

認定区分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	1号	2号	3号												
①量の見込み	49	638	354	48	618	344	46	598	333	52	646	444	52	608	427
②確保方策															
教育・保育施設	140	659	341	70	639	351	80	614	366	75	663	387	90	673	387
地域型保育事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②-①	91	21	-13	22	21	7	34	16	33	23	17	-57	38	65	-40
実績	40	612	487	48	665	495	58	656	507	64	653	476			

※H31.3末（管内+管外）

※1号認定：満3歳以上の学校教育のみの就学前の子ども（保育の必要性なし）

2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前の子ども

3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた子ども

※教育・保育施設：認定こども園・幼稚園・保育所

### 第3章 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制

#### 1. 利用者支援事業

子育てに関する情報を市民に広く発信するとともに、利用者からの相談には必要な情報提供と助言を行いながら、利用者のニーズに答えられる体制をとっている。

#### 2. 地域・子ども子育て支援拠点事業

結とぴあ内の地域子育て支援センターとV I O内の子育て交流ひろば「大野市子育て交流ひろばちっく・たっく」で、専任保育士を配置して、子育て中の親子の交流・育児相談等の事業を実施します。

(単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	24,000	23,300	22,500	21,800	21,000
②確保方策	24,000	23,300	22,500	21,800	21,000
②-①	0	0	0	0	0
実績	30,803	29,918	28,783	27,504	

#### 3. 妊婦健康診査

母子保健法に規定されており、県医師会と、県外の契約医療機関（里帰り等）において、妊婦が定期的に行う健診費用の助成を実施します。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	203 人 健診回数 2,842 回	196 人 健診回数 2,744 回	190 人 健診回数 2,660 回	183 人 健診回数 2,562 回	177 人 健診回数 2,478 回
②確保方策	203 人 健診回数 2,842 回	196 人 健診回数 2,744 回	190 人 健診回数 2,660 回	183 人 健診回数 2,562 回	177 人 健診回数 2,478 回
②-①	0	0	0	0	0
実績	221 人 健診回数 2,546 回	201 人 健診回数 2,369 回	204 人 健診回数 2,460 回	164 人 健診回数 2,082 回	

#### 4. 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を保健師等が訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握を行います。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	203	196	190	183	177
②確保方策	203	196	190	183	177
②-①	0	0	0	0	0
実績	211	203	194	194	

#### 5. 養育支援訪問事業（要保護児童等に対する支援事業）

育児ストレスや未熟児・多胎児等を養育している家庭など支援が必要な家庭を訪問し、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるとともに、保護者の身体的・精神的負担を軽減するため家庭児童相談員と保健師が支援を行います。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	120	116	113	109	106
②確保方策	120	116	113	109	106
②-①	0	0	0	0	0
実績	123	169	206	138	

#### 6. 子育て短期支援事業

◆短期入所生活援助事業（ショートステイ）は、保護者が家庭において子どもを養育することが困難になった場合に、済生会乳児院と偕生慈童苑において一時的に預かります。

◆夜間養護等事業（トワイライトステイ）は、保護者が夜間に不在となり子どもを養育することが困難になった場合に済生会乳児院と偕生慈童苑において生活指導や食事の提供等を行います。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	25	24	24	23	22
②確保方策	25	24	24	23	22
②-①	0	0	0	0	0
実績	9	8	8	10	

## 7. ファミリーサポートセンター事業

子どもの預かりを希望する会員と、援助を行うことを希望する提供会員との相互援助活動に関する連絡・調整を実施する事業です。

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	0	0	0	0	0
②確保方策	0	0	0	0	0
②-①	0	0	0	0	0
実績	0	0	0	0	

## 8. 一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、保育所や認定こども園などにおいて、一時的に預かります。

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	4,600	4,400	4,300	4,100	4,000
②確保方策	4,600	4,400	4,300	4,100	4,000
②-①	0	0	0	0	0
実績	4,385	2,493	1,842	2,058	

## 9. 延長保育事業

保育所や認定こども園において、通常の保育時間（8時間又は11時間）を超えて保育を行います。

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	6,400	6,200	6,000	5,800	5,600
②確保方策	6,400	6,200	6,000	5,800	5,600
②-①	0	0	0	0	0
実績	2,831	3,064	3,453	3,875	

## 10. 病児・病後児保育事業

保育に欠ける子どもで、病気や病気の回復期にある場合に市内および勝山市、福井市の病院等で一時的に保育を行います。

(単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	200	194	188	181	175
②確保方策	200	194	188	181	175
②-①	0	0	0	0	0
実績	138	177	161	140	

## 11. 放課後児童クラブ

共働き家庭など留守家庭の小学生に対して、放課後に適切な遊び、生活の場を与え、児童の健全育成を図ります。

(単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	200	195	190	184	178
②確保方策	200	200	200	200	200
②-①	0	5	10	16	22
実績	252	238	249	292	

国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を進めます。

目標項目	目標(値)
1 放課後児童クラブの平成31年度に達成されるべき目標事業量	市内5カ所(5クラブ)で実施し、平成31年度では登録者数178人を見込んでいます。
2 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の平成31年度に達成されるべき目標事業量	地域の実情に併せて、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携事業を実施していきます。
3 放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画	市内5カ所(5校区)での実施をめざします。
4 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な、又は連携による実施に関する具体的な方策	共通プログラムの企画がスムーズに行えるよう、両事業従事者の合同研修を行います。
5 小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への活用に関する具体的な方策	放課後児童クラブは児童センターで開設し、放課後子ども教室は小学校や公民館等施設を活用し実施します。

<p>6 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施に係る教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策</p>	<p>児童館運営委員会や放課後子ども教室実行委員会等を活用し、情報交換・情報共有を行います。</p>
<p>7 地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組</p>	<p>地域の実情に応じて、開所時間の延長の必要性を検討します。</p>

## 第5章 子育て支援施策の展開

### 第1節 若者の出会いや結婚を支えるまちづくり

主な事業	事業内容	平成30年度実績
<b>1 結婚に向けた支援の充実</b>		
若者の交流の場の提供と結婚支援	人口減少・少子化対策の一環として、結婚を希望する若者を支援するため、婚活ステップアップ事業・ハッピープライダル応援事業のほか、新たな事業を展開します。県が実施する結婚支援事業等についても広く情報提供を行い、出会いの機会の拡大を図ります。また、婦人福祉協議会が行う「結婚相談事業」の充実等、結婚を希望する人が、安心して相談できる体制づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活セミナー 3回開催 延参加者数28名</li> <li>・婚活イベント 2回開催 延参加者数28人（連絡先交換9組）</li> <li>・ハッピープライダル応援事業 16件に補助（初年度9件、3年経過7件）</li> <li>・婦人福祉協議会の結婚相談事業 相談件数122件、見合件数2件、成立件数2件</li> </ul>

### 第2節 子どもを安心して産み育てるまちづくり

<b>1 親子の健康の保持増進</b>		
道路網の整備	混雑時や緊急時、積雪期における道路確保のために、命の道である中部縦貫自動車道の早期開通を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道大野油坂道路「大野東・油坂区間」の用地取得が完了し、「大野・大野東区間」でも約9割の用地取得が完了した。</li> <li>・大野油坂道路のトンネル10本うち7本が着手され、荒島第2トンネルや新長野トンネルの本格的な掘削工事などが進められた。</li> <li>・国道158号境寺・計石バイパスは、用地取得が進められ、一部、道路改良工事が行われた。また、1日も早い全線開通を福井市と連携し、県に対し強く要望している。</li> </ul>
不妊治療への支援	福井県不妊専門相談窓口との連携を図り、相談体制を充実します。不妊治療のうち、医療保険が適用されない人工授精や治療費が高額になる体外受精または顕微授精（冷凍胚移植を含む）について、その治療費の一部を助成する事業を継続して実施していきます。社会全体の理解を図るため、不妊の知識の普及、啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定不妊治療費助成事業 助成件数（実件数）28件（延件数）51件</li> <li>・ベビ待ちセミナー 4回開催</li> </ul>
親子の健康の保持	妊婦健診や乳幼児健診と予防接種について、医療機関との協力により実施率100%を目指し、受診体制や広報を強化します。また、妊娠・出産・育児不安軽減のための相談や健康教室等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診受診数（実人数）256人（延人数）2,451人</li> <li>・乳児健診受診数（実人数）338人（延人数）566人</li> <li>・1歳6か月児健診（対象者数）185人（受診者数）185人 受診率100.0%</li> <li>※受診者数にはH29年度未受診者でH30年度に受診された方1名も含む</li> <li>・3歳児健診（対象者数）226人（受診者数）226人 受診率100.0%</li> <li>※受診者数にはH29年度の未受診者でH30年度に受診された方2名を含む</li> <li>・予防接種接種率 BCG 96.6%、四種混合1期初回 97.9%</li> <li>麻しん風しん1期 97.6%、日本脳炎1期初回 92.2%</li> <li>・育児相談会（実施回数）24回（延参加者数）1,714人</li> </ul>
食育の推進	食生活改善推進員や関係機関、地域との連携により、栄養指導や地元で採れた野菜を使用した料理教室などを開催します。また、母親を対象に、自分自身の健康を大切にしながら、家庭での食育を推進を促す講座を開催します。家族そろっての食事の大切さ・団らんによる食事の楽しさも、重要な食育であるとの啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員地区活動で親子料理教室を実施 4回 72人</li> <li>・女性のための栄養講座を実施 3回 35人</li> <li>・離乳食教室（育児相談会と併せて実施） 12回 110人</li> <li>・保育所で育てた農作物を用いた食事回数 80回</li> </ul>

思春期保健対策の充実	性や性感染症に対する学習や飲酒、喫煙、薬物、暴力による健康被害に関する学習を子どもの発達に応じて行い、幸せな結婚、健やかな母体づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生 たばこ・飲酒教育を実施 3校 306人</li> <li>・高校生 たばこ教育を実施 1回 25人</li> </ul>
小児医療の充実	休日急患診療所での小児科診療を引き続き行います。また、福井県や福井県小児科医会などが行っている「子ども救急医療電話相談（短縮ダイヤル#8000）」や夜間・休日の小児救急体制、二次救急輪番体制について広く周知するため、広報を充実させます。	休日急患診療所小児科診療 74回 受診者数1,423人 1回当たり19人

## 2 教育・保育環境の充実

教育・保育の環境整備と質の向上	民間保育所における施設の老朽化に伴う改築整備については、特別保育等が実施できるスペースの確保を優先して、適正な整備を促進します。今後、多様な教育・保育のニーズに適切かつ柔軟に対応するとともに、集団保育の重要性の観点から、幼稚園・保育所の園児数の推移により、認定こども園への移行や統合を推進します。幼稚園教育と小学校教育を連動させ、保育・教育のあり方を考える保幼小接続を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備 認定こども園大野幼稚園・上庄保育園</li> <li>・H30から認定こども園への移行 認定こども園いなやまこども園 認定こども園いなほこども園</li> </ul>
児童の健全育成	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を児童館で預かる「放課後児童クラブ」と、学校や学校に隣接している公民館等で、学校、地域、行政がそれぞれの役割を果たしながら、小学生を対象にした「放課後子ども教室」とを並行して実施し、児童の健全育成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ 西部、東部、南部、北部、和泉</li> <li>・放課後子ども教室 乾側、小山、上庄、阪谷、富田</li> <li>・放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携事業 2回実施</li> </ul>

## 3 特別な支援が必要な子どもへの配慮

要保護児童への支援	関係機関が適切な連携を図りながら、虐待防止の啓発や子どもやその家庭に関する情報や考え方を共有し、要保護児童の早期発見、支援及び適切に保護する要保護児童対策地域協議会機能の充実を図ります。家庭において安定した子どもの養育が可能となるよう、養育支援が特に必要と判断した家庭に保健師等が訪問し、養育に関する指導、助言を行います。また、専門的な知識及び技術を必要とする場合には児童相談所へつなげます。	<p>未就学児の子どもへの虐待等が疑われるときは、健康長寿課保健師と福祉こども課の職員が同行訪問して現状を把握し、必要な場合には助言や指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回開催</li> <li>・要保護児童対策地域協議会 実務者会議 2回開催</li> <li>・個別のケース会議 16回開催</li> </ul>
ひとり親家庭の自立支援の推進	子育てをしていく上で、経済的、社会的、精神的に不安定な状態に陥りがちな家庭に対して福祉事務所、県関係機関等との連携による相談体制の充実を図ります。また、家庭教育を充実させるために、義務教育の児童に対し、県と連携して学習支援に努めます。就労に有効な資格を取得するために要する費用の一部を助成して、看護師・介護福祉士など特定の資格を取得する期間に係る給付金の支給など、ひとり親家庭が自立するための給付金の制度等の利用を推進します。日常生活支援事業として母子・父子家庭及び寡婦が、技能習得のための就学や疾病等社会的にやむを得ない事由により、一時的に生活援助や保育サービスが必要になった場合、その生活を支援する者を派遣し、生活の安定を図ります。	<p>母子・父子自立支援員を配置し、さまざまな相談に対応した。相談にあたっては、関係機関等と連携し、相談体制の充実・強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭を対象とした県の学習支援事業 年間36回</li> <li>・高等職業訓練促進給付金一時金（利用者なし）</li> <li>・日常生活支援事業（利用者なし）</li> </ul>

<p>障がいや発達に遅れのあ る子どもへの支援</p>	<p>障がいのある子どもを育てていく上で経済的、社会的、精神的に不安定な状態に陥りがちな家庭に対して、福祉事務所や関係機関、障がい者相談支援センター等との連携による相談体制の充実を図ります。障がいに対する正しい理解の推進を図るため、教職員をはじめとする関係職員（保育士、保健師、栄養士等）はもとより、市民に対し研修機会の提供や啓発、広報活動を充実します。関係機関が連携を密にして、気がかりな子や障がい（疾病）、ことばの遅れ等の早期発見に努めます。また、結とびあにおいて、療育を行う必要が認められる児童やことばの面で心配される子どもたちに、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う児童デイサービスを提供します。児童デイサービスセンターにおいて、言語聴覚士や心理士等が、一人ひとりの発達段階や特性に応じて、生活しやすくなることを目標に保護者同伴にて療育支援を行います。また、放課後等デイサービス事業として、学校在学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等長期休暇において、発達を促すための訓練等を継続的に提供することにより、障がい児の自立を推進するとともに放課後等の居場所づくりに努めます。県が作成した発達障がい児者の「早期発見・早期支援・途切れない支援」のための支援ツールである「子育てファイルふくいっ子」を活用し、幼児期から青年期までの切れ目ない支援を行います。放課後児童クラブで障がい児の受け入れを継続して行います。放課後子ども教室では障がい児の受け入れ態勢の整備に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブや放課後子ども教室では、職員や安全管理員が対応可能な範囲内で、障害児の受け入れを行っている。</li> <li>・大野市児童デイサービスセンターの運営 くれよん教室では、発達段階や特性に応じた、医療機関の療育スタッフによる個々にあわせた療育を実施。利用料は市から補助 延1360人</li> <li>・小・中学校教諭を対象に特別支援教育研修を行い、発達障害等に対する知識や対応の仕方への理解に努めた。県指導主事より途切れのない支援を行うための支援の引継ぎ方法についての研修を受け、各学校が情報交換をした。</li> <li>・関係機関で構成する就学指導委員会を6回開催し、41人について必要な措置を検討した。検討結果を保護者に相談・説明し、新年度の学校や学級を決定した。</li> </ul>
---------------------------------	---	--

#### 4 子どもの安全の確保

<p>子どもを犯罪、交通事故等の被害から守るための活動の推進</p>	<p>子どもの登下校時などに、緊急避難できる「子ども110番の家」や商店など、安心して駆け込むことができるよう地域ぐるみで子どもを守る取組みをより強化します。学校施設の安全確保は防犯設備の整備はもとより、地域ボランティアの活用など人的な取組みについて検討します。交通安全教育として、幼稚園や保、学校における交通安全教育はもちろん、地域社会全体が交通ルールやマナーについて十分な理解を得る取組みを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室の開催 幼稚園・保育園 42回 参加者数延1,574名 小学校 13回 参加者数延1,568名 中学校 4回 参加者数延454名 児童センター 6回 参加者数延189名</li> <li>・青少年育成大野市民会議では、見守り活動を推進し、登下校時の見守り活動の啓発を行っている。また、登下校ボランティアへの支援や各校の安全マップの作成、「子ども110番の家」の旗の作成等への支援を行っている。</li> </ul>
<p>有害環境対策の充実</p>	<p>青少年健全育成団体などの活動を強化するとともに、保護者を対象とした学習会に地域住民の参加も促し、地域や家庭の理解を深めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進員対象の研修会や、保護者を対象とした学習会を開催し、青少年健全育成推進への啓発を行った。</li> <li>・青少年問題協議会を年2回開催し、青少年に対する有害環境対策について関係機関が情報の共有と連携を図った。</li> </ul>
<p>被害にあった子どもの保護の推進</p>	<p>被害にあった子どもの保護の推進</p>	<p>教育相談担当が中心となって、教育相談を行っている。小学校5校、中学校4校に結の故郷教育相談員を配置し、話の聞き役となって子どものストレスを和らげたり、県のスクールカウンセラーが全小中学校を巡回してカウンセリングをしたりした。また、青少年教育センターにスクールソーシャルワーカーを1人配置し、支援が必要な家庭・学校等の相談に応じている。 学校訪問回数：65回 家庭訪問回数：28回</p>

## 5 地域における子育て支援

乳児家庭全戸訪問事業	乳児家庭全戸訪問事業は、乳児がいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報を提供するとともに、必要に応じ適切なサービスに結びつけます。	生後4か月までに母子訪問指導実施 産婦194人 新生児34人 乳児162人
一時預かり事業	一時預かり事業は、保育所に入所していない児童の保護者が病気や冠婚葬祭等で家庭での保育が困難になった場合や、育児疲れの解消のために、全保育所で子どもを一時的に預かる事業を継続します。	公立4園、民間9園、介護事業所1カ所で実施 延2,058人
すみずみ子育てサポート事業	すみずみ子育てサポート事業は、保護者が、就職活動、病気、事故等で子育てに対する支援が必要となった場合に、家事代行や一時預かり、保育所や幼稚園等への送迎など、きめ細やかなサービスを継続します。	委託先 2カ所 ・シルバー人材センター 生活支援 延15人 ・NPO法人子育て交流ひろばちっく・たっく（利用者なし）
子育て短期支援事業	保護者が病気や仕事等により、家庭で一時的に子どもを養育することが困難となった場合に、児童福祉施設で養育または保護を行う事業を継続します。 ショートステイ事業（連続する7日以内） トワイライトステイ事業（午後5時～9時）	・ショートステイ事業 延8人 ・トワイライト事業 延2人
子育て支援の拠点	地域子育て支援センターは、結とびあにおいて、親子が気軽に集い、仲間づくりを行う場として、子育てに関する相談や、育児情報の提供、サークル活動の支援、育児講座等をより充実して、子育ての楽しみを広げていきます。また、保育所や児童センター等を地域の子育て支援の拠点と位置付け、保護者からの相談に気軽に応じます。	・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談・援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育ておよび子育て支援に関する講習等 ・地域支援活動の実施 利用者数 延15,520人 相談件数 269件
子育て交流ひろば事業	子育て交流広場事業は、子育て中の親子が、いつでも誰でも気軽に集い、交流し、子育てに関する悩みの相談や子育て関連情報の収集ができる身近な場所として、ショッピングセンターVIO内の常設の広場の活動を充実します。	親子などの交流、語らい、集いの場を提供するとともに、子育てに関する悩みや不安を相談できる場所として「子育てマイスター」を活用した講演会・相談会を行った。 利用者数 延15,866人 相談件数 548件
子育てに係る経済的支援の推進	中学生まで児童手当の支給と子ども医療費の助成を行います。また、子ども医療費助成については、医療機関窓口で医療費を支払うことなく受診できる現物給付について、県や他の市町と連携して県下一斉に実施できるよう検討を行います。	・児童手当 延40,258人 ・子ども医療 ※H30～現物給付 ・すこやか・ゆめみらい応援券 すこやか交付数 450件 ゆめみらい交付数 198件

### 第3節 仕事と家庭の調和を支えるまちづくり

1 職業生活と家庭生活との両立の支援		
仕事と子育ての両立支援	男女がともに子育てを担う男女共同参画社会を実現するために、男性の育児参加についての意識啓発を行い、市民及び企業等事業主に対して学習の機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性がいきいきと働くための秘訣 ～イクボス講座～」を12月15日（土）に開催し22名参加 上司や男性の意識改革の観点から講座を開催</li> <li>・「夫婦で育児と家事を楽しむ方法」と題した講演会を開催。12月16日（日）に開催し22名参加 夫の家事や育児の協力の必要性の観点から講座を開催</li> </ul>
職場環境の改善に向けた啓発	従業員に育児休業又は介護休業を取得させ、代替要員（大野市民に限る）の雇用を開始し、かつ、当該育児休業又は介護休業期間終了後、当該従業員を職場復帰させた中小企業等の事業主等に対して大野市育児休業等取得促進事業補助金を交付します。 企業等に対し制度の周知徹底を図ります。	市のホームページや助成制度ガイドブック、ふくい産業支援センター発行の中小企業施策ガイドブックへの補助制度の掲載により、企業への周知を図った。 働き方改革セミナーにて本制度の周知を図った。 補助金申請 4件（新規事業所3社）
2 子育てを支援する生活環境の整備		
子育てにやさしいまちづくりの推進	公共施設や民間商業施設等、子育て親子が多く集まる場所において、既存の空きスペースを利用したおむつ台や授乳スペースの設置、分かりやすい表示を設置するなど、子育てバリアフリーを進めます。 既存道路の歩道のバリアフリー化や冬期間の通学路の歩道除雪等子どもの目線に立った住みやすい地域づくりを行います、また、子どもが自由に遊び、親子がふれあえる場として、公園や公民館等の公共施設を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間の歩道除雪を行い、通学時の安全確保に努めた。</li> <li>・大野市通学路交通安全プログラムに基づき、学校から要望のあった箇所の点検を行い、必要な対策を講じた。</li> </ul>
次世代の親の育成	現在、小中学校で行われている保育体験を継続し、多くの小中学生が乳幼児とふれあう体験を学校や保育関係機関、保健センター等との連携により進めます。 子どもの成長過程に応じ小学校低学年から、自分がどのようにして生まれ育ったかを親や祖父母から教えてもらう中で、親となる過程を学ぶことができる教育を学校と家庭が中心となり進めていきます。	市内の全小学校で、夏休み期間を利用し、6年生270人が1日保育体験を実施した。 中学校では、家庭科や総合学習の授業の中で保育体験を実施した。
子どもの「生きるたくましさ」の育成	生活習慣と学力や学習意欲、体力との相関関係の理解を通し、学校や家庭において子どもの規則正しい生活習慣の徹底を図ります。 次世代への文化、伝統、知識、技能を伝承するために、農作業体験や伝統芸能継承などの大野の特性を活かした体験学習や、夢、希望、目標を見つけることができる職場体験、文化活動や芸術鑑賞、読書活動など親子で共に体験できる学習や世代間交流の機会を学校や地域、企業の連携のもと推進します。 市民の誰もが気軽に参加できる「総合型地域スポーツクラブ」を核として、子どもから高齢者までが、それぞれの年齢、体力に応じて、健康の保持推進、競技力の向上など様々な目的に応じて活動できる生涯スポーツ社会の実現に努めます。 地区の集会所などを拠点に高齢者をはじめとする地域住民と子どもが集う世代間交流による子どもの居場所づくりなどに取組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての学校において早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けるための指導を行った。また、地域と進める体験推進事業として、全小中学校において、地域との関わりを深める学習を行った。中学校では、夏季休業を利用して職場体験学習も実施した。</li> <li>・結の故郷ふるさと教育推進計画にもとづき、次世代に文化、伝統を伝承する目的で、各地区に伝わる伝統文化を小学生へと伝承する活動を行った。活動の集大成として、ふるさと芸能発表会を開催し、6地区6団体の小学生たちが発表を行った。</li> <li>・子ども会活動等でのリーダーを育成する目的で、中学生、高校生を対象にジュニアリーダー事業を実施した。</li> <li>・こども芸術劇場として、児童劇団による創作劇と音楽影絵劇を開催した。</li> <li>・図書館では、ブックスタート事業や年齢に応じた絵本の読み聞かせ事業などを行い、親子が読書活動を楽しむ機会を促進した。また、保育園・幼稚園・学校や児童センターへ職員やボランティアを派遣し、ブックトークやおなほし会、絵本の読み聞かせを行った。</li> <li>・子どもから高齢者までがそれぞれの体力等に応じて活動できる生涯スポーツ社会の実現を目指す「総合型地域スポーツクラブ」である『みんスポクラブ』は、着実に会員数を増やした。また、市としても市域全体及び各公民館単位における地域での取り組みも含めて、様々な教室の充実を図った。 みんなでスポーツ（スポーツ振興室・各地区公民館） 教室開催数：106回（スポーツ振興室39回、公民館67回） 延参加者数：1,133人 みんスポクラブ会員数：315人</li> <li>・小・中・高校生とその指導者および各種目団体等の交流や連携を行うことにより、指導者の資質向上や養成及び一貫指導体制の構築を図る「青少年・指導者スポーツ交流会」を競技団体の協力を得て3種目実施することができ、ジュニア層育成強化と生涯スポーツ取組への市民意識の向上が図られた。 青少年・指導者スポーツ交流会 実施種目数：3件（ソフトテニス、剣道、卓球） 延参加者数：261人</li> </ul>

### 3 行政における推進体制の強化

関係機関との連携強化	教育・保育施設、公民館、児童館、地域子育て拠点施設、保健センター等の連携を強化し、地域における子育て支援を充実します。	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども・子育て会議を年2回開催し、計画の進捗状況の点検・評価等を行った。</li><li>・健康長寿課と福祉子ども課が連携して、子育て世代包括支援センターを運営した。</li></ul>
子育て関連情報の提供	ホームページによる情報提供と、子育て情報を分かりやすくまとめたチラシの作成やメール等で情報の発信に努めます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育て支援センターの行事予定や行事報告をホームページへ掲載</li><li>・登録世帯に対するメールマガジンの配信</li><li>・子育てに関する諸制度のホームページや市報への掲載</li><li>・子育て支援情報誌を作成し、保育所、幼稚園、認定子ども園の保護者全員と、出生届を提出した世帯に配布</li></ul>

大野市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果

就学前児童

令和元年6月

## 第1章 調査概要

### 調査概要

## 第2章 ニーズ調査結果

《お住まいの地域について》

《家族の状況について》

《子どもの育ちをめぐる環境について》

《保護者の就労状況について》

《平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について》

《地域の子育て支援事業の利用状況について》

《土曜・休日・長期休業中の定期的な教育・保育事業の利用希望について》

《幼稚園の一時預かりの利用について》

《病気の際の対応について》

《不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について》

《育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援について》

《大野市追加アンケート》

## 第3章 自由意見

- ・【問12】 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。
  
- ・【問33】 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

## 第4章 調査票

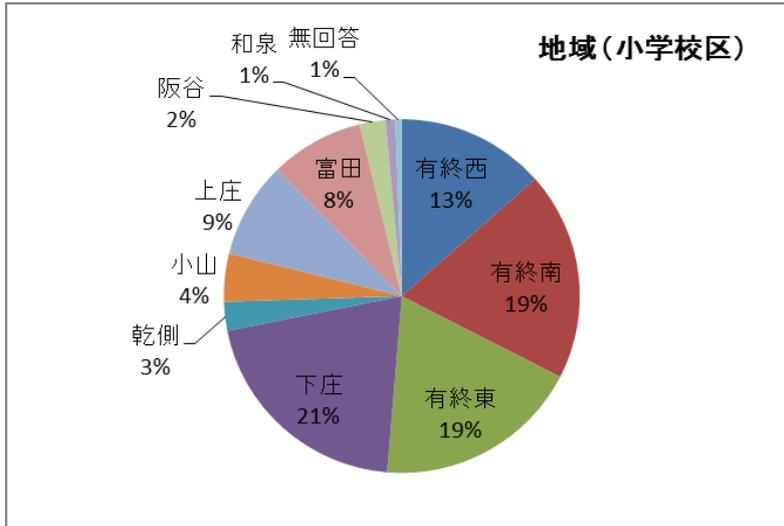
# 第1章 調査概要

- 1 調査名 大野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 就学前児童用
- 2 調査の目的 子ども・子育て支援法第61条に基づく、第二期「大野市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料とするため、子育て家庭の子育て支援サービスの利用状況や利用希望等を把握する。
- 3 実施期間 平成30年12月中旬発送 ～ 平成31年1月11日
- 4 調査対象 大野市に住民登録のある就学前児童保護者
- 5 調査地域 大野市全域
- 6 抽出数 500人
- 7 抽出方法 無作為抽出
- 8 調査方法
- ・ 保育所・認定こども園在園児は園に配布、回収を依頼
  - ・ 在園児以外は郵送配布、郵送回収
- 9 回収結果
- ・ 園に配布依頼した413通のうち、291通回収（回収率70.5%）
  - ・ 郵送配布87通のうち、50通回収（回収率57.5%）
- 【全体】
- 配布数 500通
- 回収数 341通
- 回収率 68.2%

## 第2章 ニーズ調査結果

## 《お住まいの地域についてうかがいます》

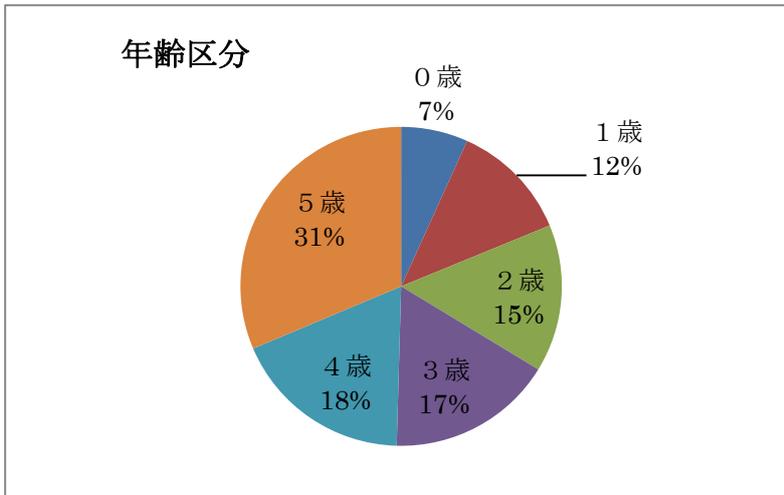
問1 お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。



n = 341

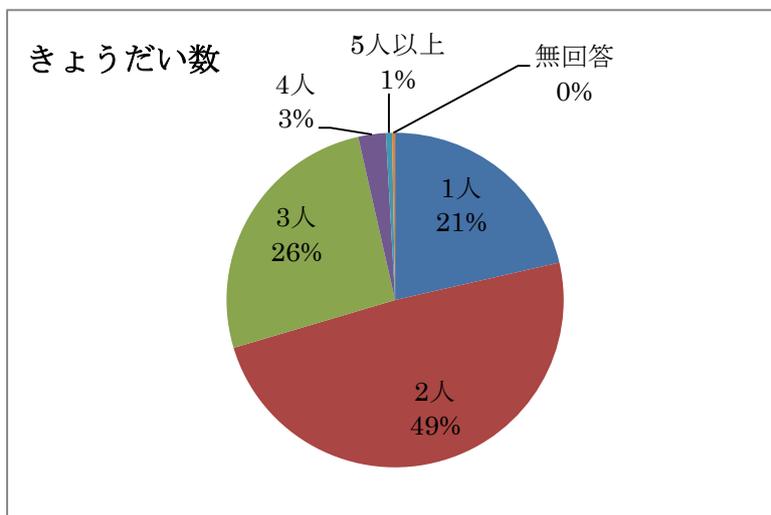
## 《封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます》

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。



n = 341

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

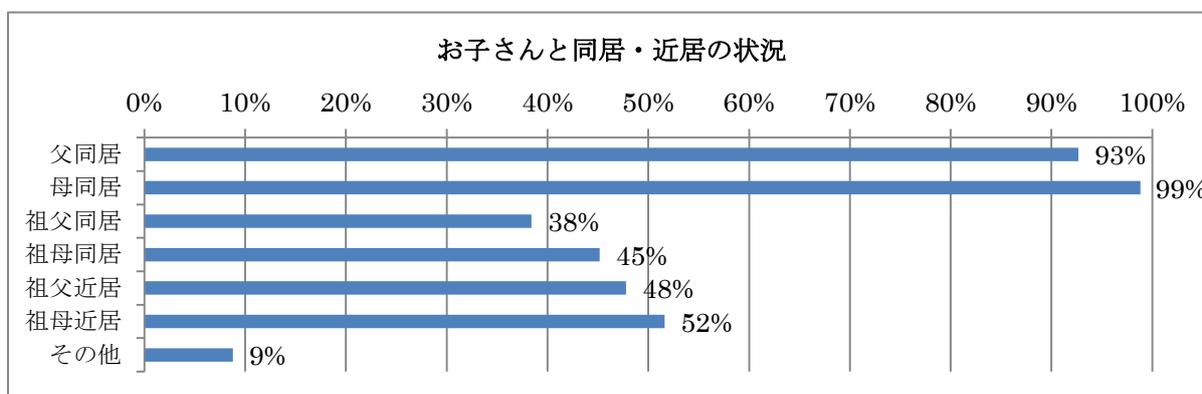


n = 341

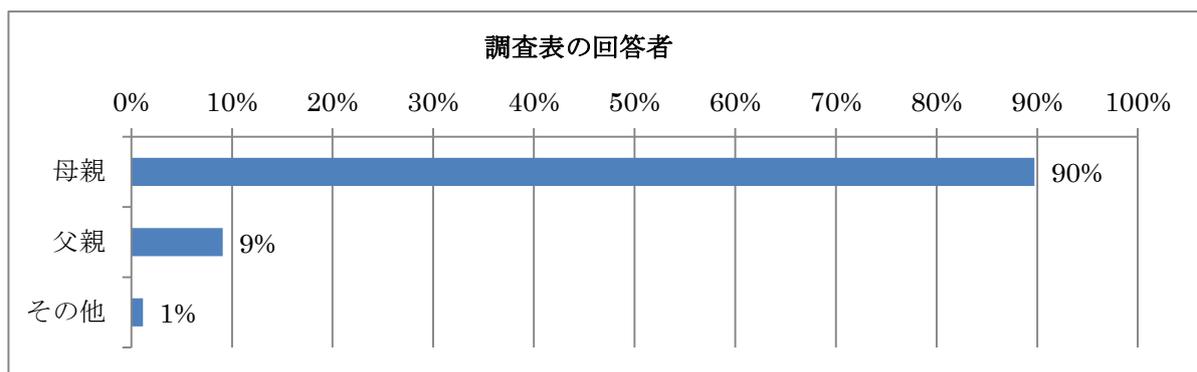
末子の生月日(お子さんが2人以上)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	0	2	1	1	1	1	1	2	1	0	2	0	12
25年度	3	1	0	3	6	1	1	4	2	0	1	4	26
26年度	2	0	2	0	2	6	8	2	5	2	5	2	36
27年度	4	2	4	1	3	2	4	3	1	6	6	3	39
28年度	5	2	0	5	2	6	5	0	4	7	2	3	41
29年度	2	6	4	7	5	1	4	2	2	0	4	7	44
30年度	4	9	5	6	4	3	2	1	2	1	0	0	37
無回答 33人													
お子さんが2人以上の方のみ												268	

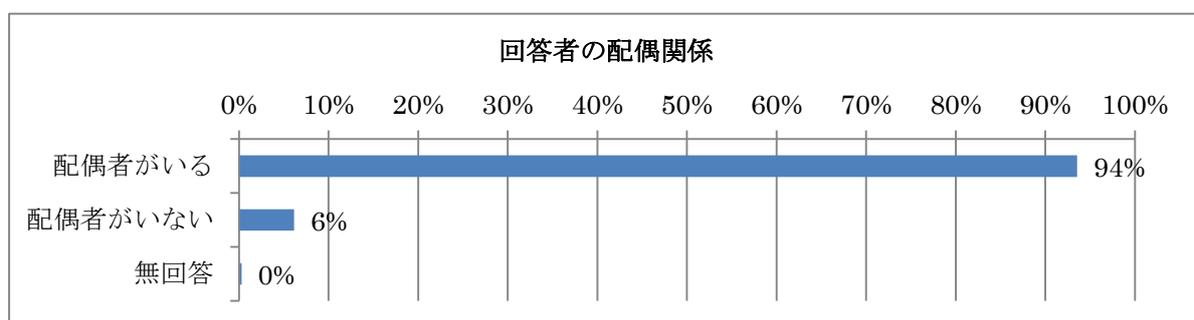
問4 宛名のお子さんの同居・近居(概ね30分以内に行き来できる範囲)の状況について、当てはまるものすべてに○をつけてください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。



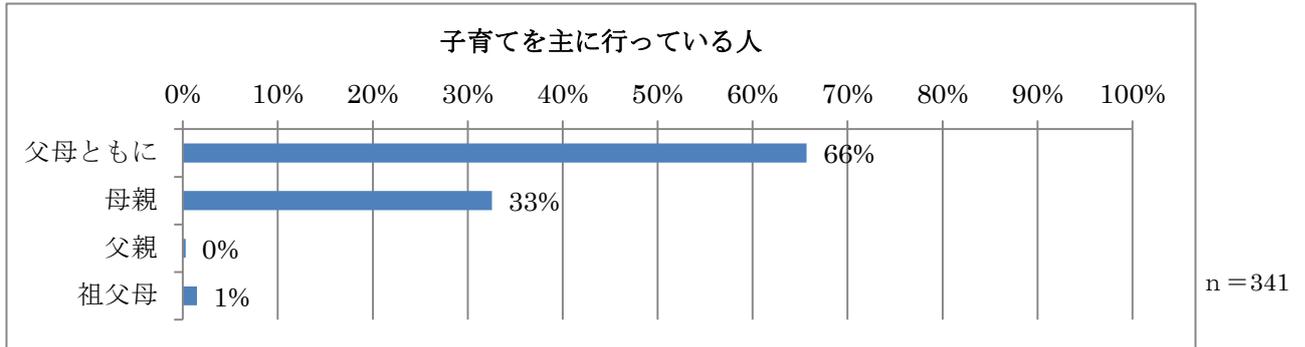
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問6 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

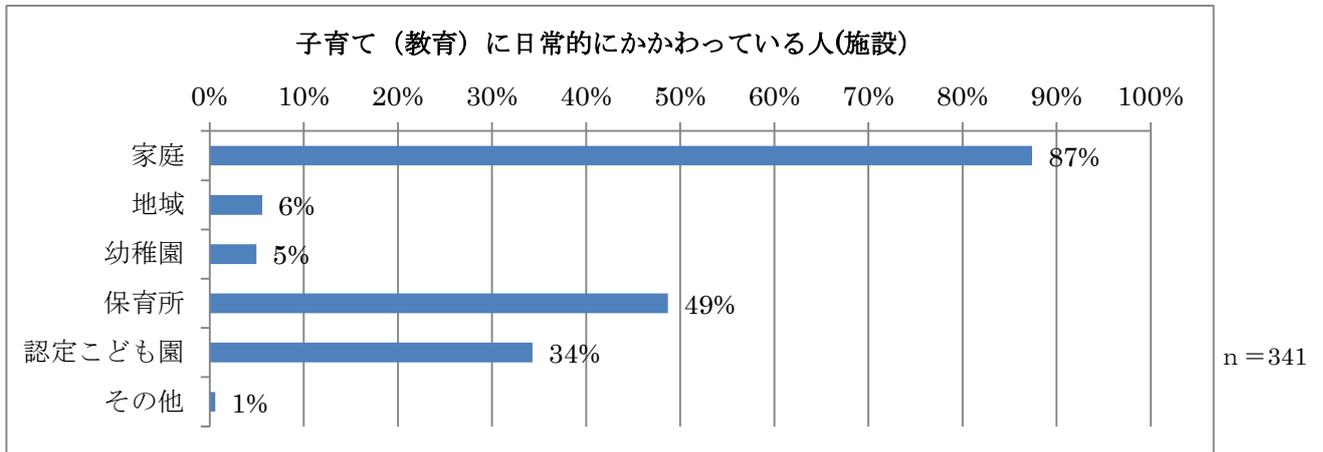


問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

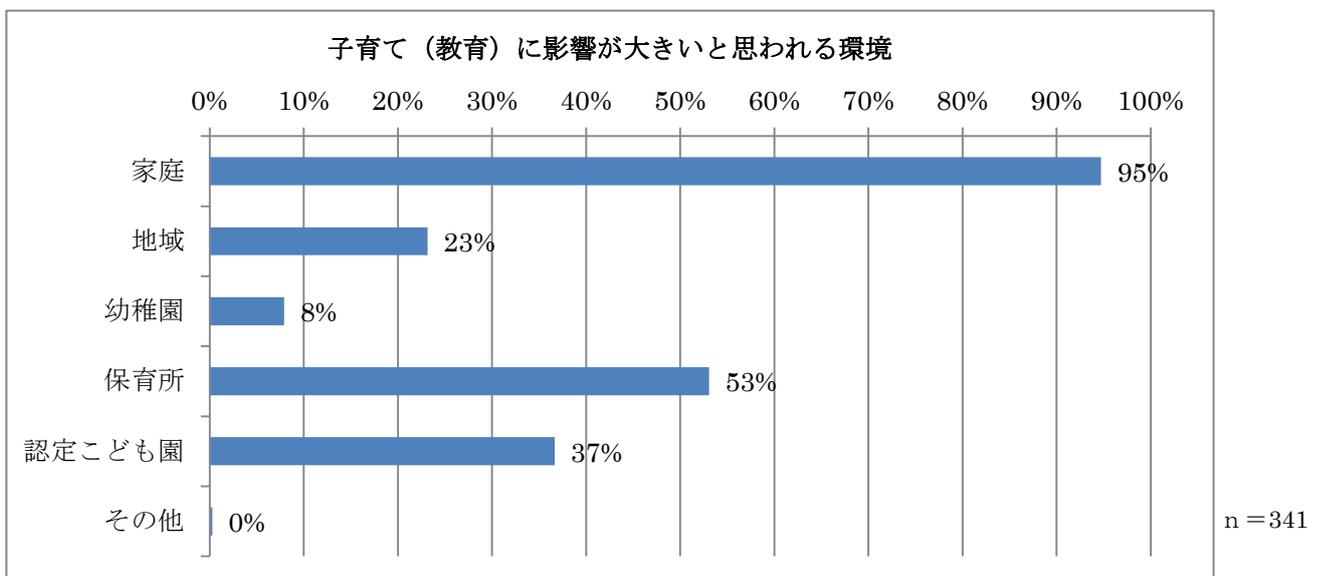


《子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます》

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

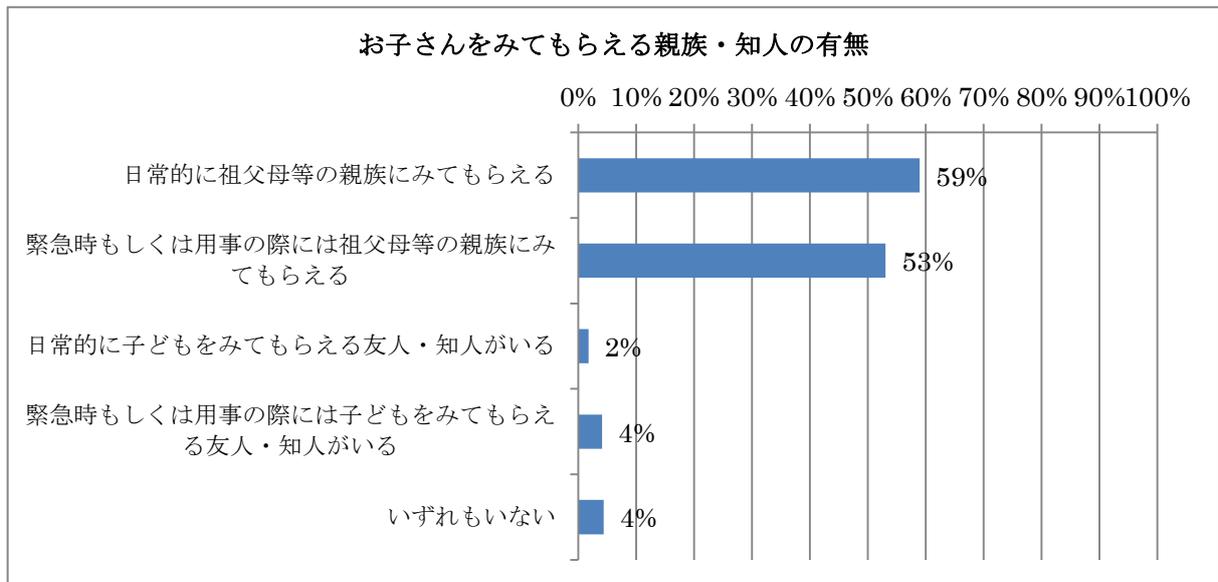


問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

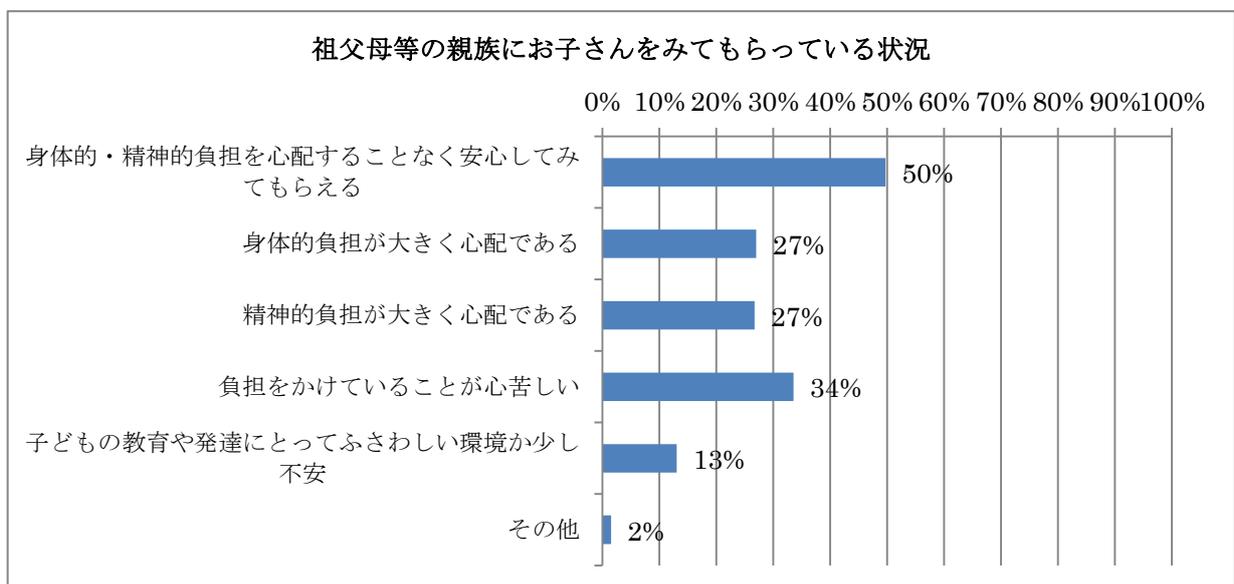


問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

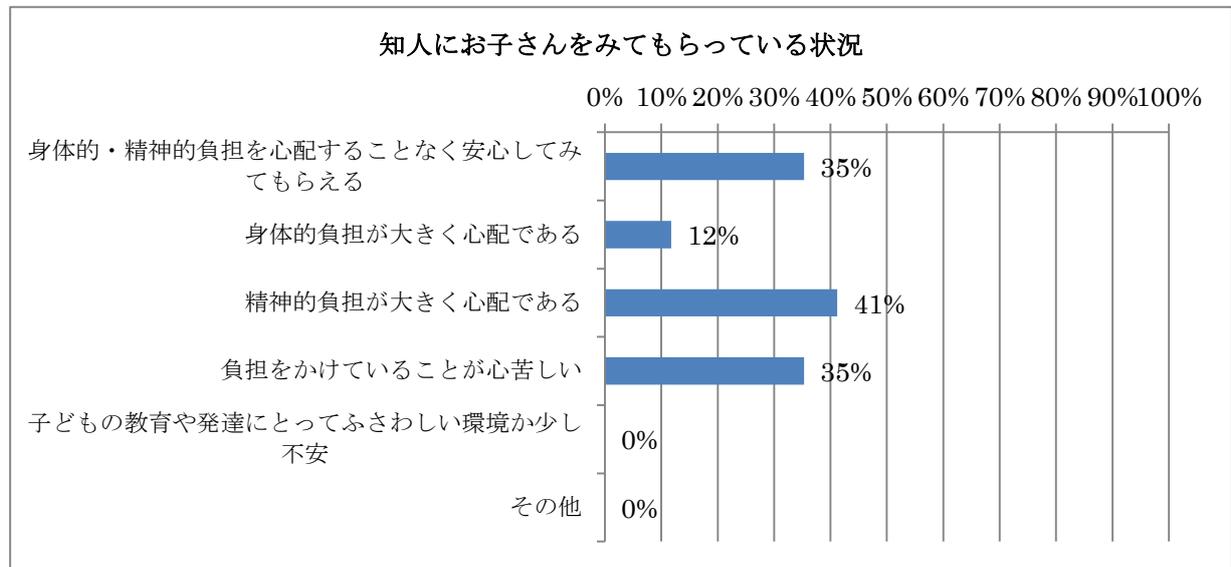
- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } ⇒問10-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |           |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } ⇒問10-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない ⇒問11へ                    |           |



問10-1 問10で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

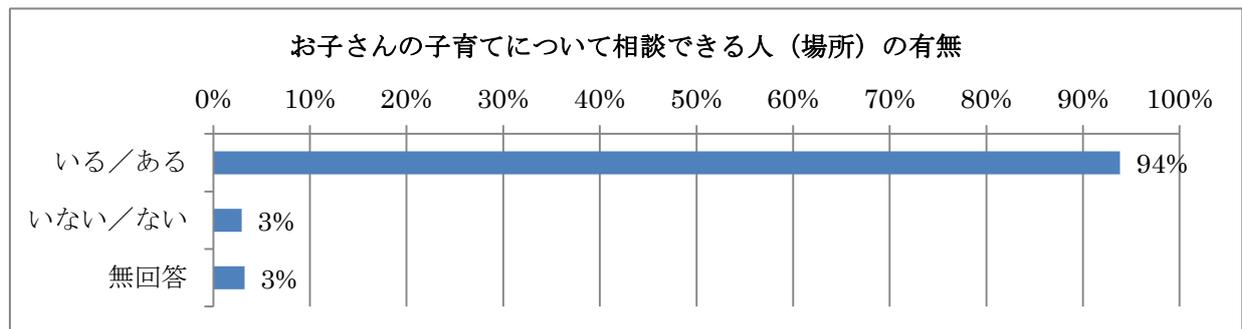


問10-2 問10で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

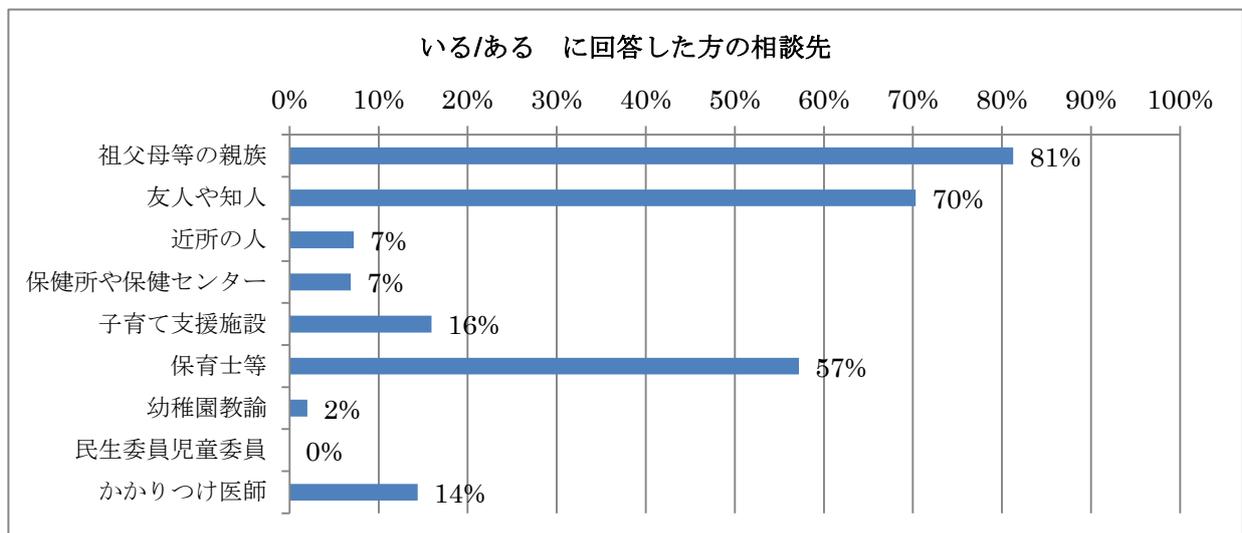


問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問11-1へ                      2. いない／ない ⇒ 問12へ



問11-1 問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

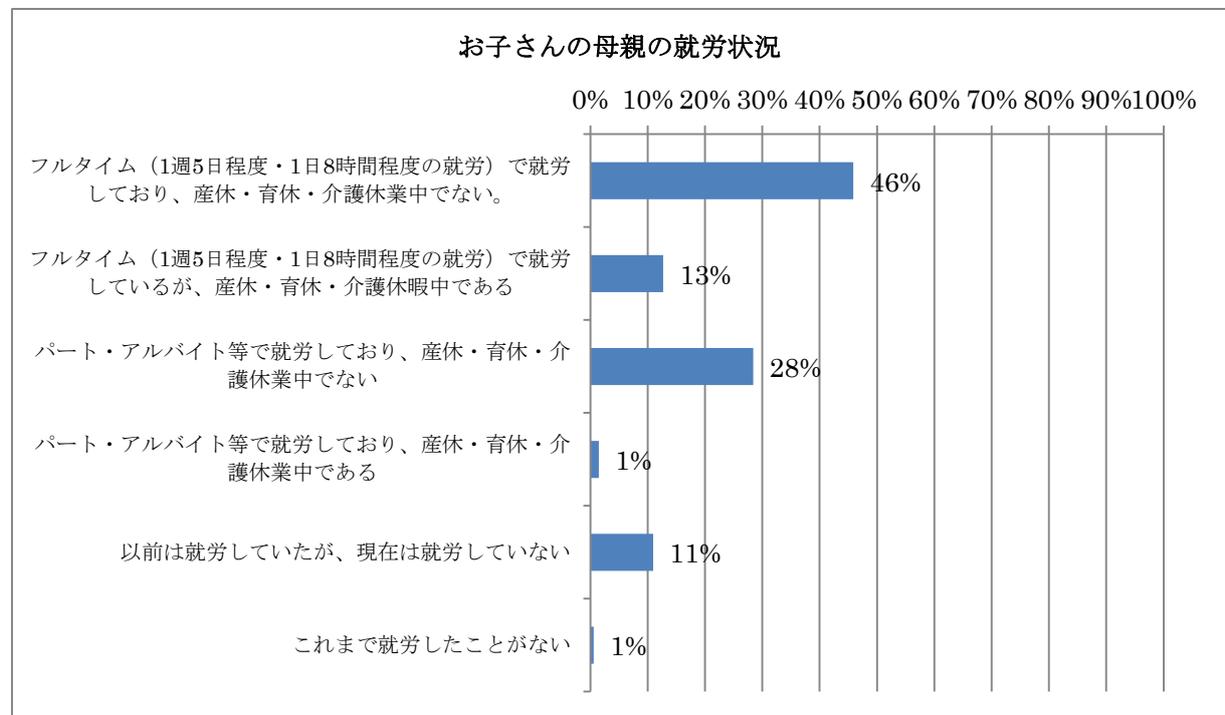
別添のとおり

《宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます》

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況をうかがいます。

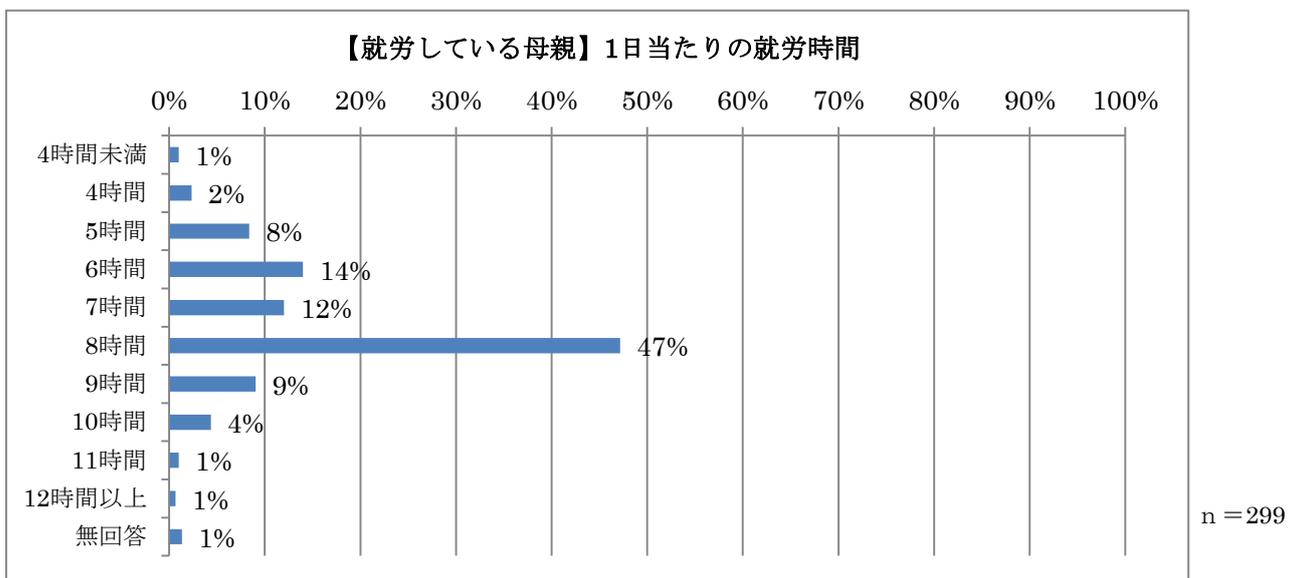
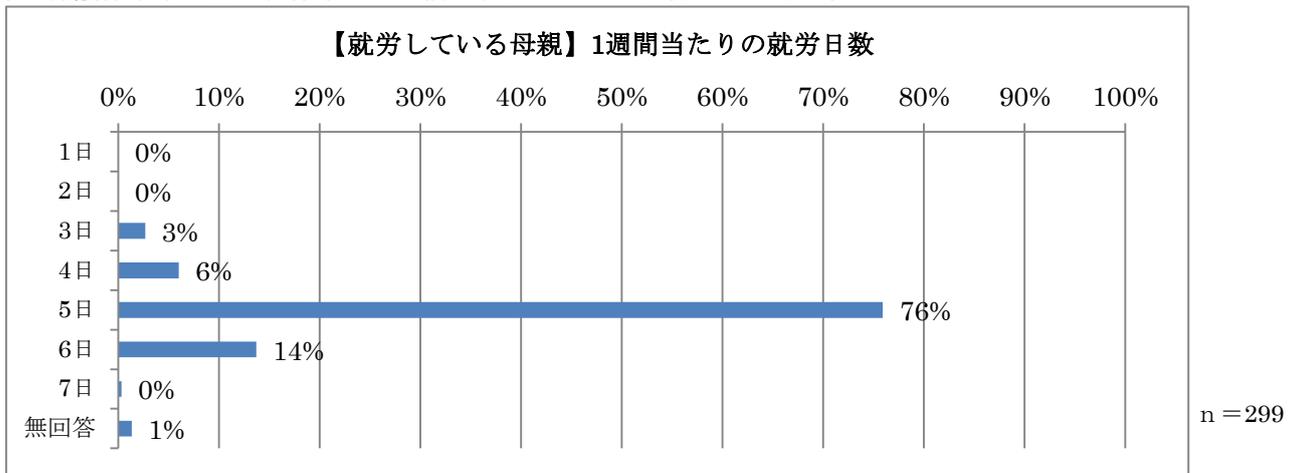
(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
  - 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
  - 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
  - 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
  - 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
  - 6. これまで就労したことがない
- } ⇒ (1) - 1へ
- } ⇒ (2)へ



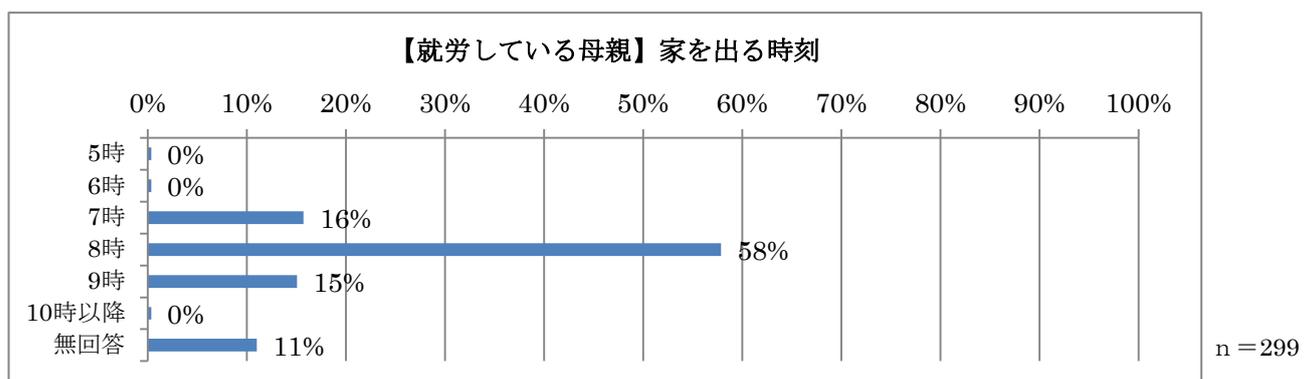
(1) - 1 (1)で「1. ~ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

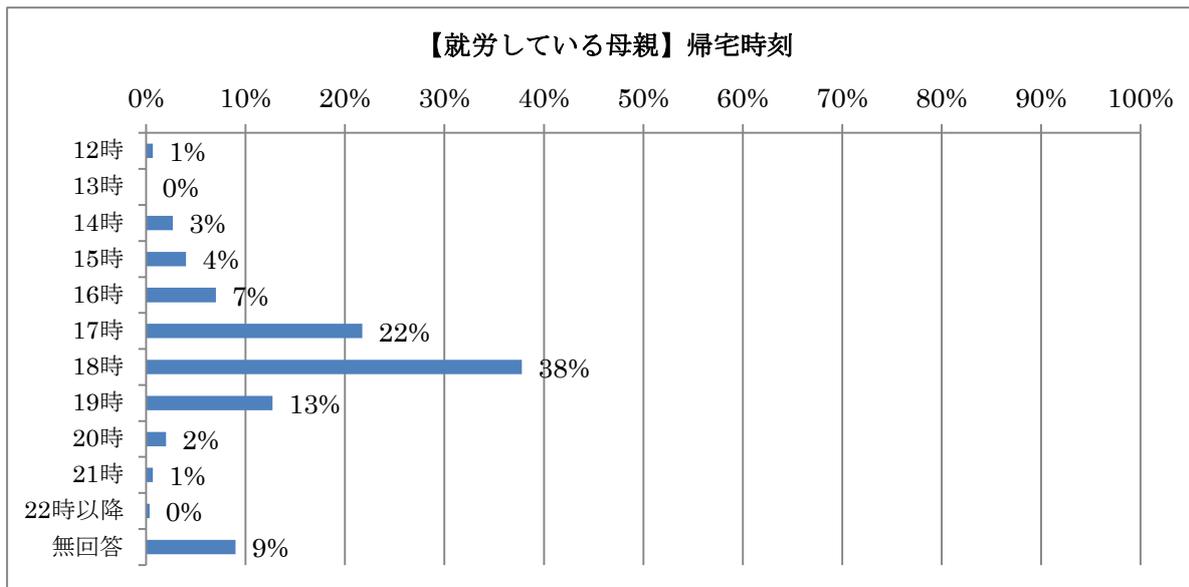
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



(1) - 2 (1)で「1. ~ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

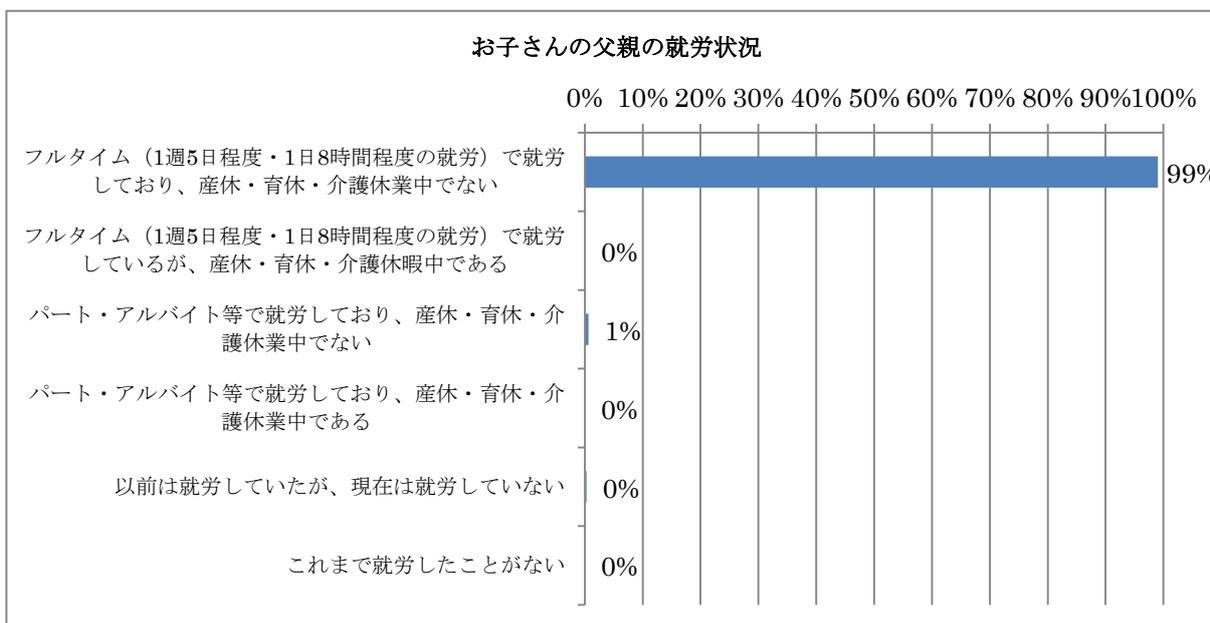
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、8時~18時のように24時間制でお答えください。





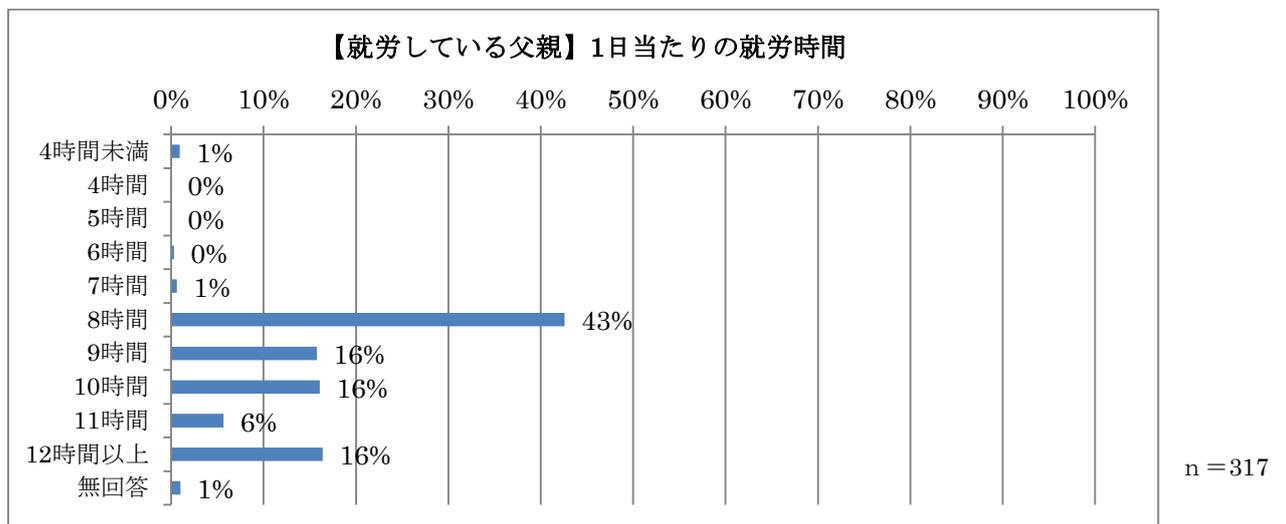
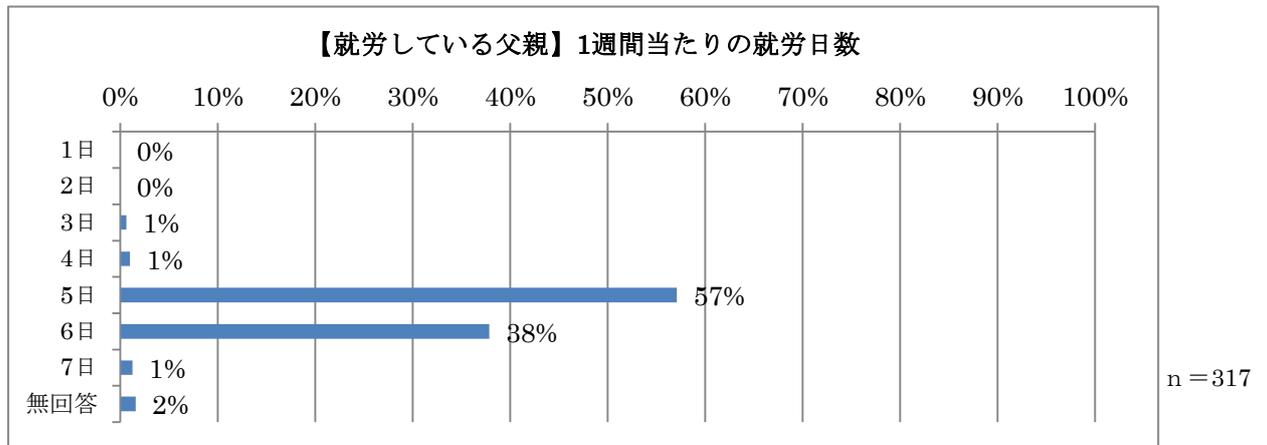
**(2) 父親 当てはまる番号 1つに○をつけてください。**

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、<br/>産休・育休・介護休業中ではない</li> <li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、<br/>産休・育休・介護休業中である</li> <li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、<br/>産休・育休・介護休業中ではない</li> <li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、<br/>産休・育休・介護休業中である</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol> | <p>⇒ (2) - 1へ</p> <p>⇒ 問15へ</p> |
|--|---------------------------------|



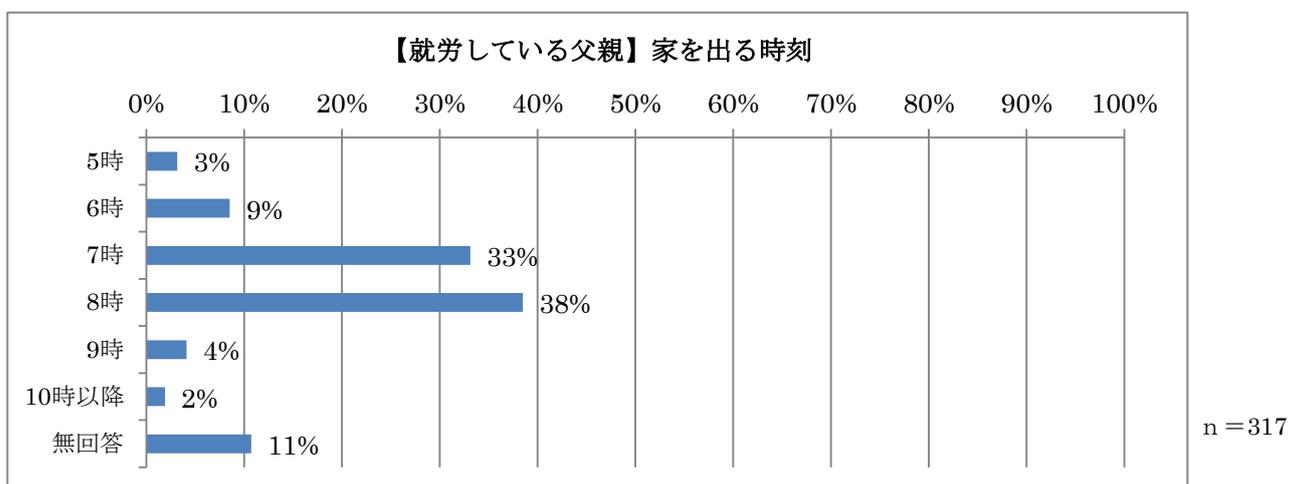
(2) - 1 (1) で「1. ~ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

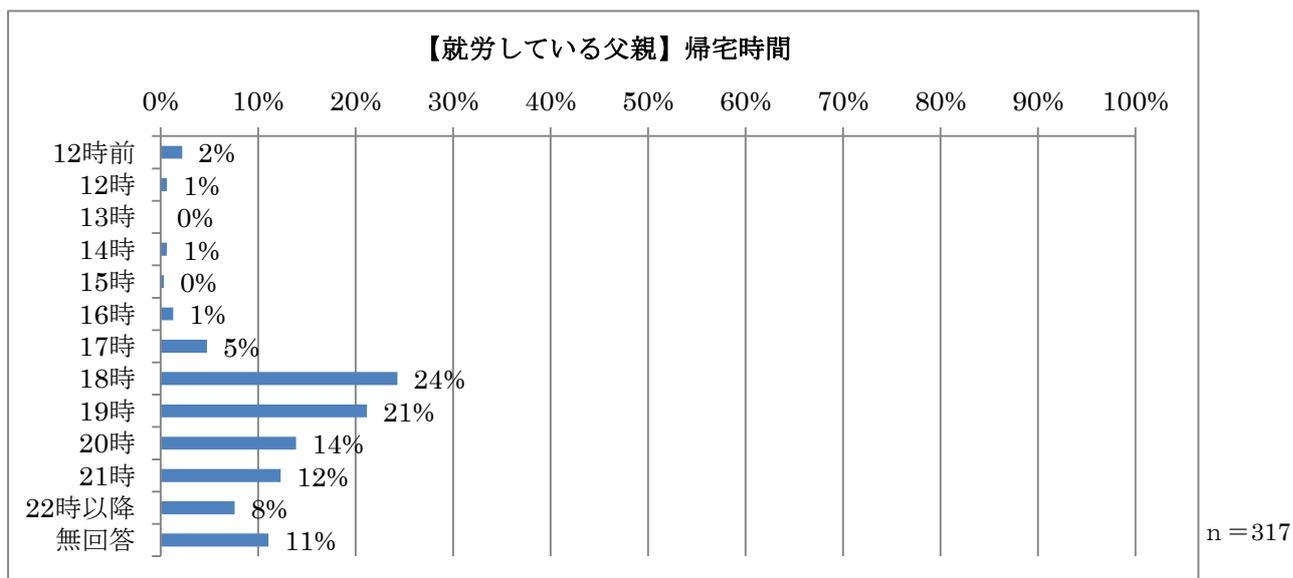
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



(2) - 2 (1) で「1. ~ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、8時~18時のように24時間制でご記入ください。

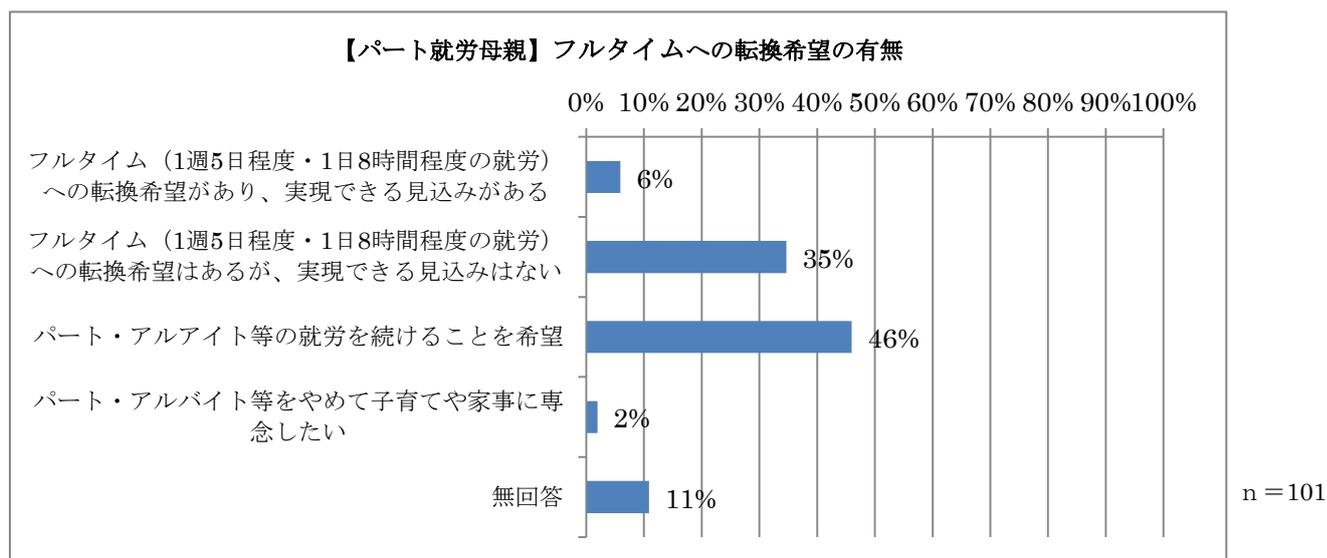




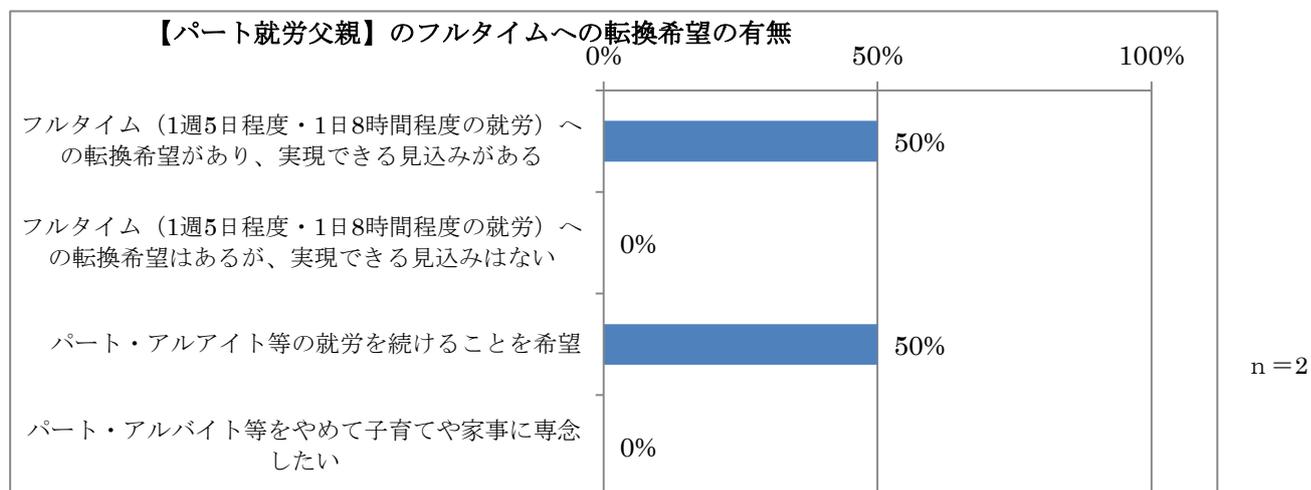
問14 問13の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



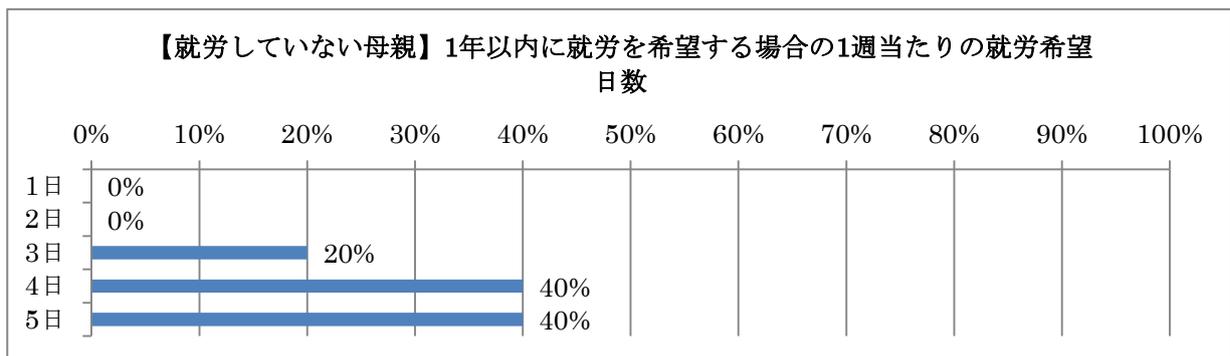
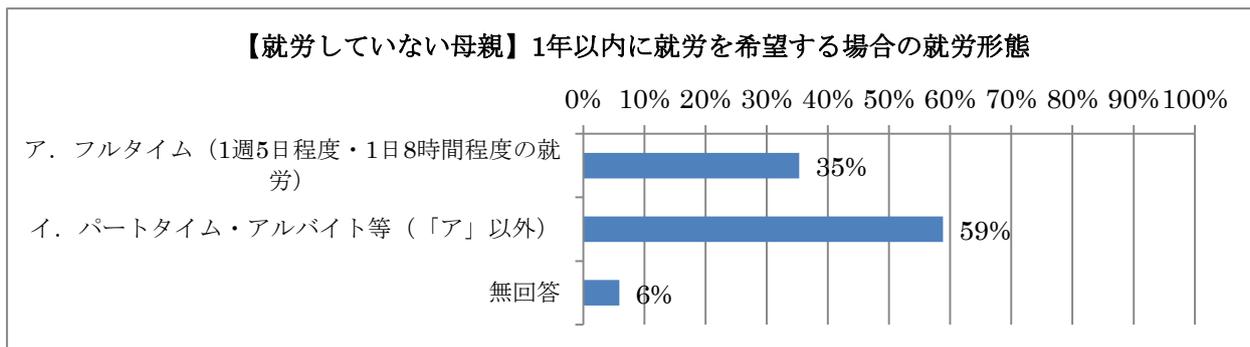
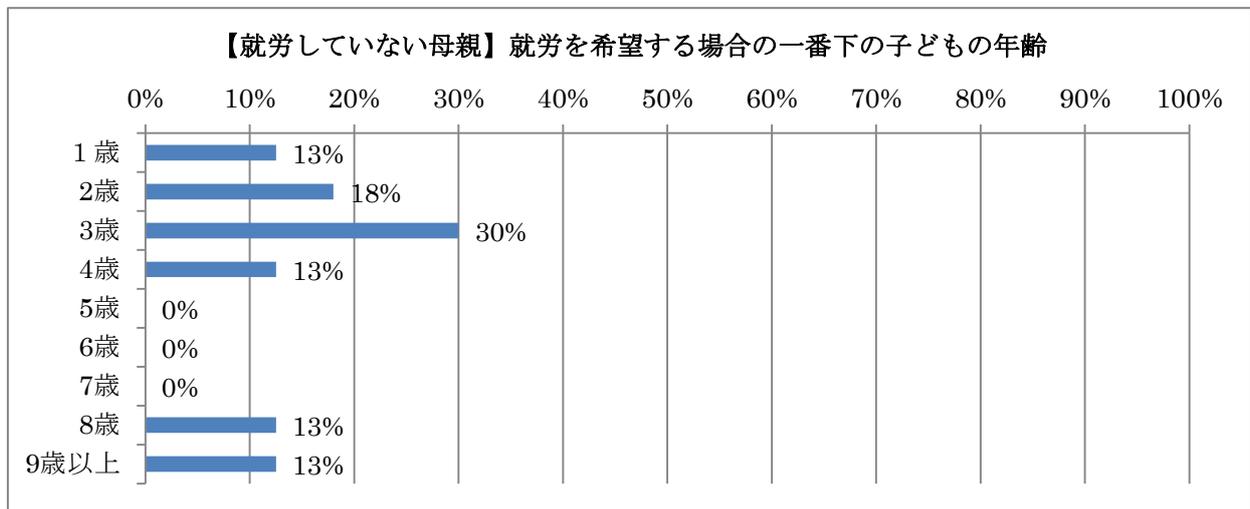
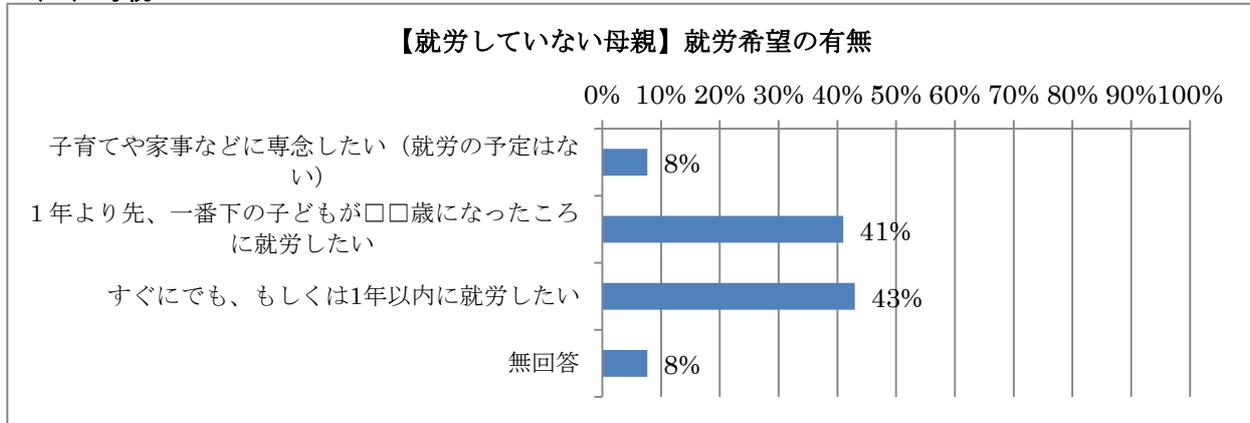
(2) 父親

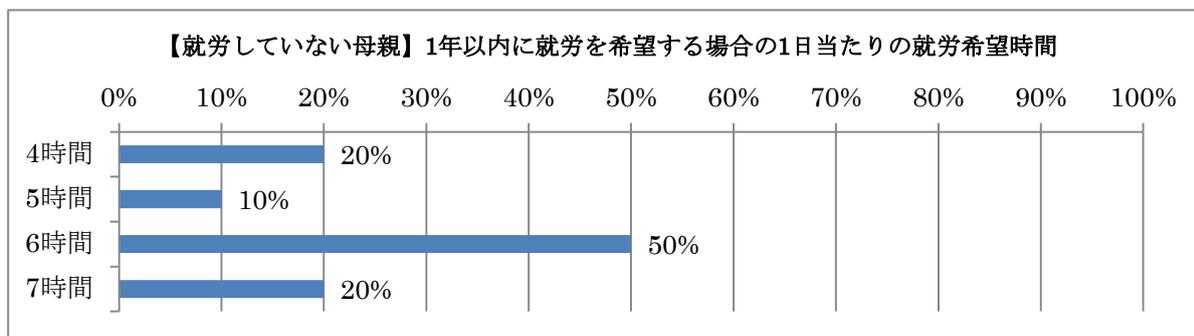


問15 問13の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

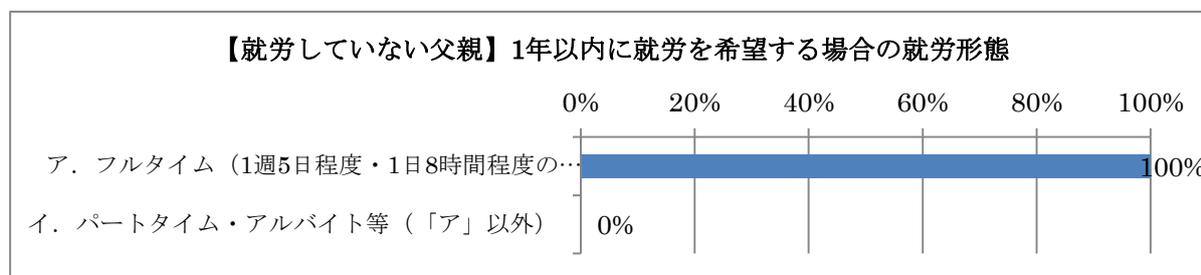
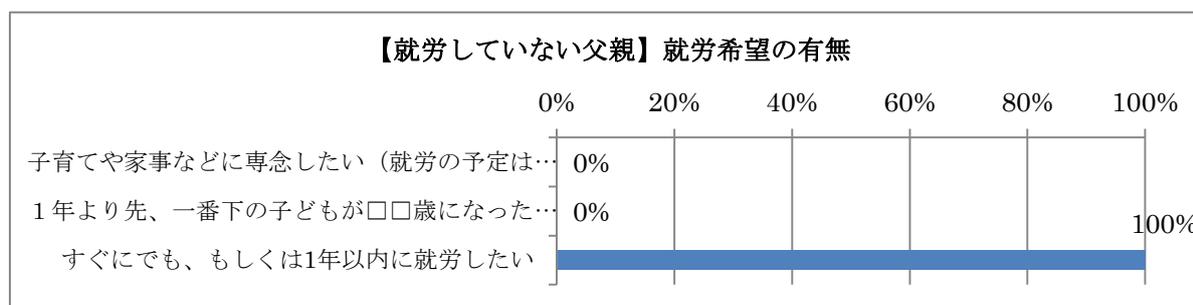
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当するところに数字をご記入ください。

(1) 母親



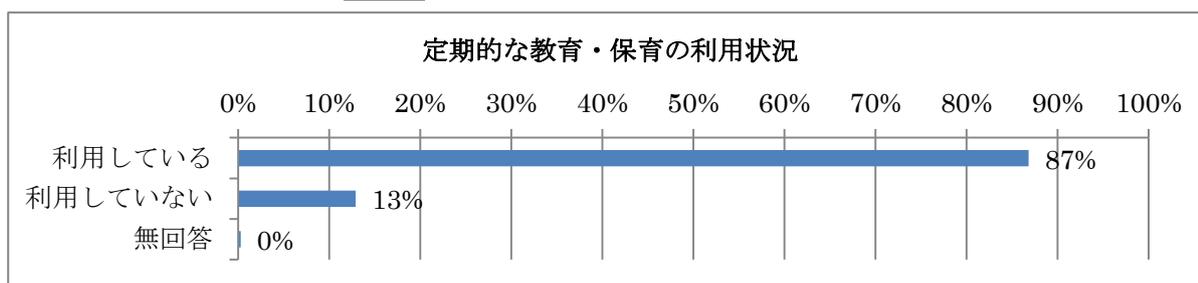


**(1) 父親**



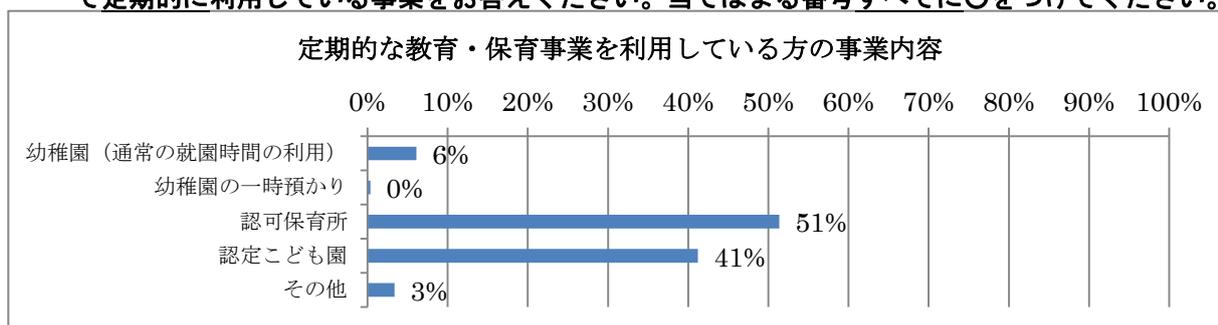
**《宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます》**

問16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



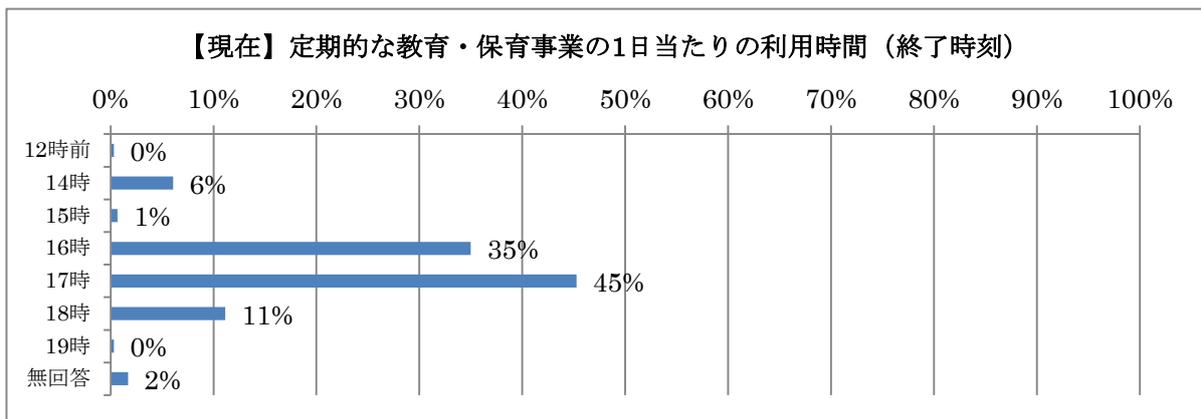
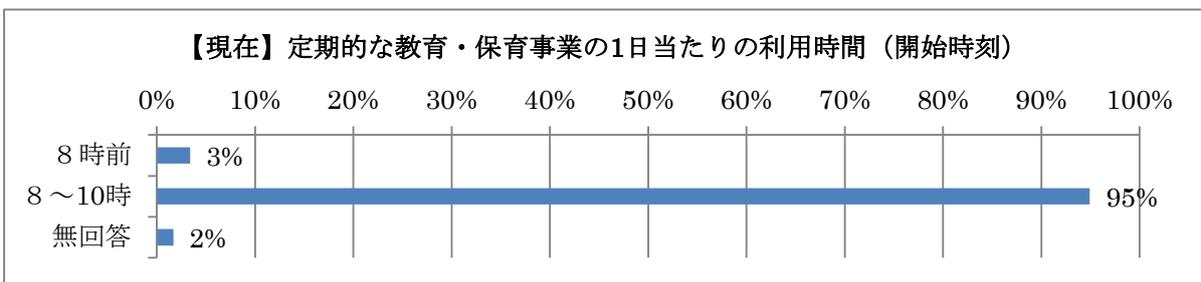
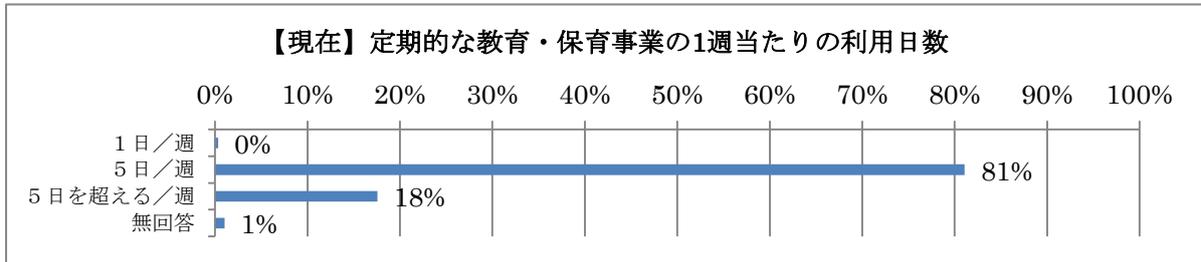
問16-1～問16-4は、問16で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問16-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

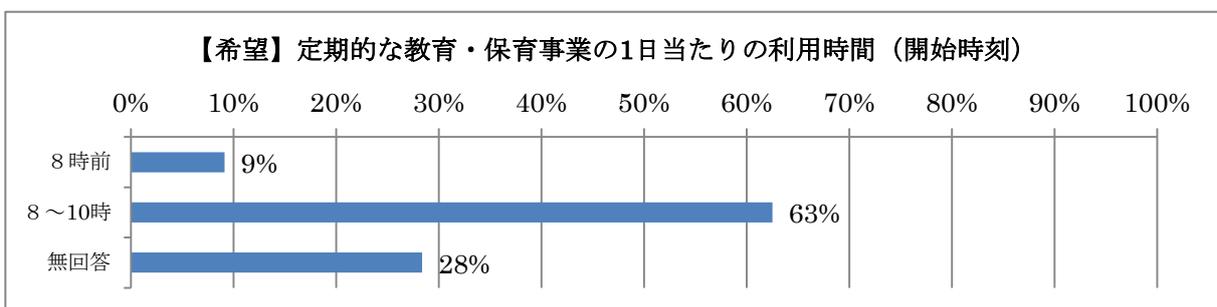
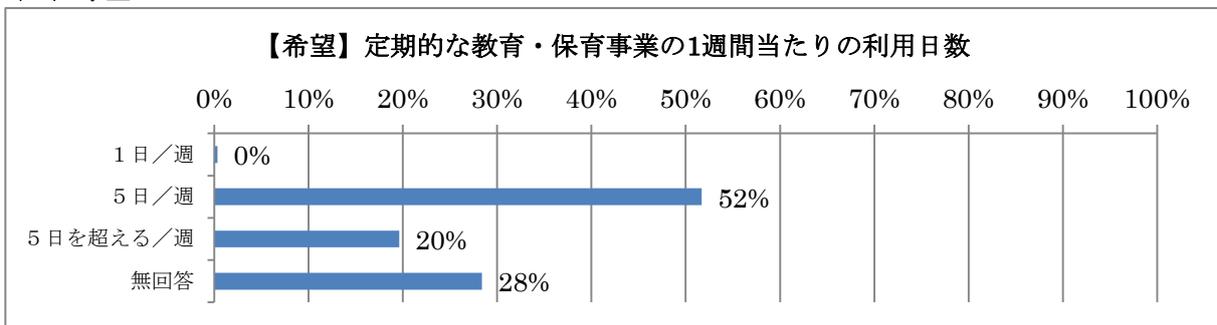


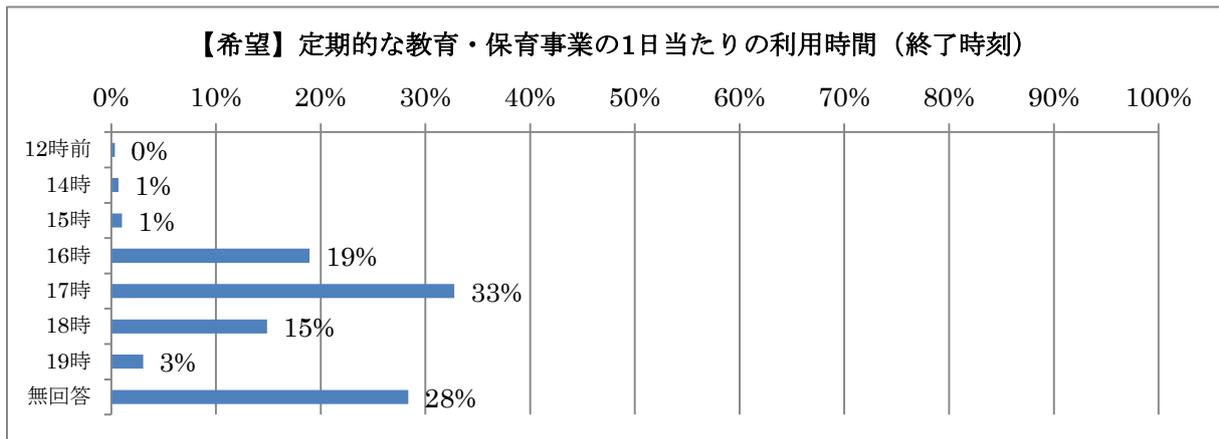
問16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

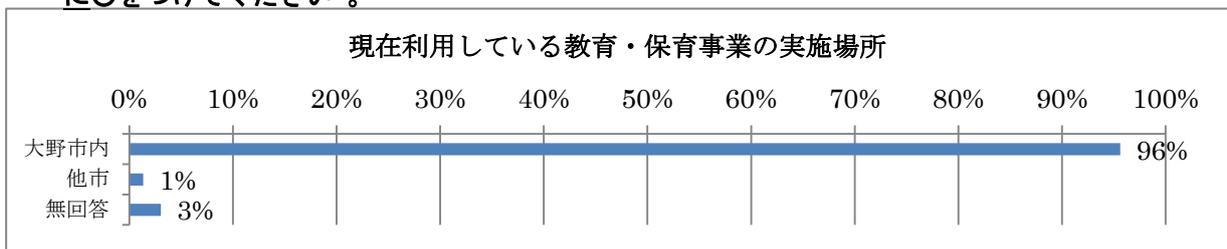


(2) 希望

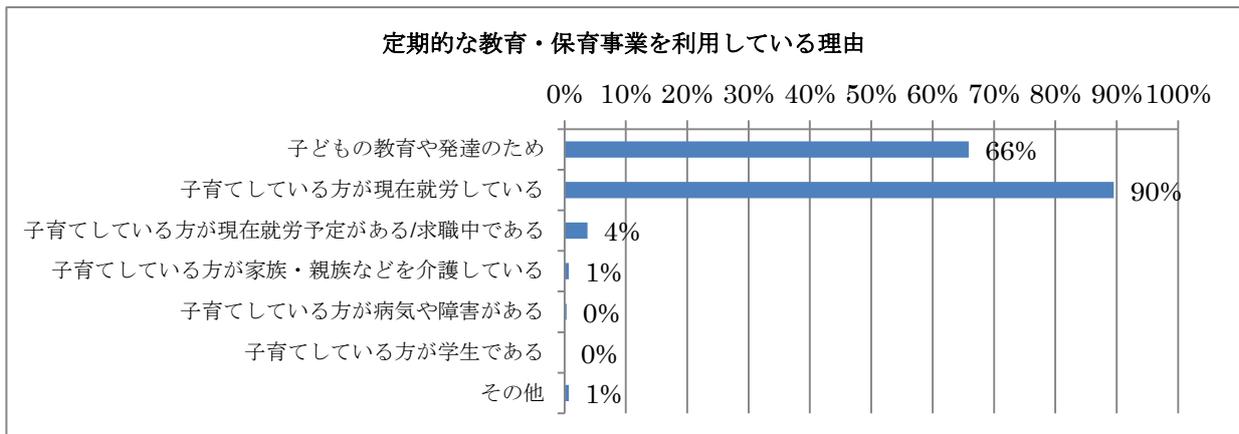




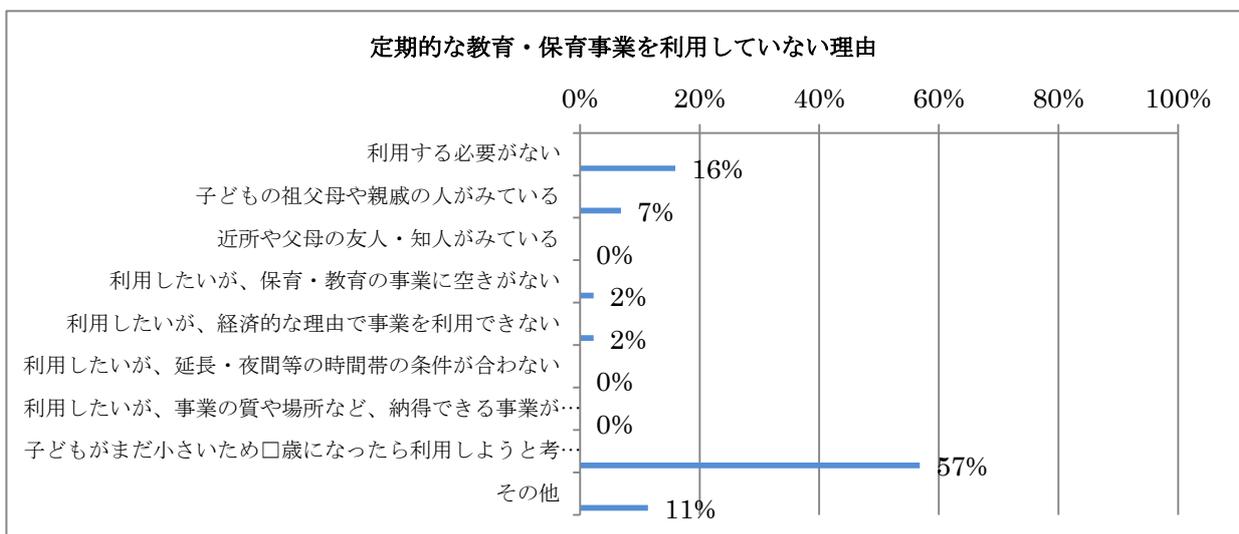
**問 16-3 現在、利用している教育・保育の事業の実施場所についてうかがいます。次のいずれかに○をつけてください。**

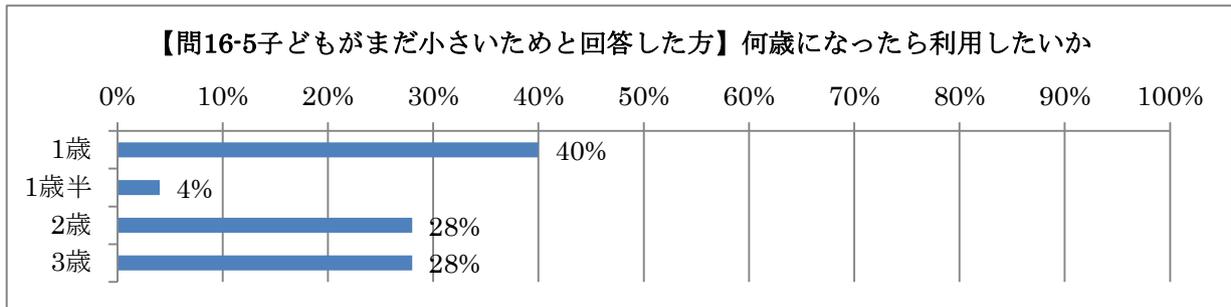


**問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

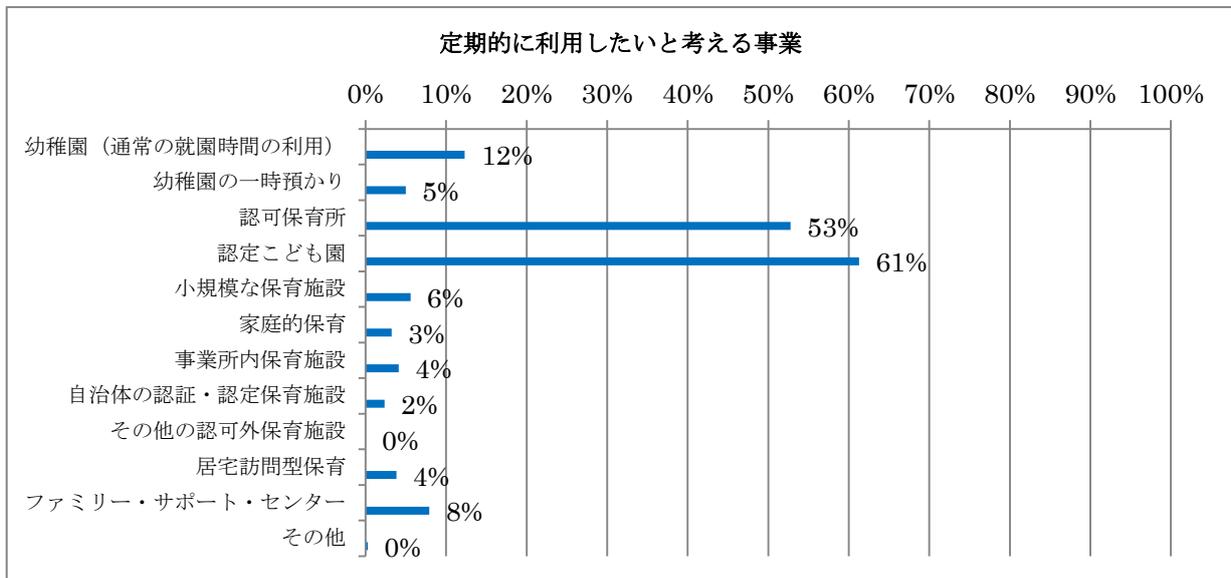


**問 16-5 問 16で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

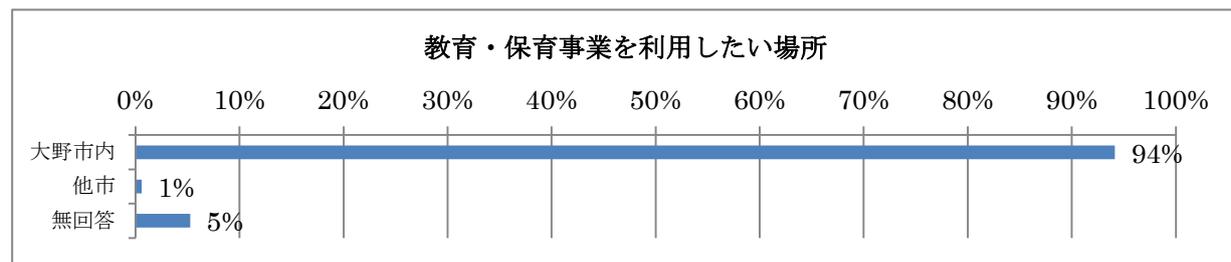




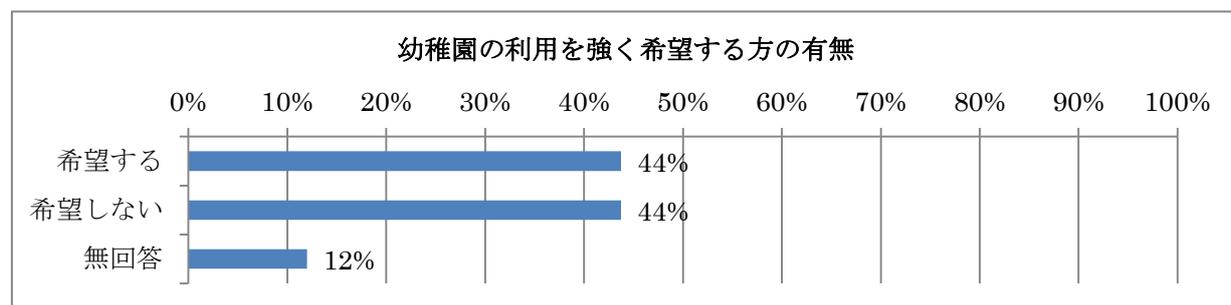
問17 すべての方にうかがいます。 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



問17-1 教育・保育の事業を利用したい場所についてうかがいます。次のいずれかに○をつけてください。



問17-2 問17で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の一時預かり」に○をつけ、かつ「3. ～12.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。



《宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます》

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

(1) 知っているか

地域の子育て支援事業	はい	いいえ
保健センターの育児相談	92%	8%
保健所や市役所の発達相談	81%	19%
教育委員会や公民館などの家庭教育に関する学級・講座	49%	51%
教育委員会の教育相談	23%	77%
保育所、認定こども園や幼稚園の園解放や子育て支援事業	95%	5%
結とぴあ内にある地域子育て支援センター	98%	2%
ショッピングモールVIO内にある子育て交流ひろば「ちっくたっく」	99%	1%
子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ）	25%	75%
病児デイケア事業（病児・病後児保育）	83%	17%
休日保育事業	64%	36%
すみずみ子育てサポート事業	12%	88%

(2) これまでに利用したことがあるか

地域の子育て支援事業	はい	いいえ
保健センターの育児相談	52%	48%
保健所や市役所の発達相談	22%	78%
教育委員会や公民館などの家庭教育に関する学級・講座	18%	82%
教育委員会の教育相談	2%	98%
保育所、認定こども園や幼稚園の園解放や子育て支援事業	71%	29%
結とぴあ内にある地域子育て支援センター	79%	21%
ショッピングモールVIO内にある子育て交流ひろば「ちっくたっく」	56%	44%
子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ）	1%	99%
病児デイケア事業（病児・病後児保育）	13%	87%
休日保育事業	7%	93%
すみずみ子育てサポート事業	1%	99%

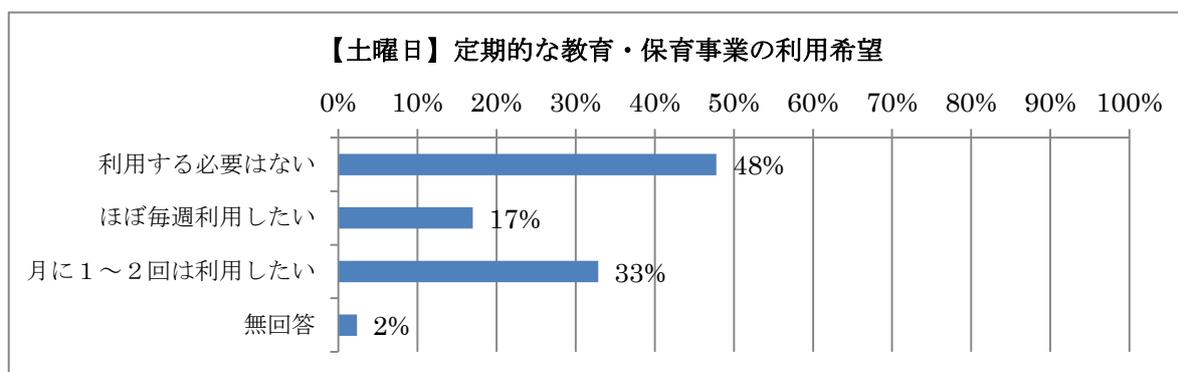
(3) 今後利用したいか

地域の子育て支援事業	はい	いいえ
保健センターの育児相談	57%	43%
保健所や市役所の発達相談	47%	53%
教育委員会や公民館などの家庭教育に関する学級・講座	46%	54%
教育委員会の教育相談	32%	68%
保育所、認定こども園や幼稚園の園解放や子育て支援事業	64%	36%
結とぴあ内にある地域子育て支援センター	65%	35%
ショッピングモール VI0 内にある子育て交流ひろば「ちつくたつく」	58%	42%
子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ）	18%	82%
病児デイケア事業（病児・病後児保育）	56%	44%
休日保育事業	37%	63%
すみずみ子育てサポート事業	20%	80%

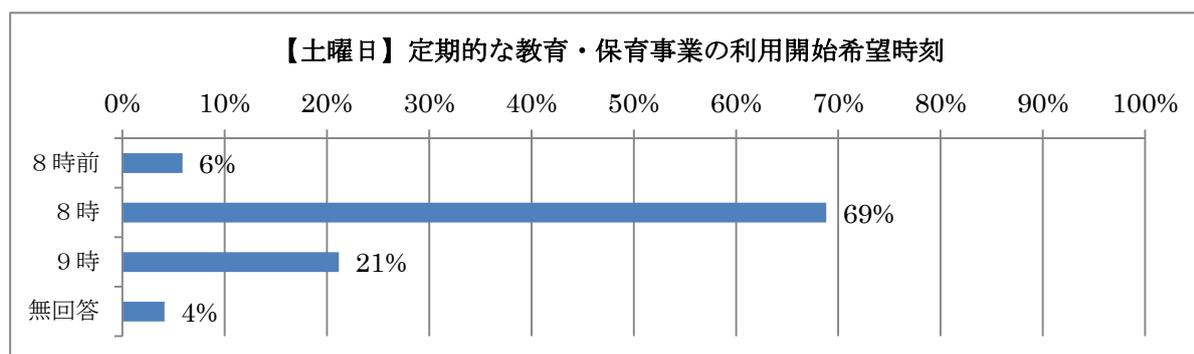
《宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます》

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

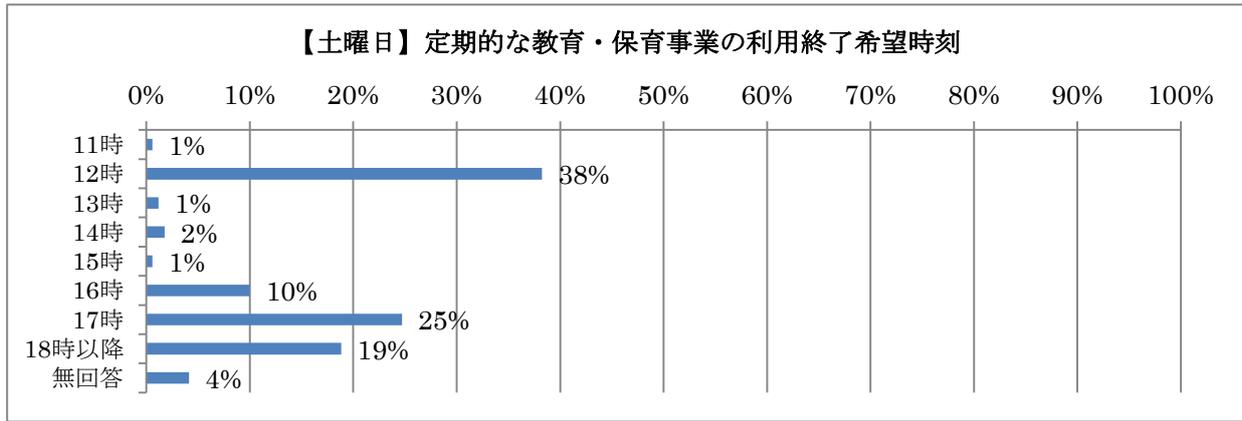
(1) 【土曜日】



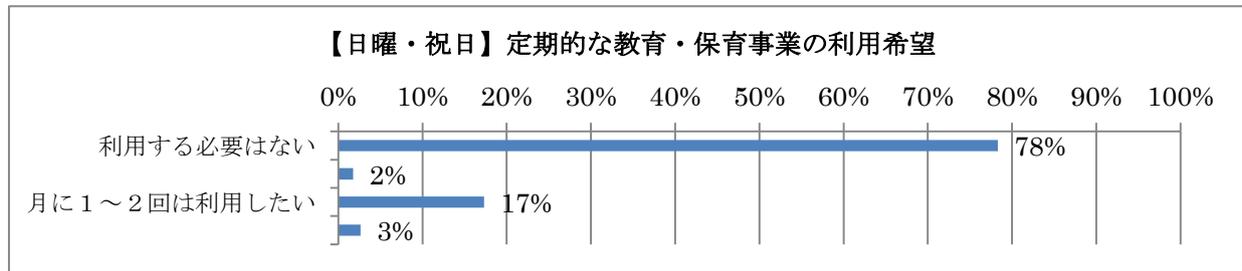
(a) 「ほぼ毎週利用したい」又は「月に1～2回は利用したい」と回答した方の利用開始希望時刻



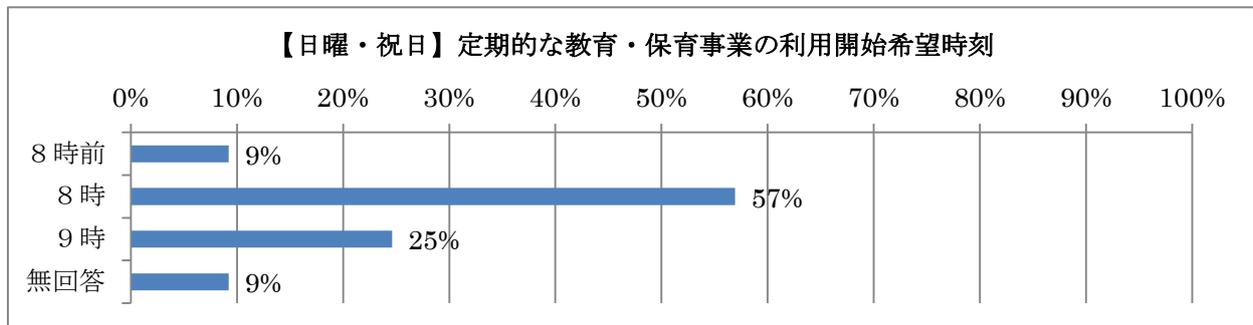
(b) 「ほぼ毎週利用したい」又は「月に1～2回は利用したい」と回答した方の利用終了希望時刻



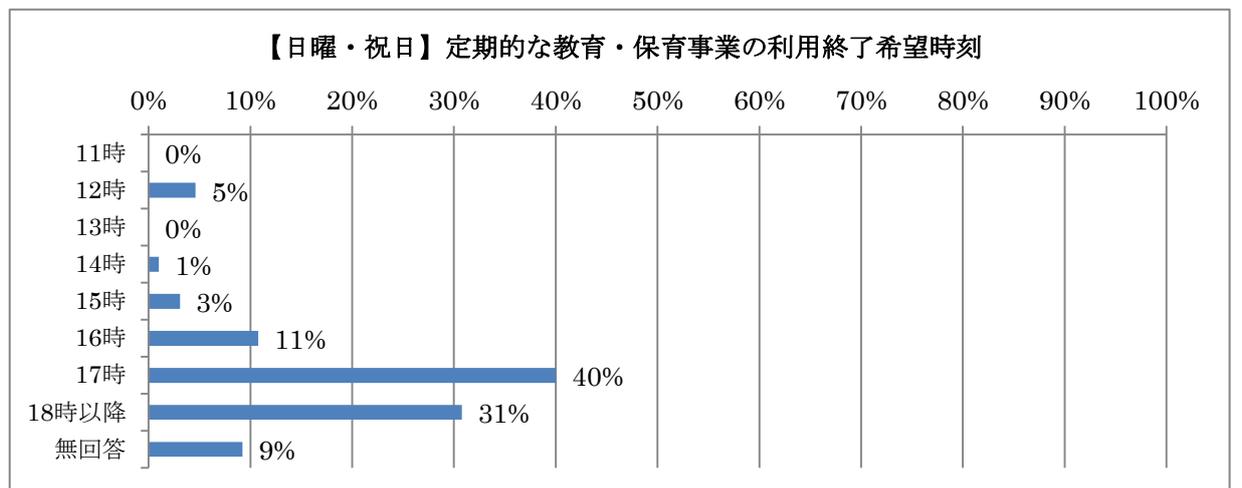
(2) 【日曜・祝日】



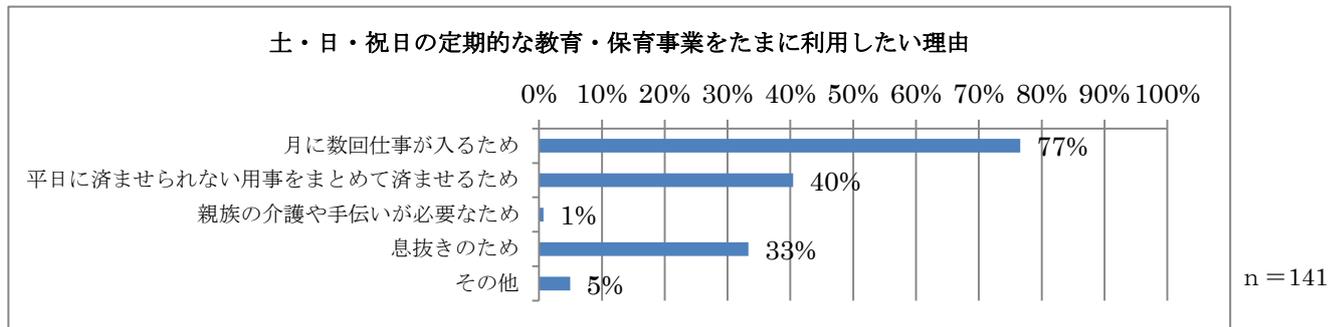
(a) 「ほぼ毎週利用したい」又は「月に1～2回は利用したい」と回答した方の利用開始希望時刻



(b) 「ほぼ毎週利用したい」又は「月に1～2回は利用したい」と回答した方の利用終了希望時刻



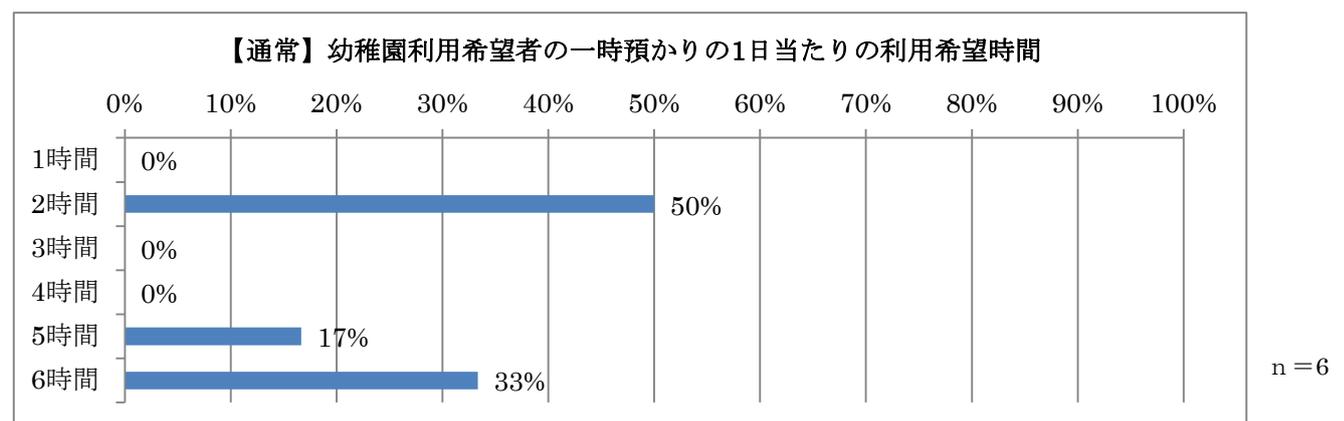
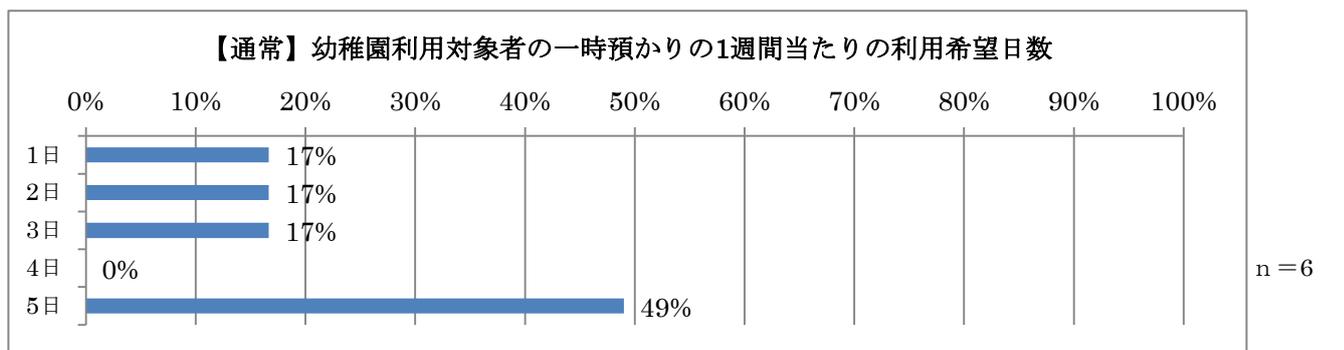
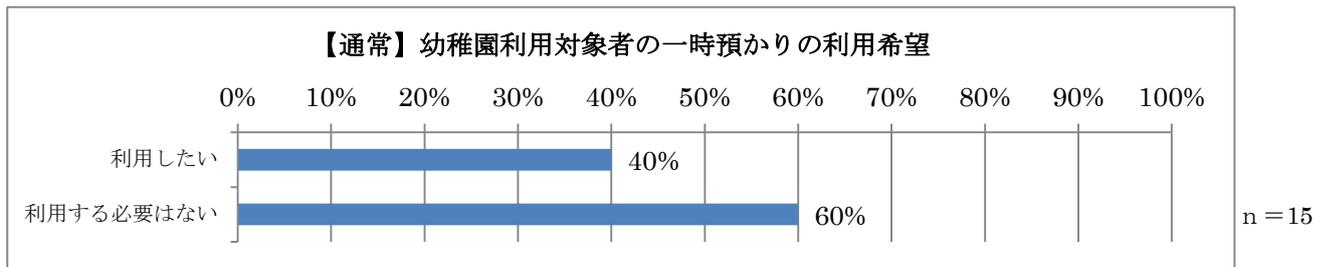
問19-1 問19の(1)もしくは(2)で、「月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



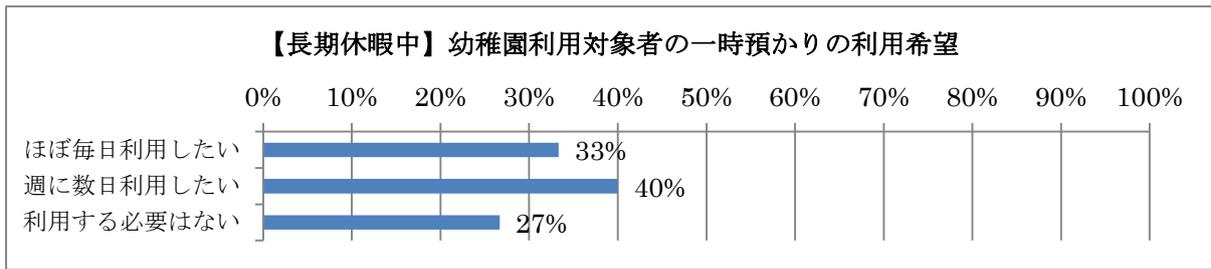
《幼稚園を利用の方のみお答えください》

問20 宛名のお子さんについて、通常の就園時間と夏休み・冬休みなどの長期休業について、一時預かりの利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、9時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

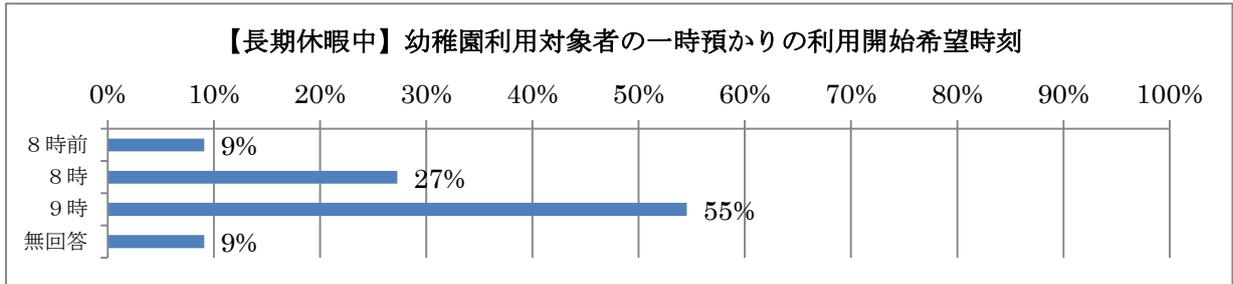
(1) 通常



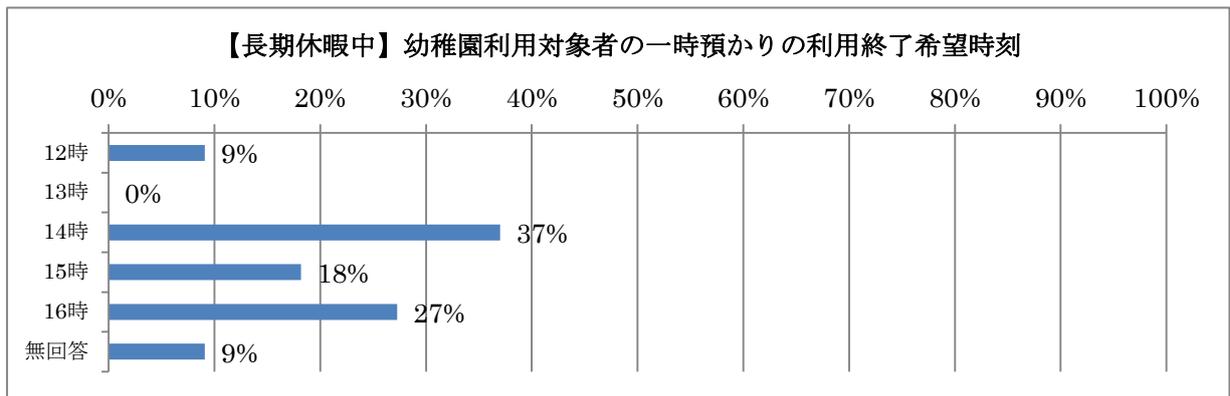
(2) 長期休業（夏休み、冬休み、春休み）



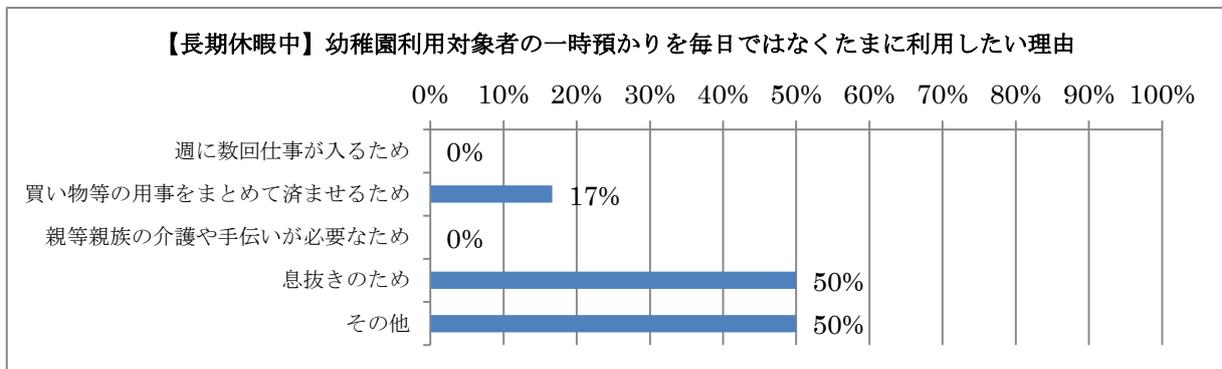
(a) 「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」と回答した方の利用開始希望時刻



(b) 「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」と回答した方の利用終了希望時刻



問21 問20(2)で、「週に数日利用したい」方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

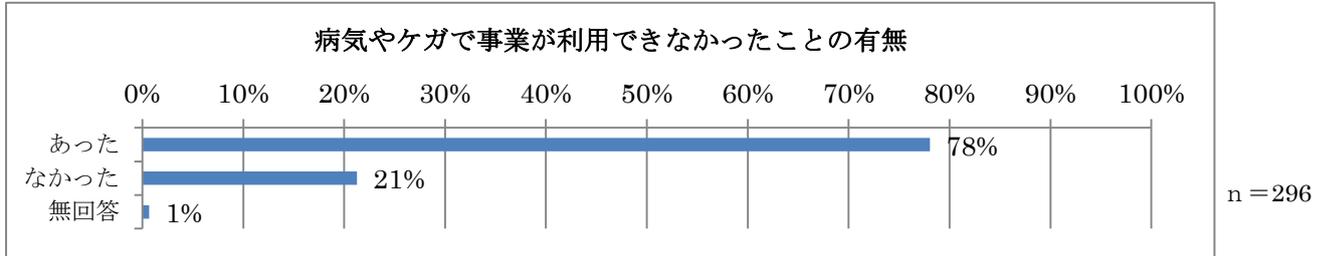


## 《宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます》

問16で「1. 利用している」に○をつけた方（平日の定期的な教育・保育を利用）にうかがいます。

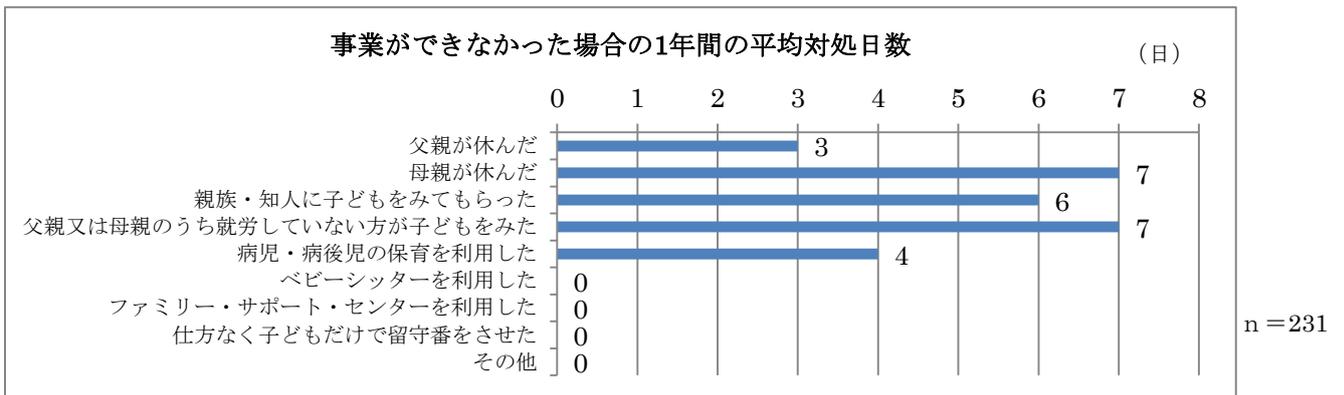
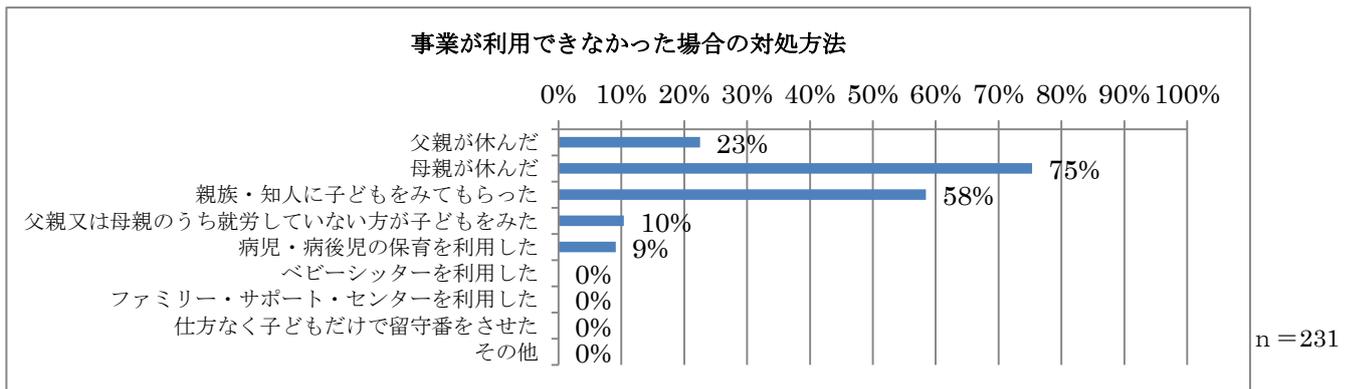
⇒ 利用していない方は、問23へ

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。



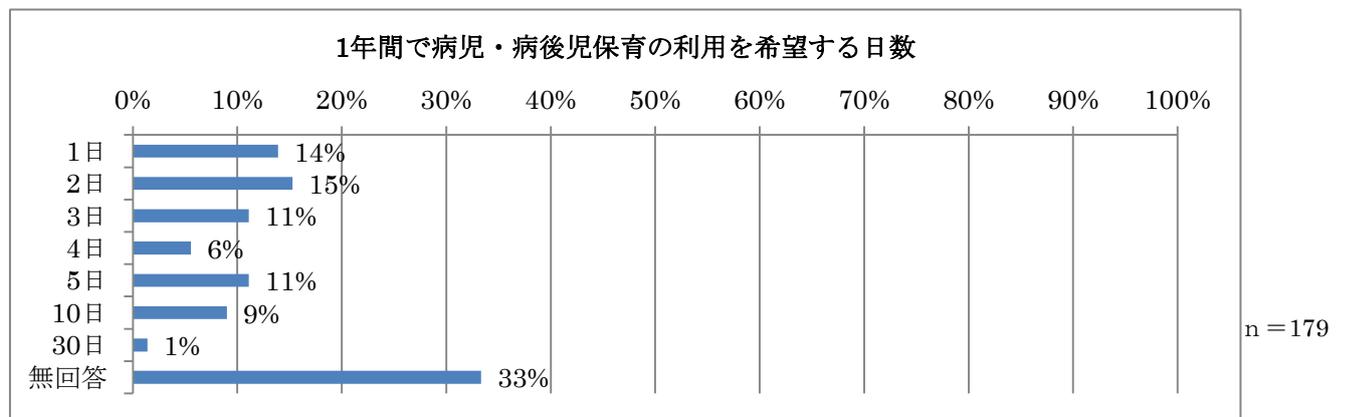
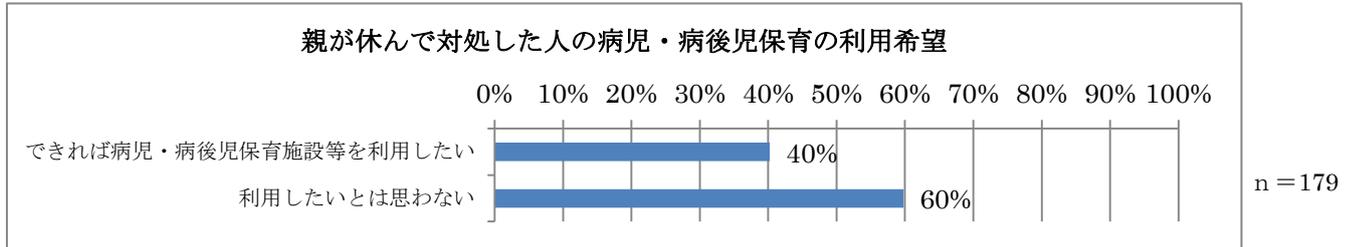
問22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

	1年間の対処方法	日数	
ア	父親が休んだ	____日	⇒問22-2へ
イ	母親が休んだ	____日	
ウ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	____日	⇒問22-5へ
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	____日	
オ	病児・病後児の保育を利用した	____日	
カ	ベビーシッターを利用した	____日	
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	____日	
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	____日	
ケ	その他（ ）	____日	

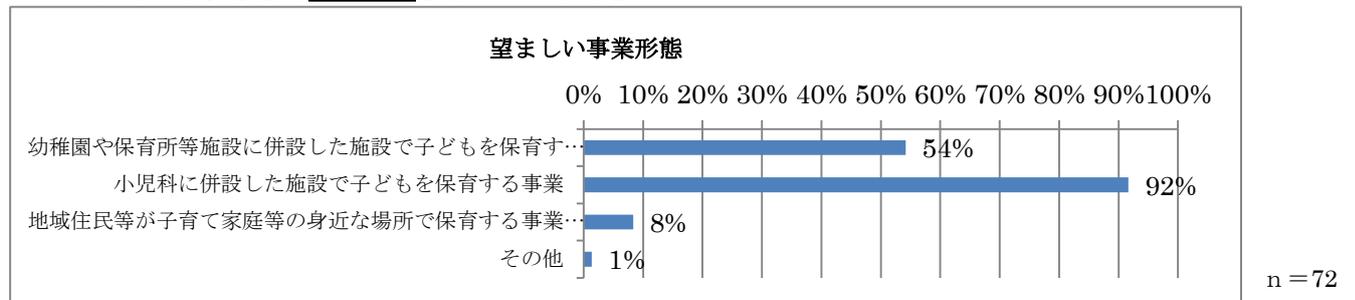


問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

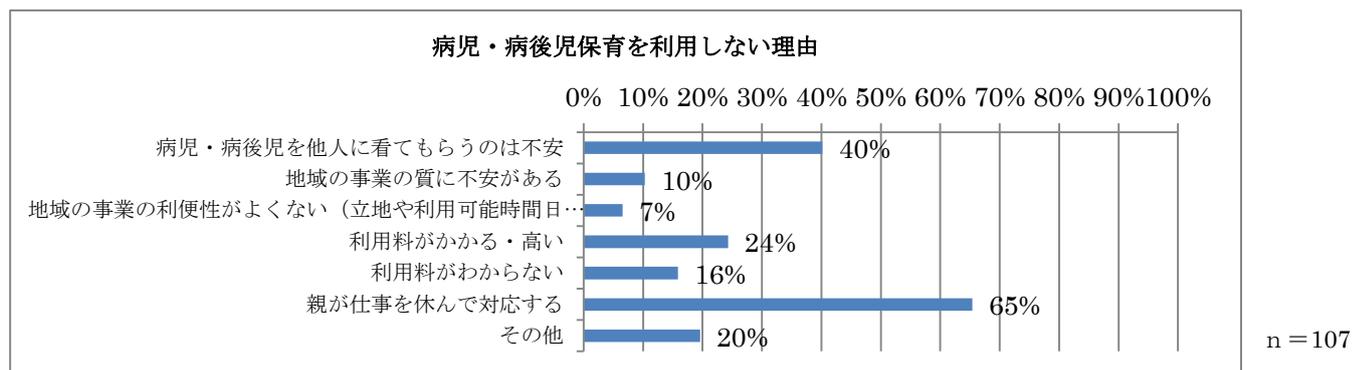
問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



問22-3 問22-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

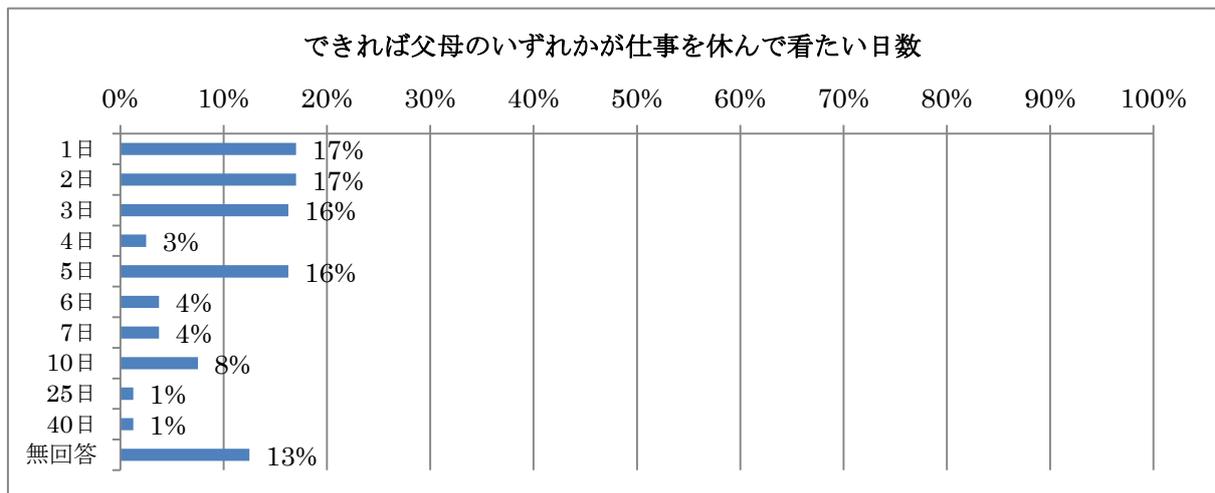
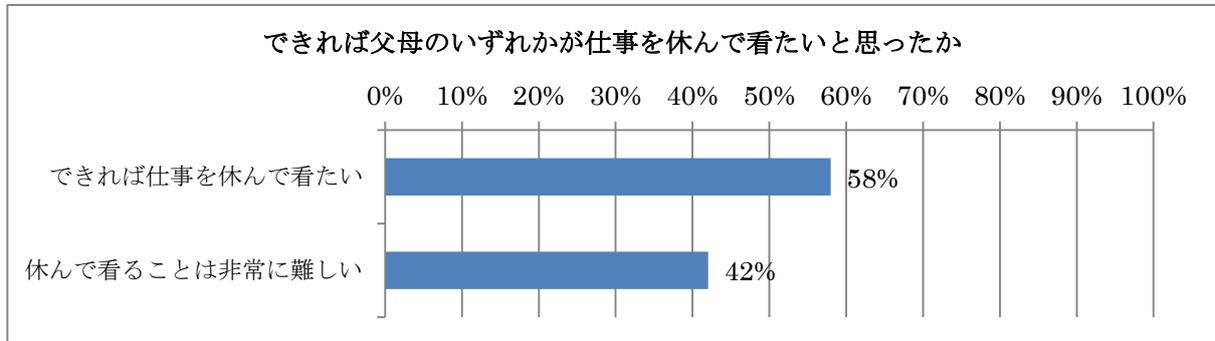


問22-4 問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

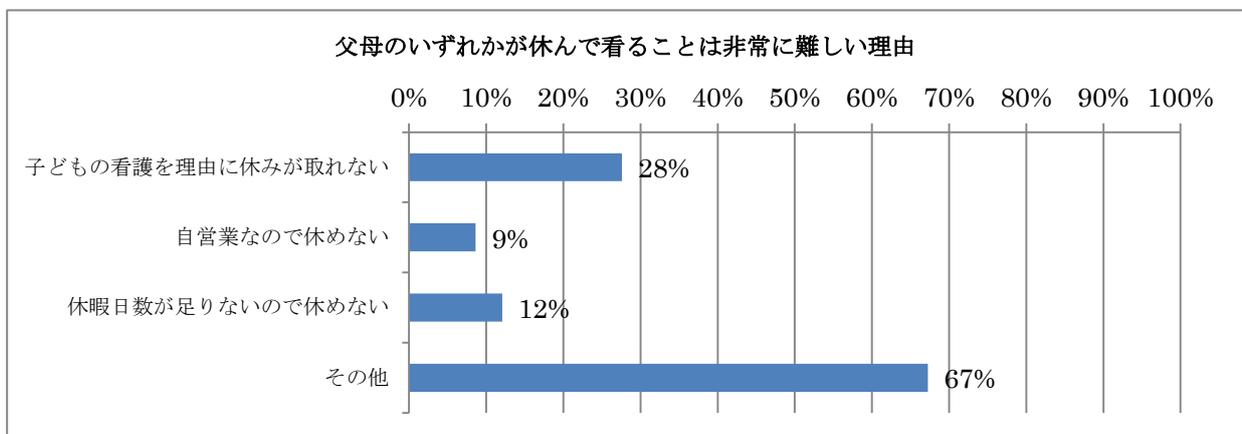


問22-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

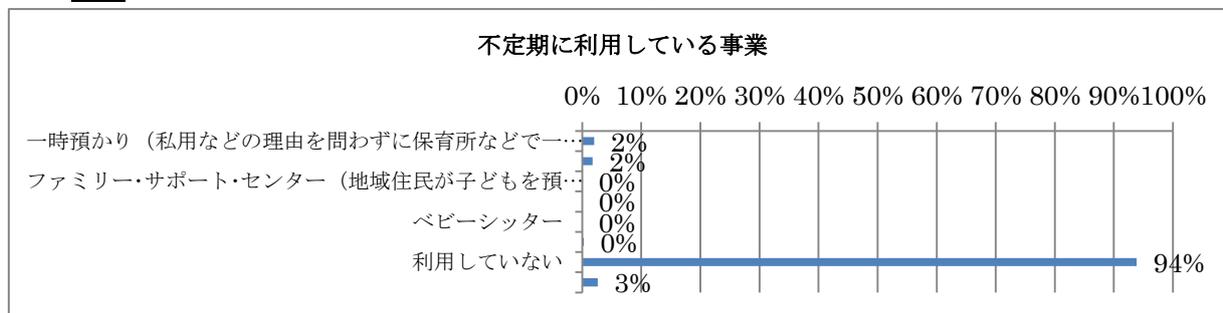


問22-6 問22-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

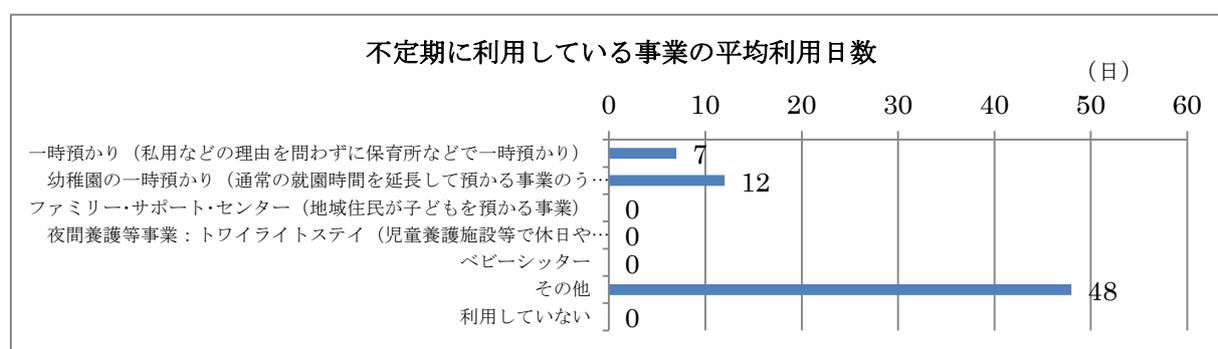


## 《宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます》

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

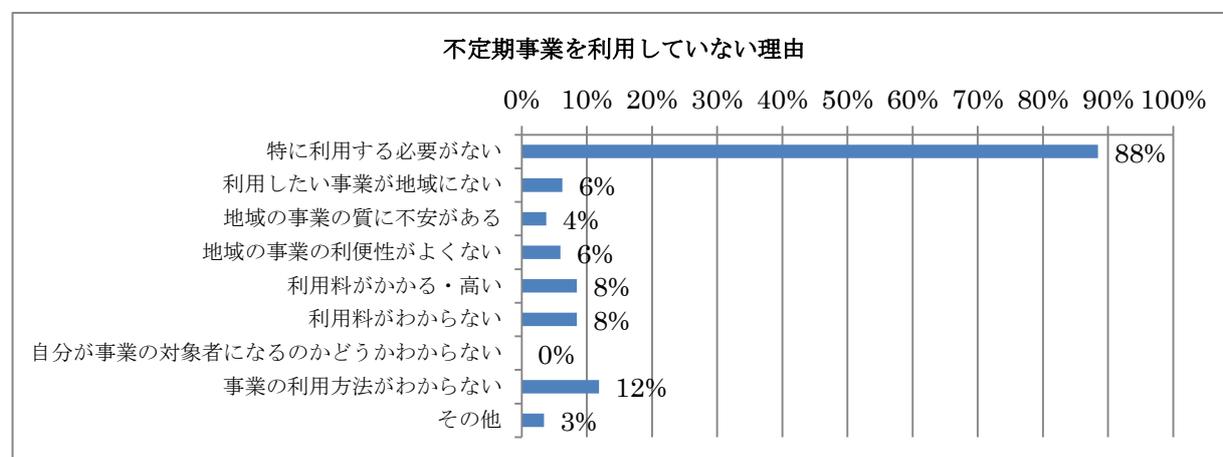


n = 341



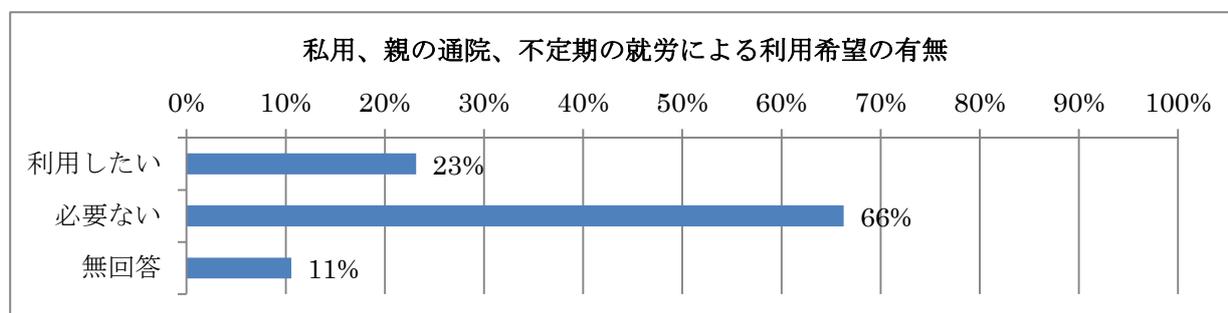
問23で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

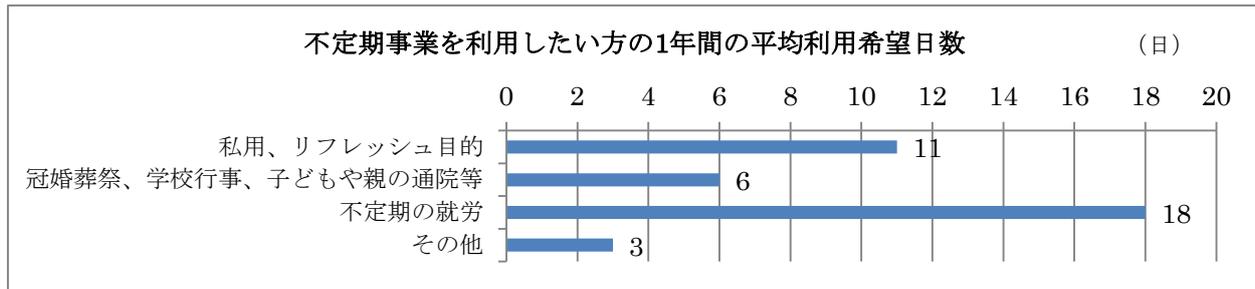
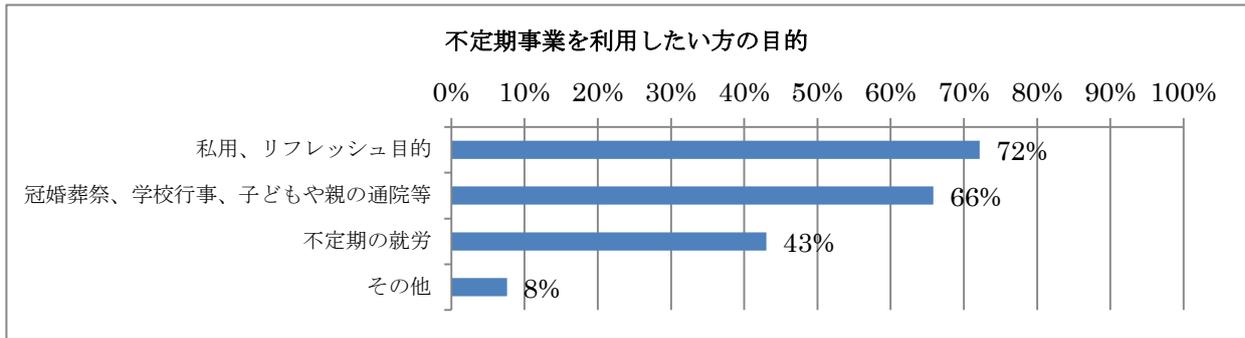


n = 320

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

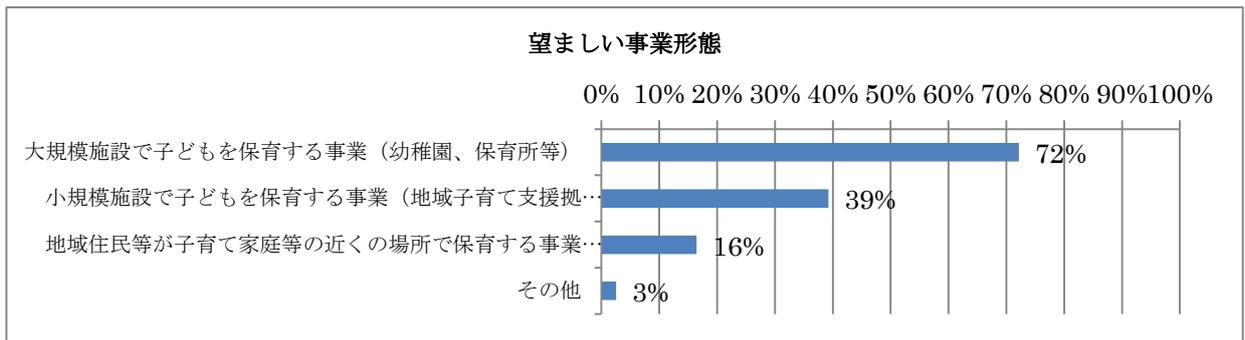


n = 341

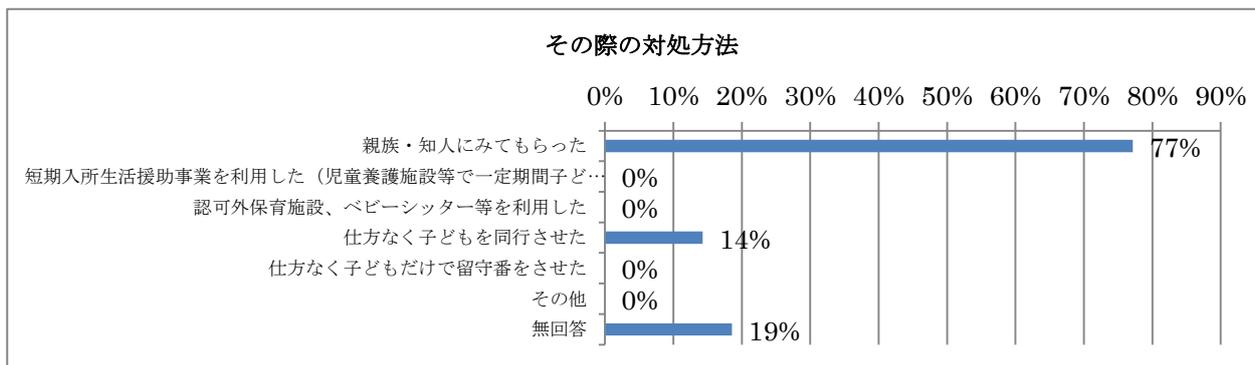
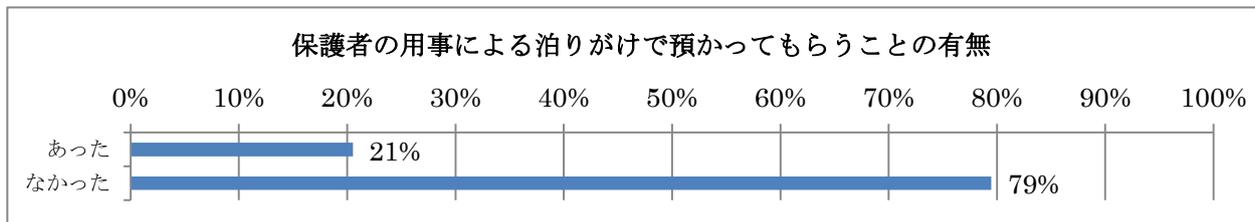


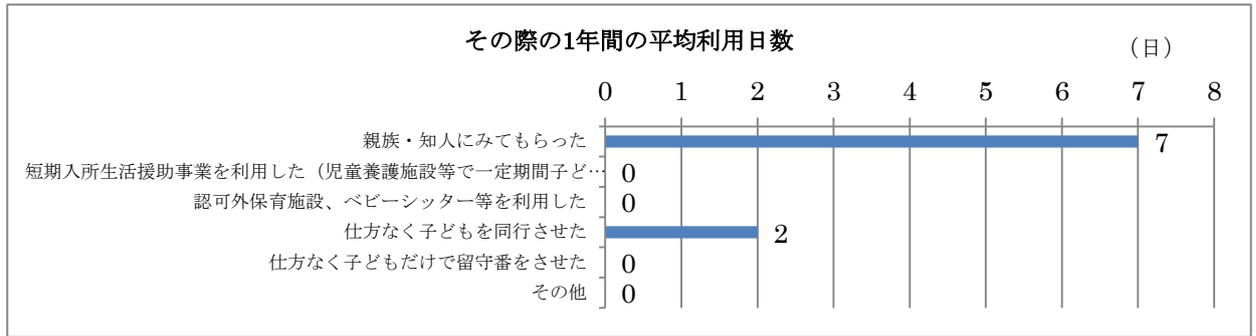
問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



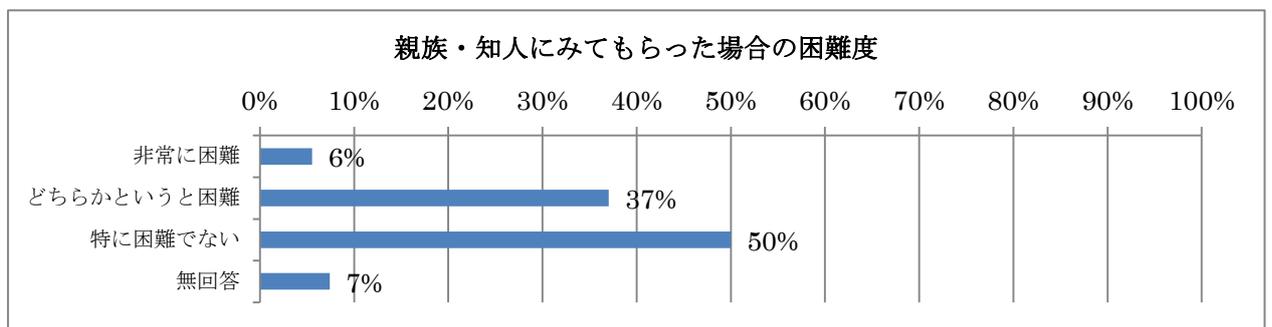
問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。



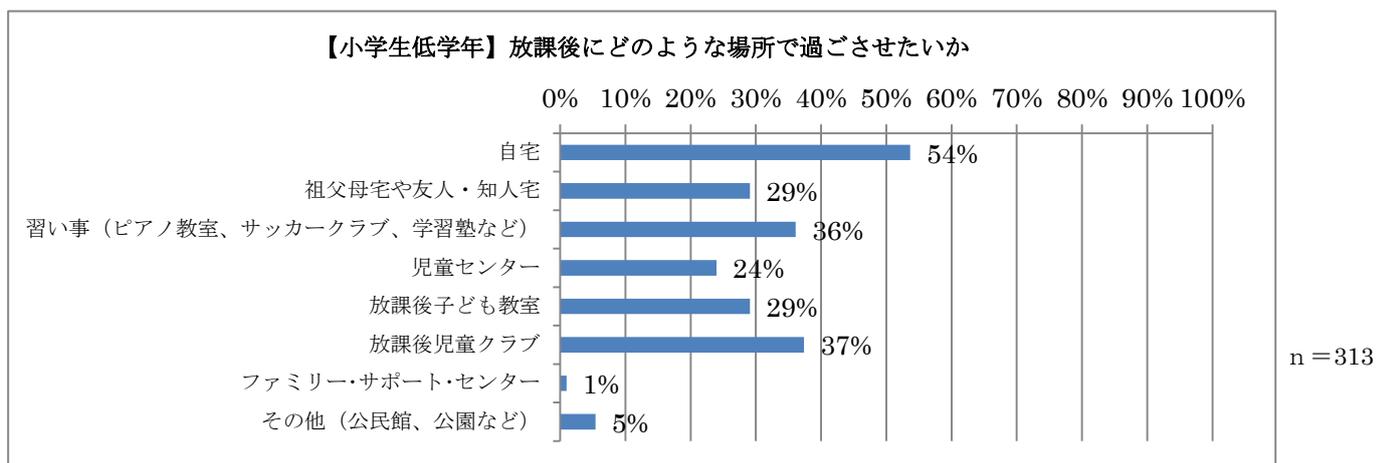


問25で「あった (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

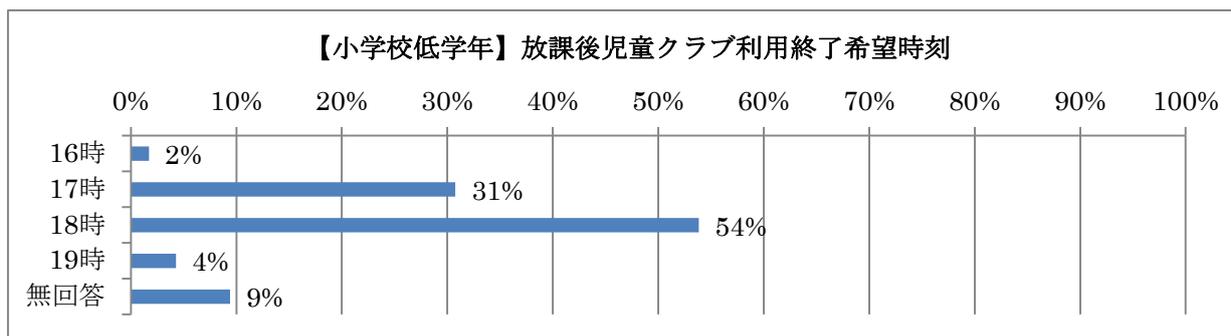
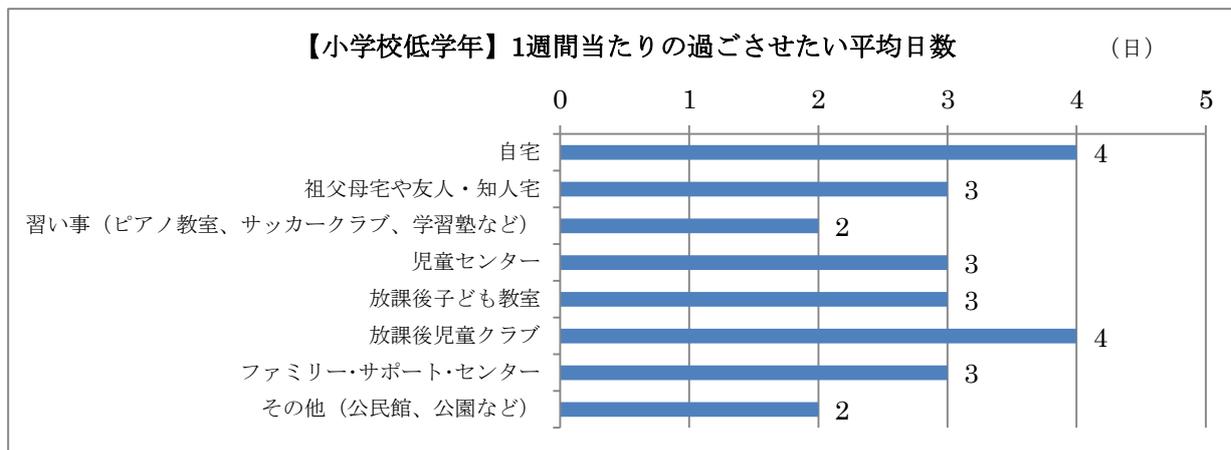


問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年 (1~3年生)のうち、放課後 (平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。

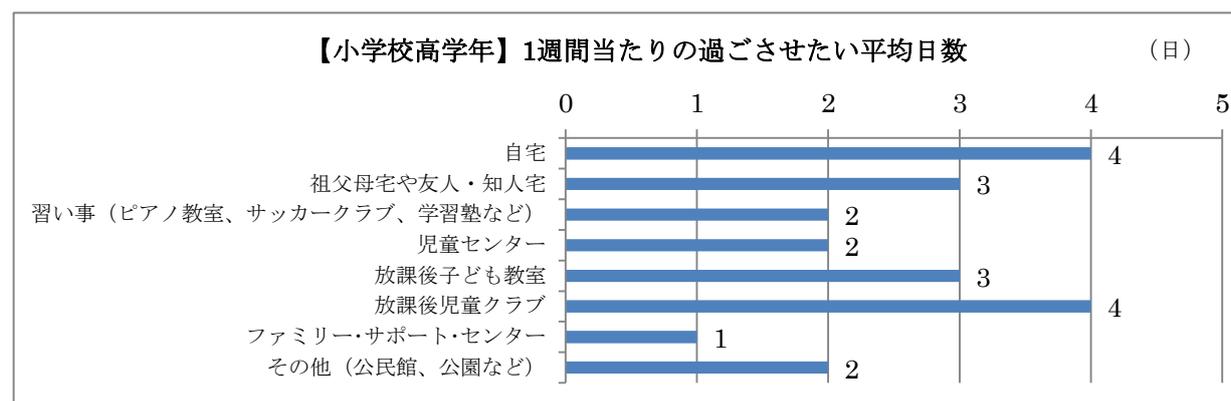
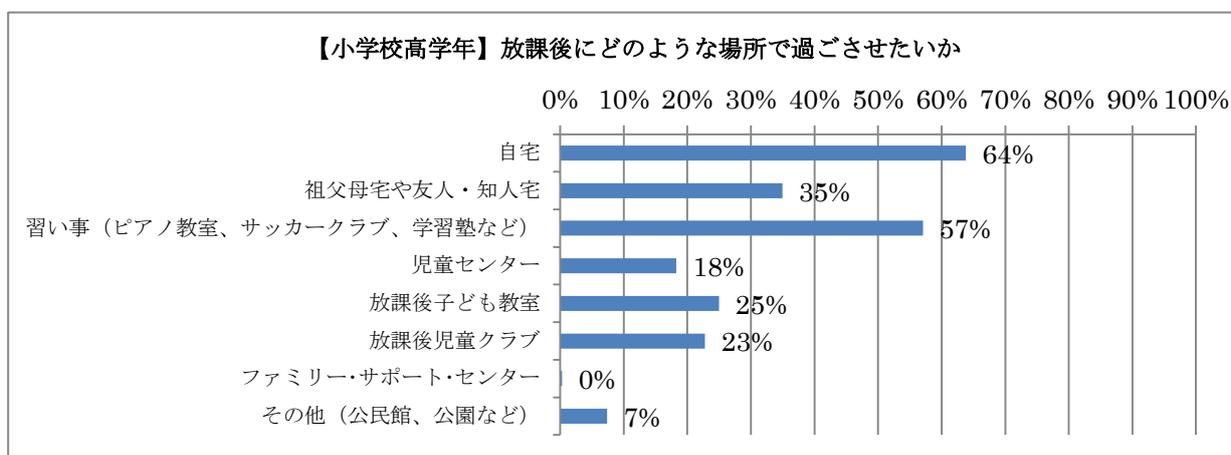


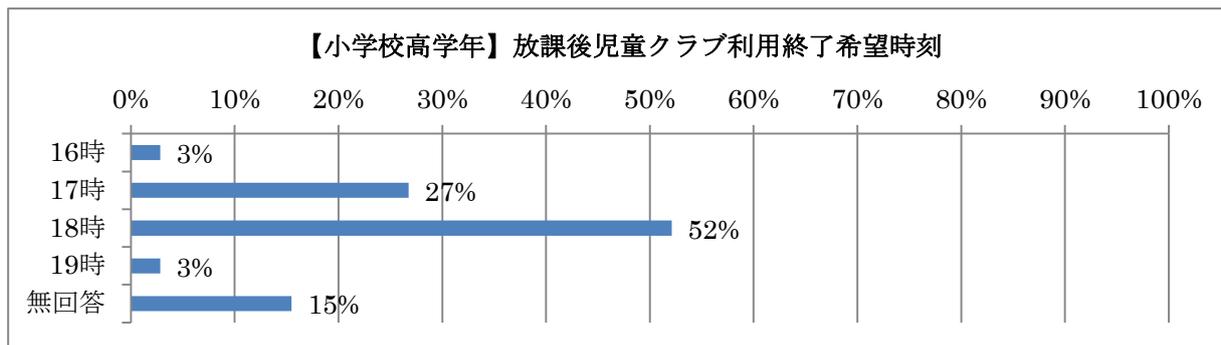
※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



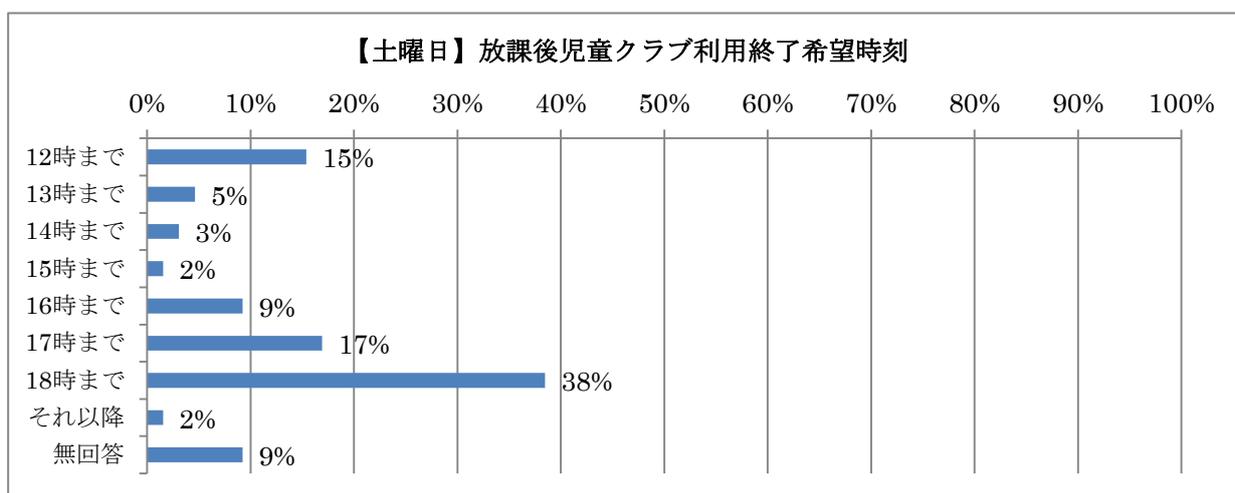
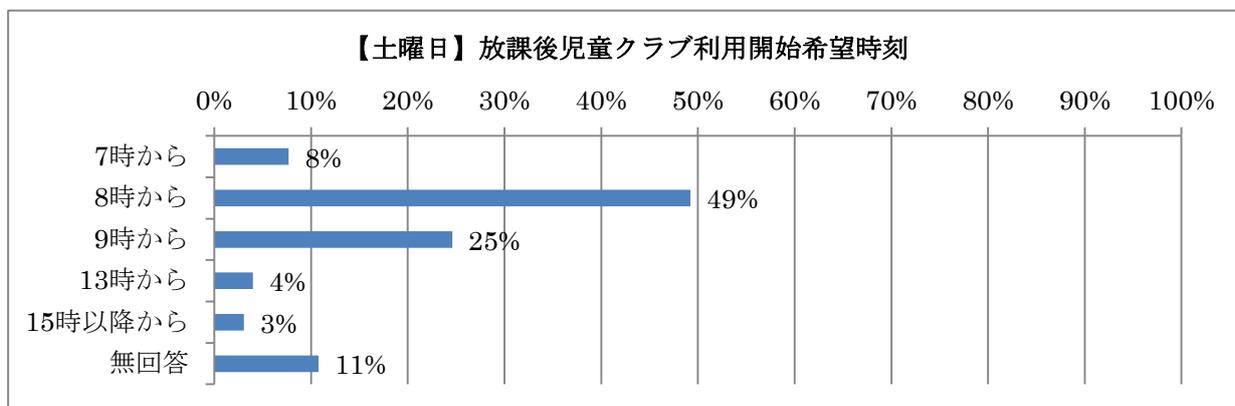
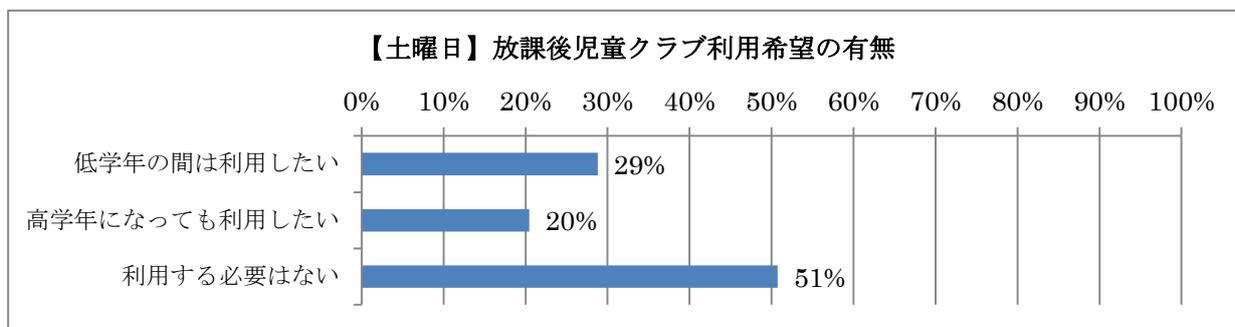
**問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年 (4～6年生)になったら、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。**



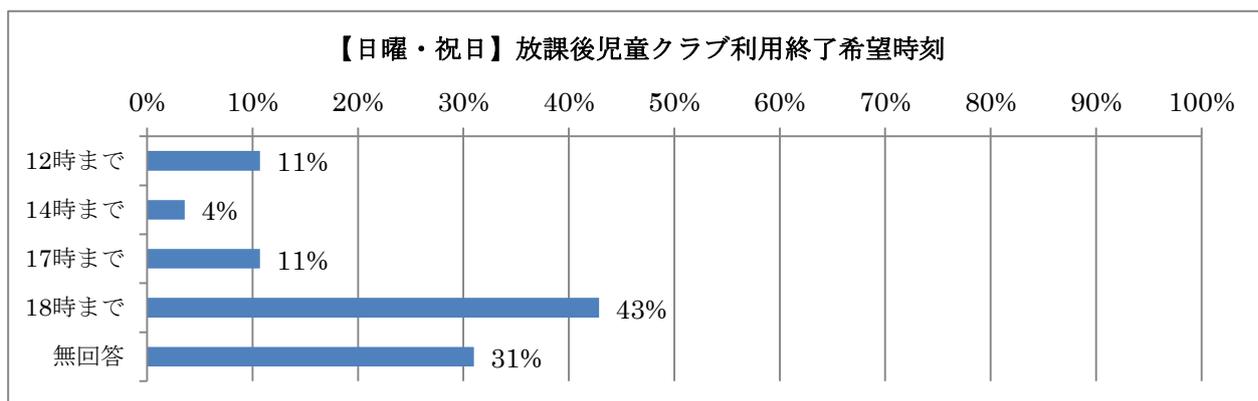
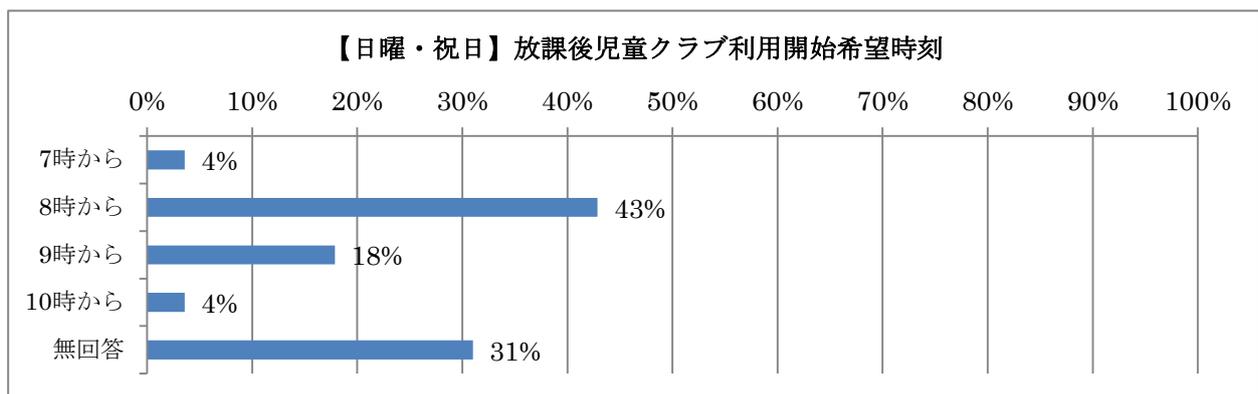
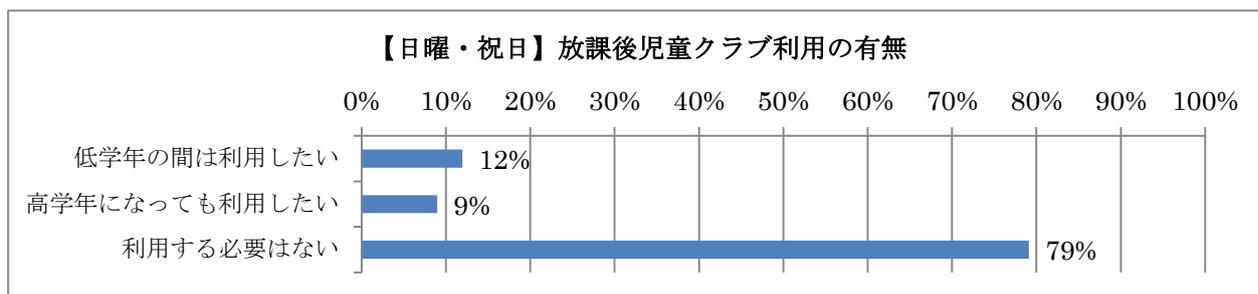


**問28** 問26または問27で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

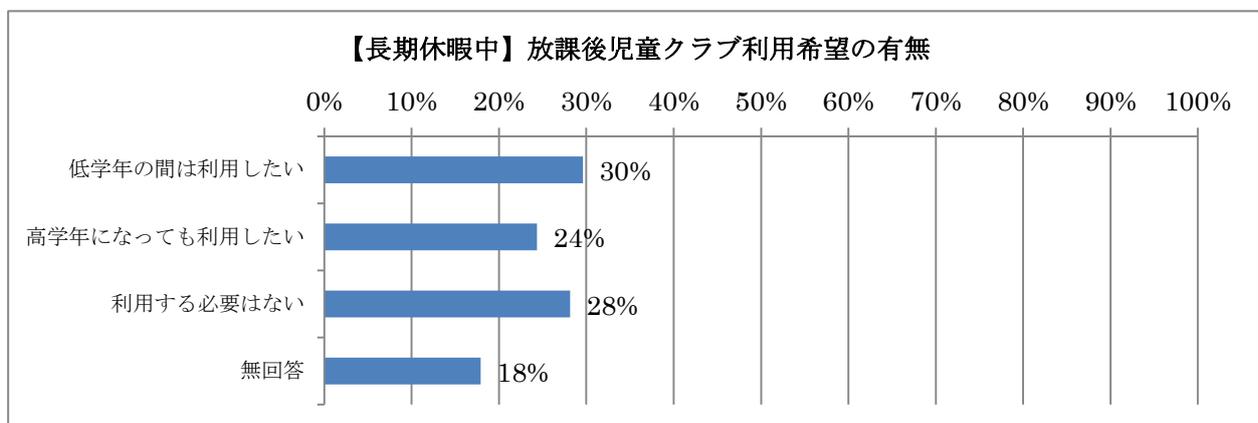
（1）土曜日

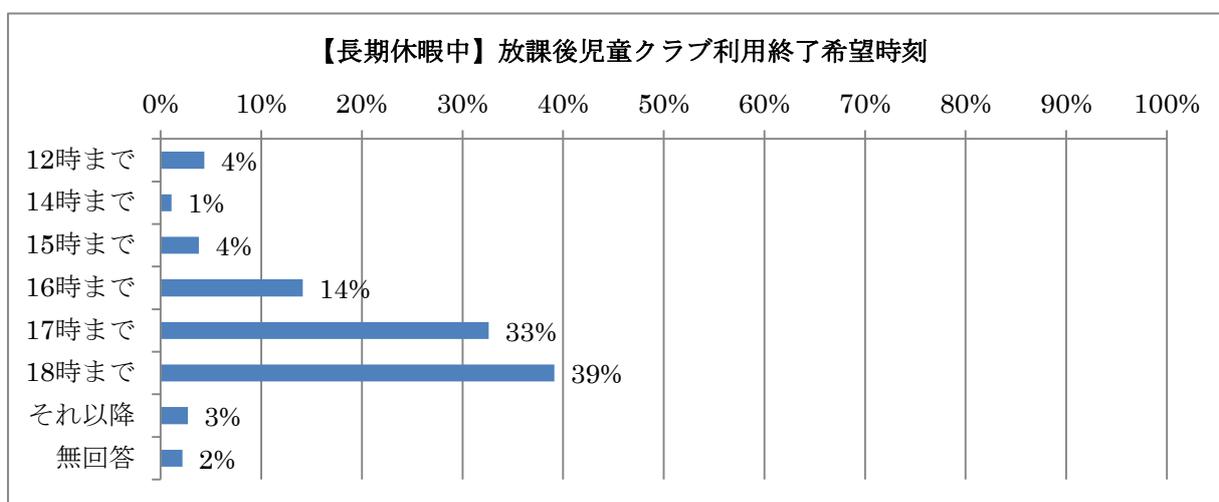
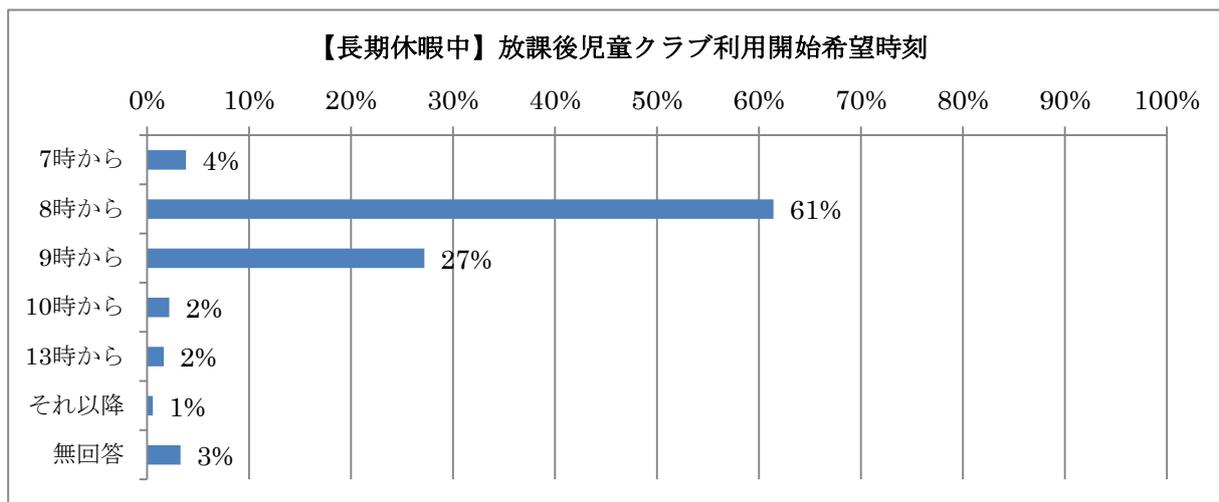


(2) 日曜・祝日



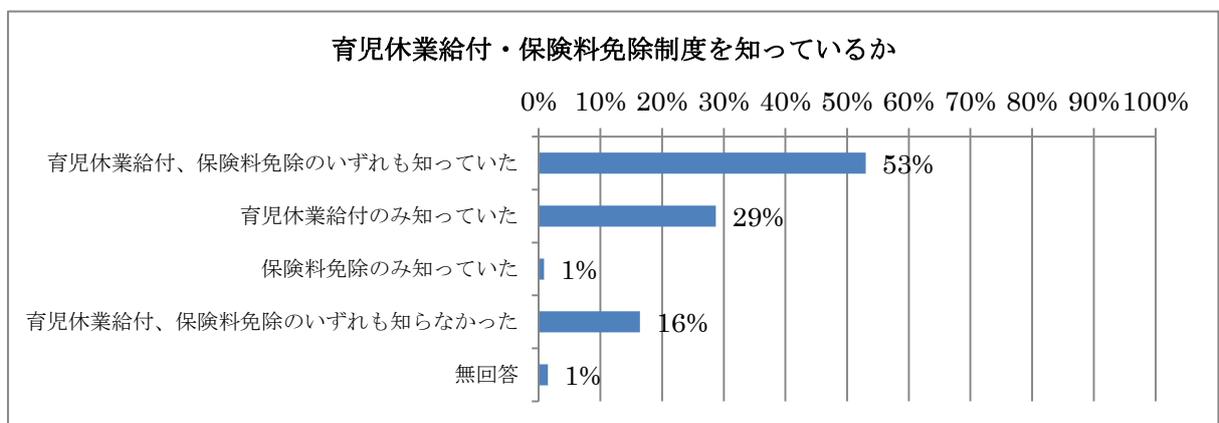
**問29** 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。



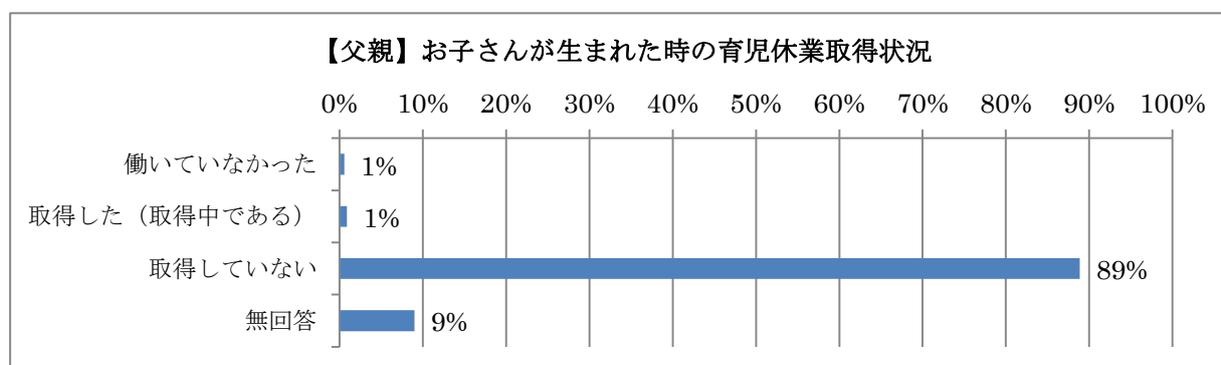
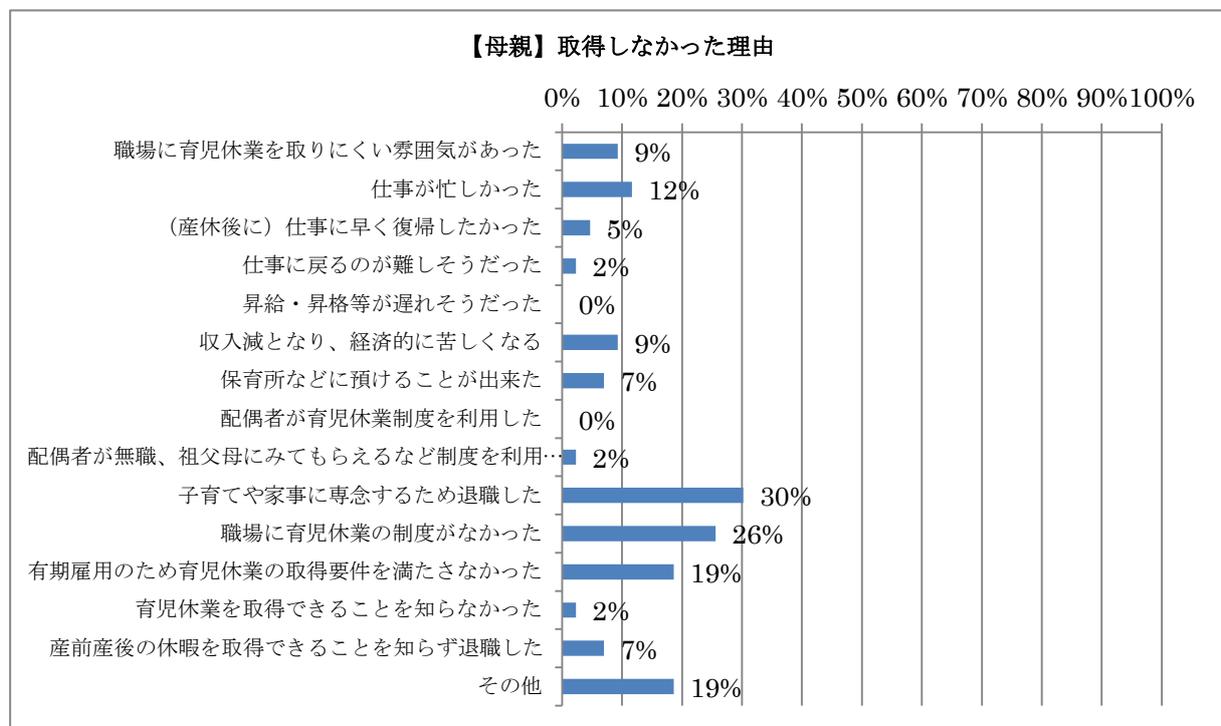
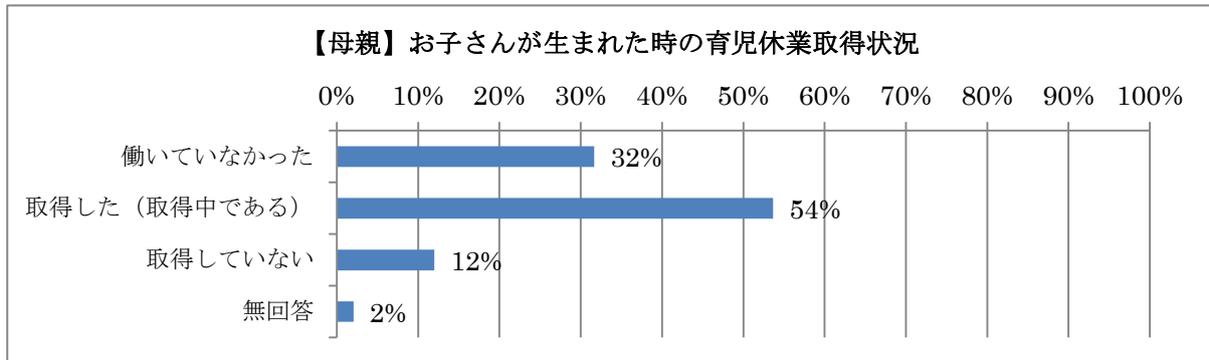


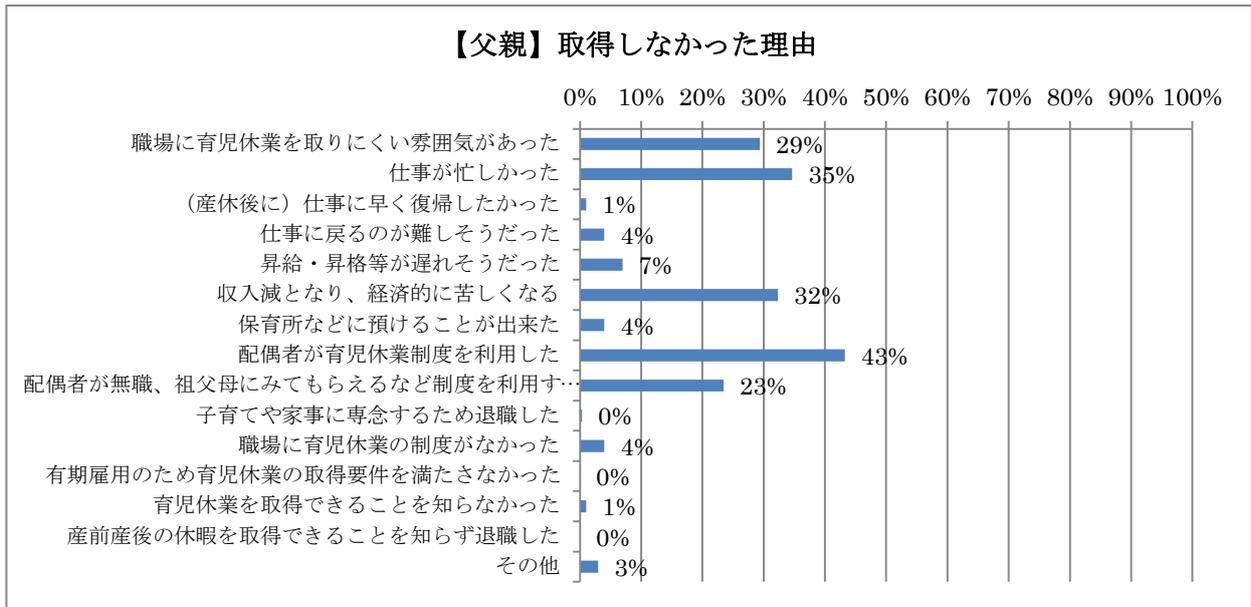
**《育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援についてうかがいます》**

問30 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問3 1 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。



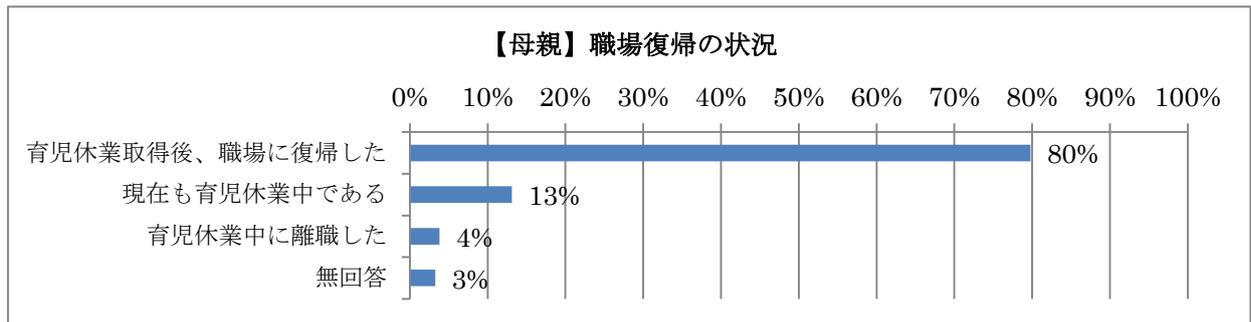


問31で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

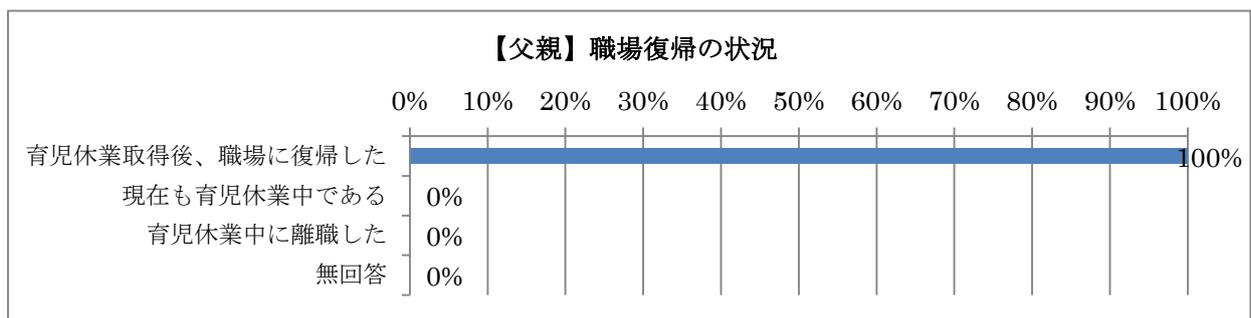
⇒ 該当しない方は、問32へ

問31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



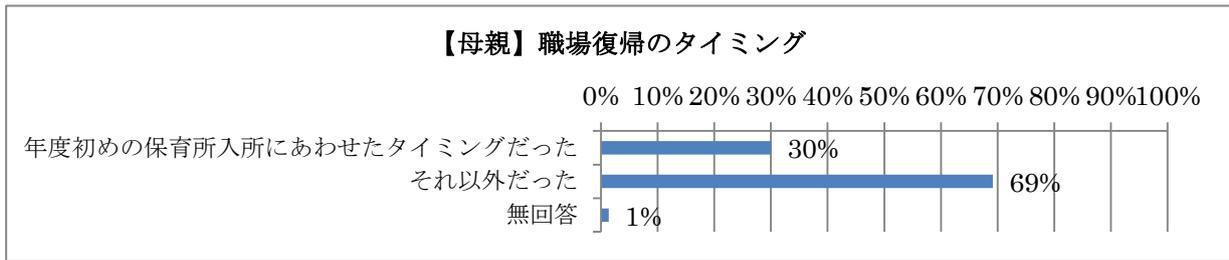
(2) 父親



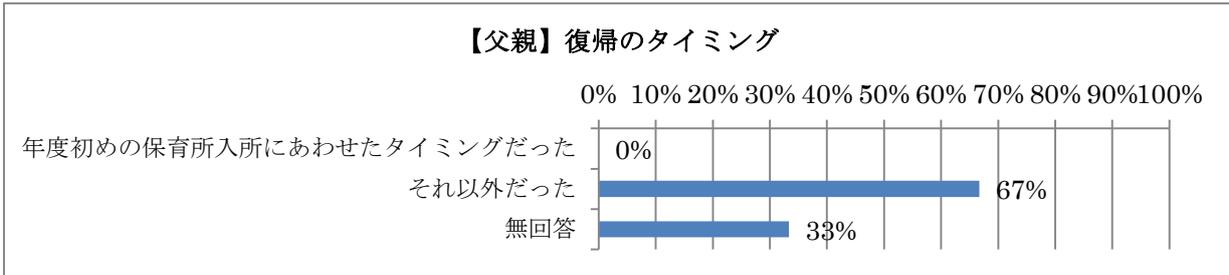
問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

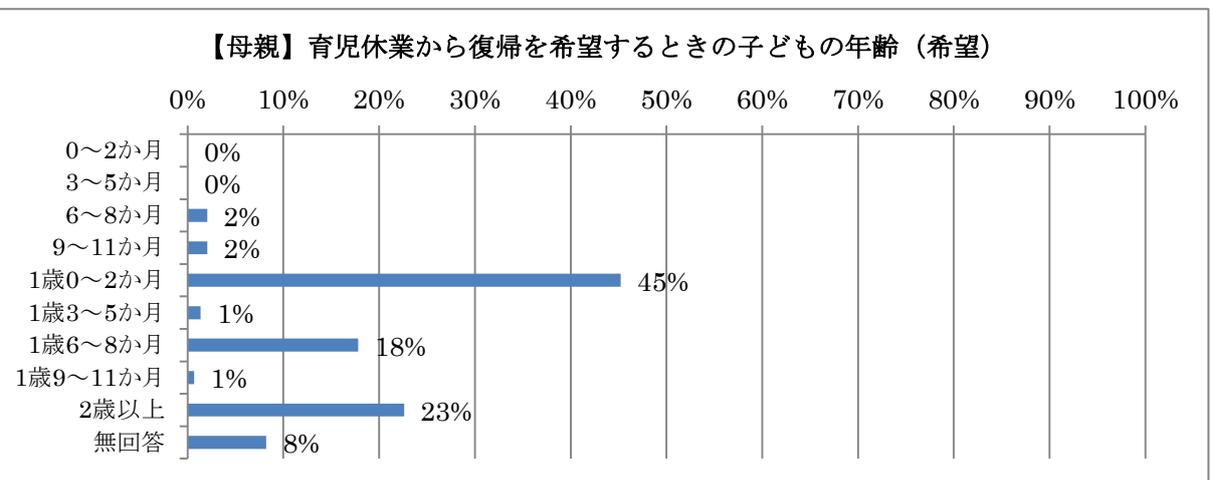
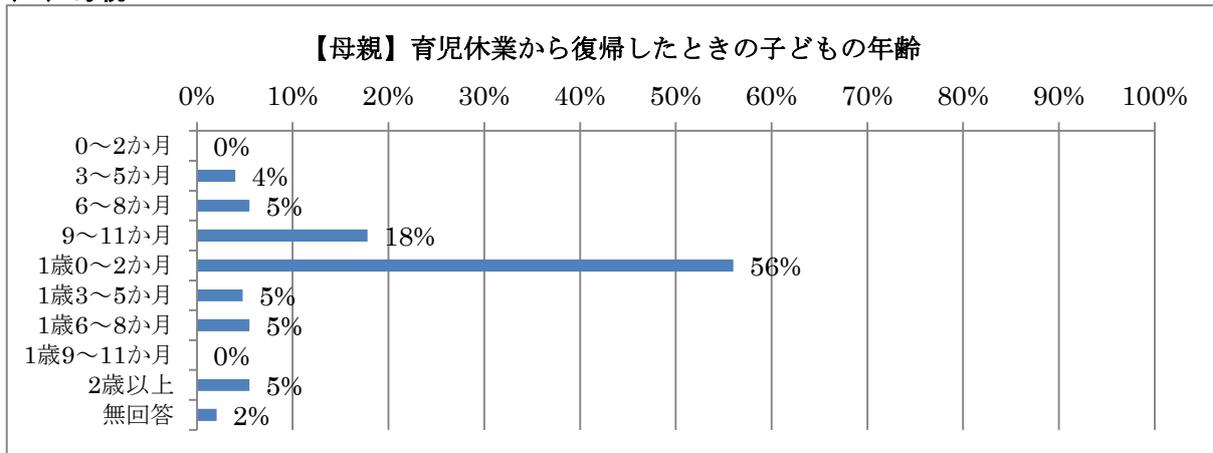


(2) 父親



問3 1-3 育児休業からは、実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

(1) 母親



(2) 父親 (対象者 3名)

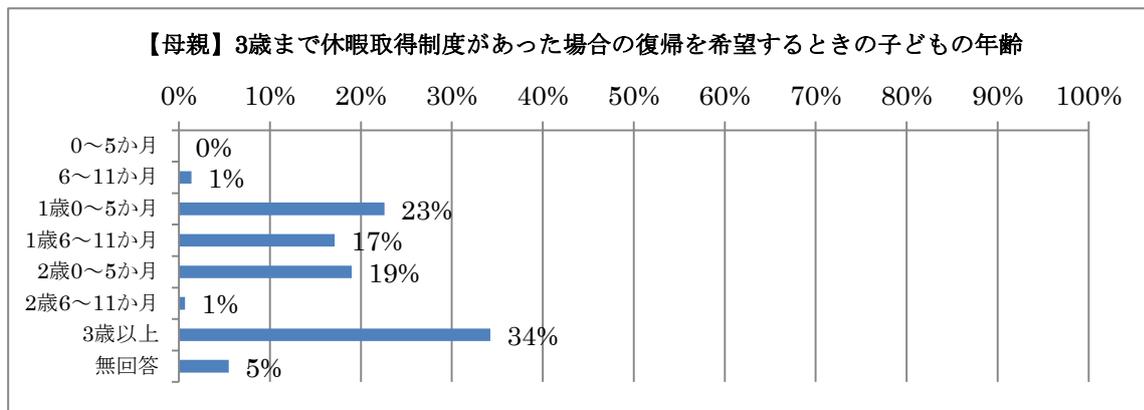
育児休業から復帰したときの子どもの年齢	回答数
7日間	1
無回答	2
育児休業から復帰するときの子どもの年齢(希望)	回答数
1歳	1
無回答	2

n = 3

n = 3

問3 1-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親



n = 146

(2) 父親 (対象者 3名)

3歳まで休暇取得制度があった場合の復帰を希望するときの子どもの年齢	回答数
1歳	1
無回答	2

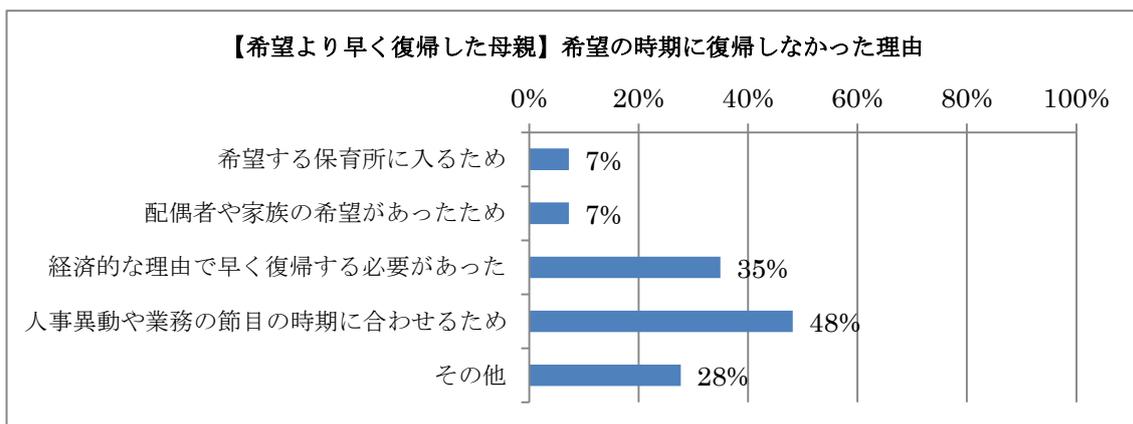
n = 3

問3 1-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問3 1-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親



n = 83

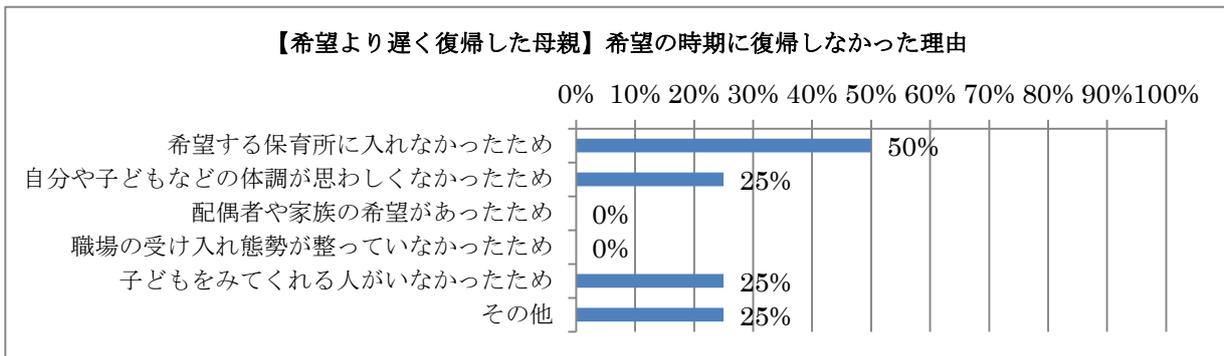
(2) 父親 (対象者 1名)

【希望より早く復帰した父親】希望の時期に復帰しなかった理由	回答数
1. 希望する保育所に入るため	0
2. 配偶者や家族の希望があったため	0
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	0
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	0
5. その他	1

n = 1

「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親



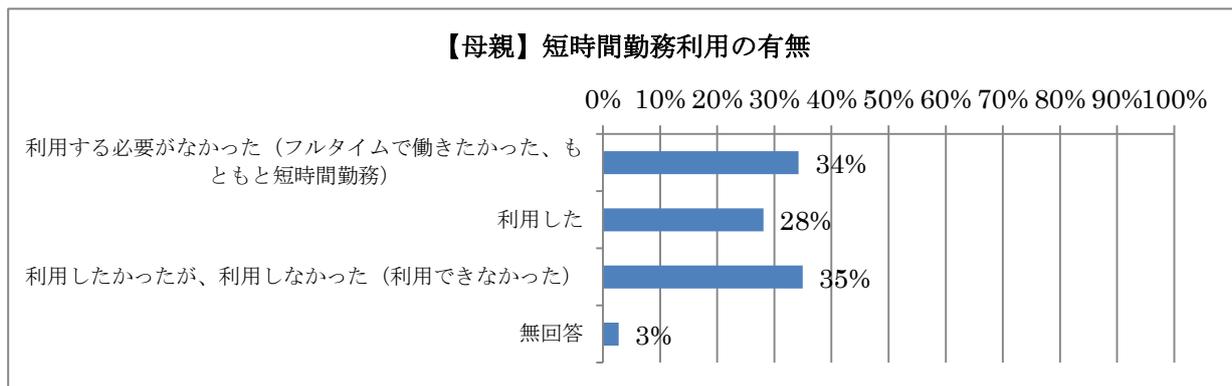
n = 4

(2) 父親

対象者はいませんでした

問31-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親



n = 146

(2) 父親 (対象者 3名)

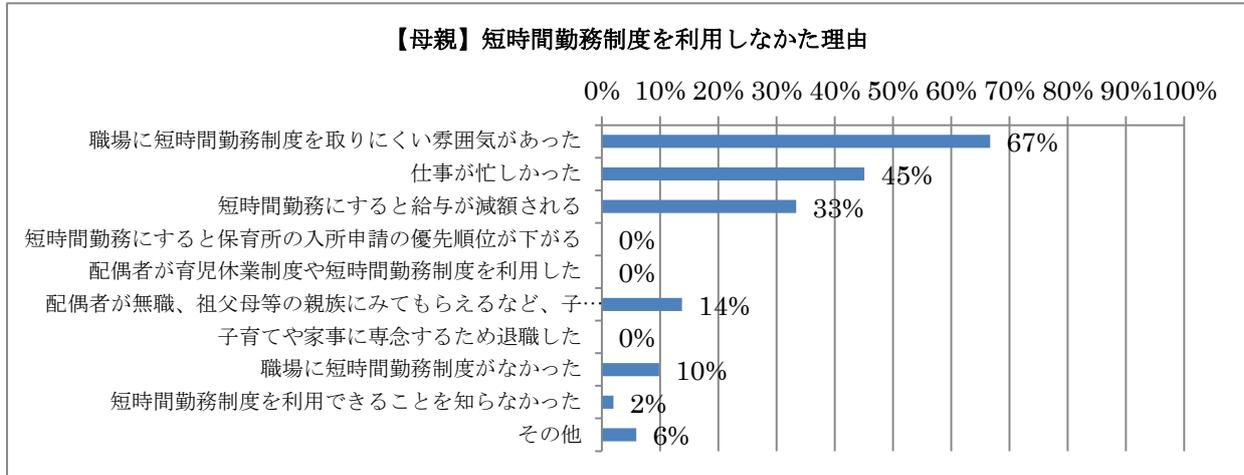
【父親】短時間勤務の有無	回答数
利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務)	2
利用した	0
利用したかったが、利用しなかった	0
無回答	1

n = 3

問3 1-6で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問3 1-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親



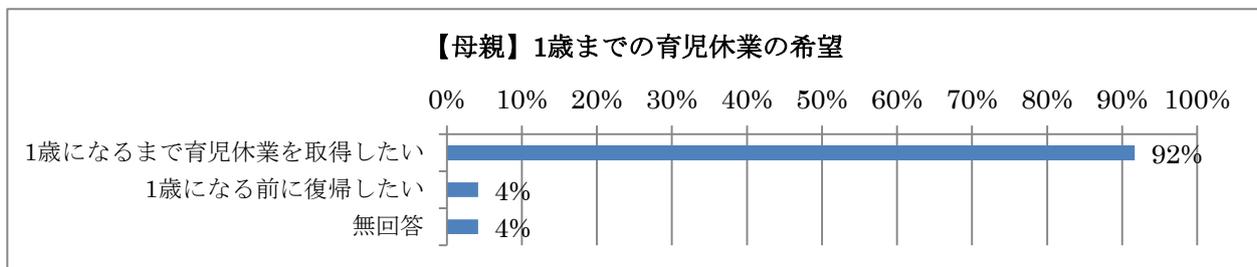
(2) 父親

対象者はいませんでした

問3 1-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問3 1-8 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



(2) 父親

対象者はいませんでした

問3 2 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	回答数	構成比
1	11	3%
2	40	12%
3	111	33%
4	82	24%
5	15	4%
満足度が高い	※無回答 82件(24%)	

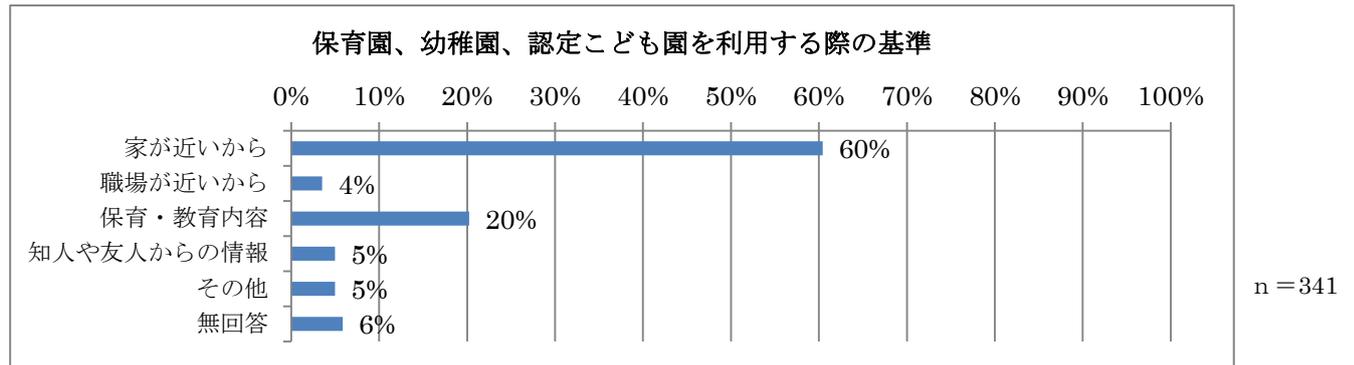
n = 341

問33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

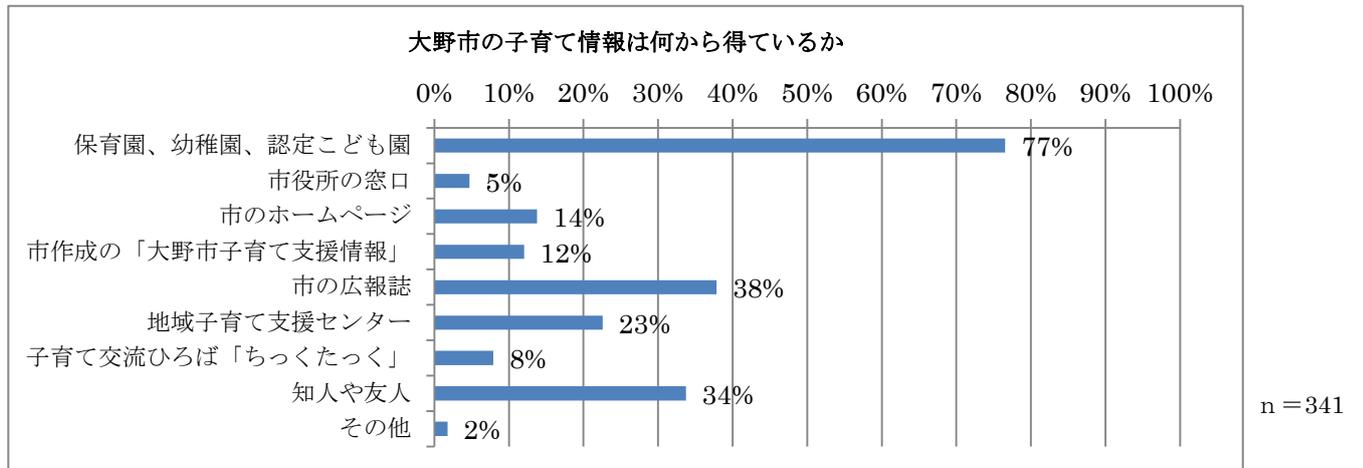
別添のとおり

## 大野市追加アンケート

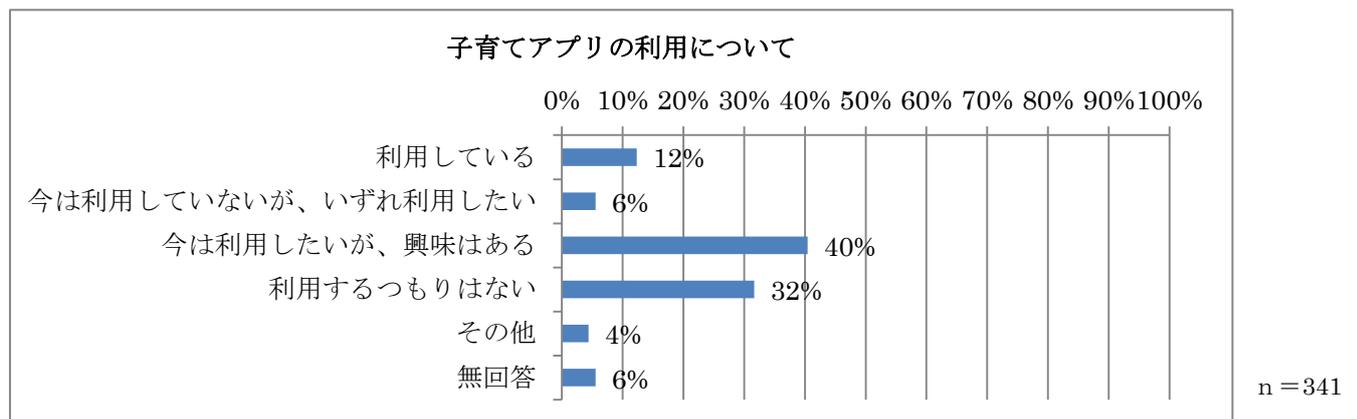
問34 保育園、幼稚園、認定こども園を利用する時、何を基準に施設を選びましたか。利用していない場合は、何を基準に選ぶと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



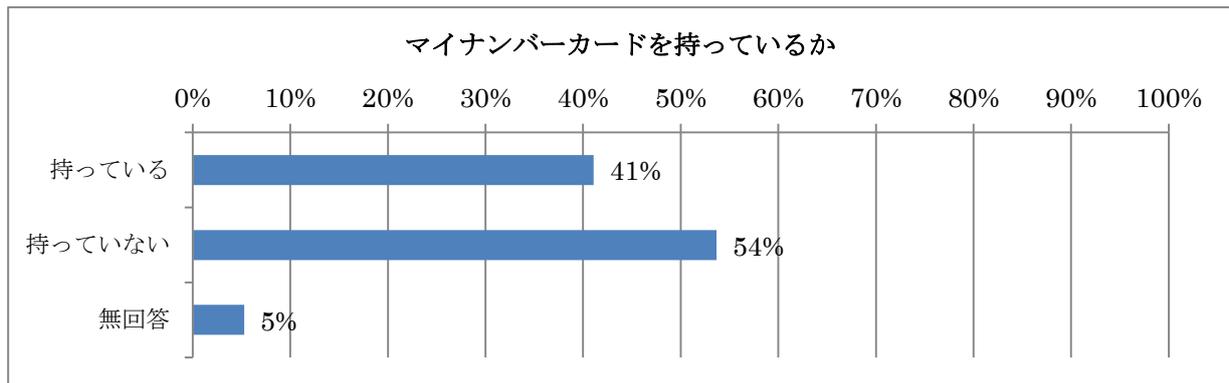
問35 大野市の子育ての情報は、何から得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問36 子育てアプリを利用していますか。または、利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問37 マイナンバーカードを持っていますか。(回答いただいている方について)



調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

## 第3章 自由意見

問12 (教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

【107人から複数回答】

1. 保育に関するサポート

- ・保育所終了から親が帰宅するまでの時間の保育をサポート
- ・保育所(学校)終了時から親が帰宅するまでの時間の保育をサポート
- ・夜間、休日に預かってもらえる施設が複数あればとても安心で、負担もかなり減ると思う
- ・自分の体調が良くない時など、子どもを見てもらえると助かる。(現在は見てもらえる環境にあるので助かっている。)
- ・未就園児の場合、緊急時に事前の予約なしで気軽に預けられたらよい。(もちろん有料で)例えば、子育て支援センターにそのようなシステムがあると助かる。いつも遊びに行っており、雰囲気や職員のことも分かるので安心して預けられる。
- ・病児保育の受入が、感染症のはやる時期になると利用人数の制限などで利用できないので困る。
- ・土日に気がねなく託児できる施設や場所がほしい。
- ・将来、働いた時に、子どもが風邪を引き、こども園を休まないといけなくなった時でも、周囲のサポートがあり、働ける環境があるといい。
- ・特にありませんが、仕事に行ってる時や、体調を崩しているときに、祖父母にサポートをお願いしたいです。
- ・子どもが2人以上いる家庭では、とにかく見てくれる人がいるだけで助かる。(1人が入院したとき、また日常的なことと言えば、1人をお風呂にいれているときなど)
- ・都合が悪い時に見てもらえるサポート
- ・病気になった時に、一時的に預かってもらえるサービスがあると助かります。
- ・病児保育の枠が増えてほしい。
- ・急な病気の時
- ・あとは病児保育の充実など、まだまだ大野は働きたい母に厳しい。
- ・短時間預かってくれる場、人材の提供とその広報
- ・夜間の病児預かり、せめて21時まで。有料でもいいので、あると大変ありがたい。
- ・体調をくずした時に、見てもらえる病院が増えると良い。(仕事時)
- ・親がどうしても子どもの面倒を見れない時に、安心して預けられる施設があるとありがたいです。(土・日等で預けられない時に)
- ・土日の支援センター解放(隔週など)、土曜日保育のときの給食がある。(午前中だけでなく、夕方まで見てもらえる、という選択肢)
- ・仕事と両立しているので、平日の送り迎えを行なってくれるとすごく助かる。
- ・病気の時に祖父母のサポートを大きく感じるなので、奥越に小児科の病気時に子どもを預け

る場所があると助かります。

- ・休日等も支援センターが開かれていると助かります。
- ・子どもを何時間(1～2時間)預かってくれるサービス
- ・一時的にあずけられる場

## 2. 保護者へのサポート

### (1) 相談支援(地域等のかかわり、情報提供等含む)

- ・同学年の子を持つ親が集まれるような会があるといい。
- ・子育てをやる中で悩みや迷うことがたくさんあるので気軽に相談にのって頂けると助かります。
- ・話をきいてもらう。(悩み相談)
- ・支援センターは特定メンバーが多すぎて入っていけない若いお母さんが多いのでは？なので、そういった方が相談しやすい参加しやすい環境でのサポート
- ・もっと気軽に相談したり、サポートして下さる方が家に来てもらえたりすると助かる。
- ・子育てに関するお話し(ライフプランナーさんなどの話を聞くことができる)が相談できる。同じ校区の子たちと遊べるサポートがあると良い。
- ・他県で実施されているようなファミリーサポートセンター(会員相互協力)を充実させてほしい。休日に子育ての相談ができるような場所がほしい。
- ・安心する言葉をもらえればそれでいい。
- ・救急や病気の時は、24時間365日のサポート体制があるが、それ以外でどうしたらいいかわからなくなったとき、話を聞いてくれるところがあったらいいなと思ったことがある。
- ・してほしいことをしてくれない時のアドバイスがほしい。(ごはんを食べない時や、おかしばかりほしがるとき)
- ・ごはんを食べない時や、おかしばかりほしがるときアドバイス
- ・なんで？どうして？と専門的な疑問に答えられないので、教えてもらえたらと思います
- ・経験したことなど教えてもらえると助かる。
- ・稼いできたので、まわりに友人と言えぬ仲の良い友達がいないので、ママ友など気軽に作れる環境が地域にもっとあると良いと思う。
- ・身近な人(同居人)には、私が手が離せない時だけでなく、常に子の面倒や家事を分担してもらいたい。子育てや家事は母が主担当という意識が根強いので、学校教育の中で子どもから意識改革してほしい。子育ての常識が昔と違うので、祖父母に対してそのギャップを覚えてもらえる講座があるとよい。そして、その講座を受けるのが当たり前のような仕組みづくりをしてほしい。
- ・悩みなど気軽に相談できる。
- ・定期的な懇談会

- ・自宅にずっといる方と、子ども達の交流があれば、気付けることもある。
- ・近所の人たちとも交流を持って、みんなが気にとめる。(遊びに行っても、誰かが教えてくれたり、声をかけてくれたりするとうれしい。自分は商店街にすんでいたの、地域の人みんなが、どこへ行くの?とか声をかけてくれたり、とにかくすぐに声をかけてくれたので、今のすんでいるところでも、そのようになるといい。今もそのようになっているが、家が密集していないので、情報が届きにくそう。)
- ・産後すぐに保健師さんが訪問に来てくれたのは、とても頼りになりありがたかったです。地域振興券の配布も助かりました。ハードとソフトの両面のサポートが継続してあると良いです
- ・子どもの年齢に合わせた、教育していく上で、親が心掛ける事、気をつけることをしるした、しおりみたいなものがあるとよい。
- ・保育園に通い、先生方にお世話になっているだけで十分有難いです。1才半健診、3才児健診で相談できるのも安心します。
- ・近所の方の声かけ
- ・子育てに関するアドバイス
- ・子育てに関するアドバイスや情報
- ・保健センターなどの行事の予定など、あまりくわしい情報が伝わってこない、もっと情報が入ってくるといいと思う。
- ・同じ年齢の子との交流。情報交換の集まる機会(参加費などでちょっとしたおかしパーティーみたいな)
- ・親世代、祖父母世代にあたり前とされていたこと、今の常識が違うということを伝えてくれる人、場所、機会があるといいと思う。(大人が口を付けた食べ物等を与えて、虫歯菌が口に入ってしまうこと等・・・)
- ・1年おきに検診などの機会があれば、何かあった時に相談しやすい。
- ・ママ友が作れる環境があると良い。公民館を開放するなど。
- ・”今”の子育ての仕方を理解してくれる人が増えてほしい。
- ・月齢よっての気を付けた方がいい事や指導など。特に今、離乳食の時期なのでそのサポート
- ・気軽にいつも電話対応できるような窓口があればいい。(現在あるかもしれないが、知らない)
- ・家事の分担。子どもの発達、病気、育児方法、生活習慣に関する「相談やアドバイス」。子どもの対人関係でも問題や発達に関する「対応、報告、指導」
- ・良かれと思って声をかけないでほしい、逆効果の場合もある。少しほっといてほしい
- ・親族からのサポート
- ・必要に応じて相談にのってもらえるといい。
- ・教育相談

## (2) 経済的支援

- ・保育料をもう少し安くしてほしい。子ども用の食品やパンパースやミルクなどのクーポンがあるといい。延長保育代がかからないようにしてほしい。
- ・医療費の完全無料化(勝山市のように窓口での負担が0)になってほしい。勝山、永平寺ですでになされていることが、なぜ、大野では？今までは後から口座に入ってきたため、負担額は0だったかもしれないが、後で入るなら窓口で0にしてほしい。今年度からは小学生以上は500円負担となり、負担が大きくなった。
- ・金銭的なもの、仕事の時に見てもらえる、情報
- ・お金
- ・お金と息抜き
- ・金銭面でも早く全ての教育費無料になってほしい。
- ・ゆめみらい券の継続をお願いします。
- ・行政からの経済的支援

## 3. 子育て環境

- ・近所など、子どもが集まって過ごせる場があれば、少しでも時間が出来る。
- ・気軽に集まれる、入りやすい公園、施設、若しくはその情報(かみなりオヤジ的な存在)地域の方とのふれあい
- ・緊急時だけでなく、親のリフレッシュの為に預かってほしい。仕事で子どもの行事や病気の時に休みやすい環境。(子育て休暇)祖父母にも使えるといい。
- ・子どもが遊べる場所(室内)などがあるといいです。
- ・休日、室内で遊べる場所がほしい。石川県は子育てしやすいように、施設が整っている所が多いです。参考にしてはどうか？小松市の「華ブッキーランド」加賀市の「かがにこにこパーク」など、市が運営している施設があります。料金設定も考えられていて、利用しやすいようになっています。大野市子育て支援センターは、月～金の 9:00～16:00、働いている親にとってはまったく利用できません。
- ・緊急時に安心して子どもを見てもらえる場所(児童センターは小6まで見てもらえるというのに、ある程度の年齢になるとイヤな顔されるので)
- ・室内の子どもが遊べる場所がほしい。
- ・自分がつかれた時に、子ども達があそべる場所があるとありがたい。
- ・急な保育が必要になった時に、預けられる施設があると良いと思う。
- ・子ども達があそべる公共の施設があると良いと思う。
- ・自営業のため、休日中は母親一人で子どもの面倒を見ることが多い。日・祝日にも遊べる屋内施設をもう少し充実させてほしい。(天気が悪いと、公園には行けないため)

- ・土曜日に無料で預けることが出来る施設があるといい。
- ・土日など保育園に預けにくい時に、預けられる所があるとありがたい。
- ・仕事を子どもの急な病気等で休まなければならないような時に、子どもを気軽に預けられるところがあったらいいなと思います。今の病児受け入れ時間の制約が厳しくて利用しにくい時があります。
- ・身近に遊びに行ける施設
- ・実際、子どもの学習(家庭での)など、家族が関わることが多いが、仕事をしていると難しい面もある。第三者(施設)などあるといい。
- ・無料で遊べる遊び場、公園をもっと充実させてほしいです。
- ・気軽に利用できる室内の遊び場があればよいと思う。
- ・土日祝は主人が仕事で1人で子どもをみるので、支援センターなど子どもを遊ばせる場所があると嬉しい。
- ・少しの買い物などで、気軽に子どもを20~30分みってくれる所があると安心。そういう地域の場所があるといい。
- ・今は現状に満足しているが、保育園が休日の日に支援センターが休みだと、連れて行く場所がなくて困る。
- ・子どもがはいはいして遊べる場所。少々けがをしてもよいので。周りの親子さんにあまり気をつかわなくてよい環境がほしかった。
- ・買い物をする間など30分~1時間ほど子どもを見てもらえる施設があるといい。
- ・平日の送り迎えを行ってくれる制度

#### 4. その他

- ・現在で十分満足しています。
- ・集団登校の見守り
- ・勉強以外に本人が得意なことをのばせるサポート
- ・子育てのサポートも必要ですが、出産する環境を整えるほうがあると思います。
- ・年2回でもいいので、園に通っている子も保健センターに行ったりできると嬉しい。
- ・児童館がちかくにあるのですが、利用方法がわからず、いつも通りすぎています。
- ・喫煙者をできる限り排除してほしい。
- ・たまに息抜きできる場、時間がほしい。
- ・車の運転が出来ない(母親)しかし、運転が出来ないと行動が出来ない環境なので、もう少し大きくなって子どもの行動範囲に不安がある。自分が若い頃も行動範囲が少ない分、不自由があったから…。交通の便に関してサポートが必要。

**問33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

**【121人から複数回答】**

**1. 保育園**

(1) 入所関係（給食・一時預かり保育等含む）

- ・土曜日も給食がほしい。
- ・給食に関して、0～2歳児までは園でご飯（米）がでる完全食なのに、3歳からは持参しなければいけない点が不便。子どものかばんに入れてそのままなので、夏場の食中毒も不安ですし、毎日冷たいごはんを食べさせるのもかわいそうです。（食べが悪いので、ふりかけをかけると聞いたこともあります。）また、ごはんを家庭から持参するにも関わらず、その日のメニューがうどんやスパゲティのことも月に何度かあります。炭水化物に偏るので、ぜひ改善していただきたいです。汁ものなし、おかず2品のみのも多いので、食育という観点から、ぜひ一汁三菜を小さい時から実施してほしいです。
- ・おやつに関して、市販のおやつを与える機会がちょっと多いと思います。個装のあめも安全面からあげたことはありませんでしたが、いつのまにかこども園で食べていたようです。家でもあめやおかしを求めることが増え、困っています。普段のおやつとは別に、行事などで市販のおかしを与えることが多いように思います。理想を言えば、午後のおやつは簡単なものでいいので、手作りだとうれしいです。
- ・都会とは違って待機児童もあまりなく、とてもありがたいです。
- ・上の子の育児休業中は福井市に住んでいて、途中から大野市に引っ越してきたが、大野市の一時預かりは保育所等でしか行われていなかったためか、利用時のハードルが高かった。福井市では簡単な手続きで数日前に予約すれば、理由も聞かれず気軽に預けられたが、大野市では色々な書類の提出を求められた他、面談も入念で、一時預かりをしたいと連絡した時も、今は忙しい時期だから何か月も待たされた。保育園等ではない一時預かり専門の施設があるとよかった。
- ・現在は、末の子も希望の保育園に入所していますが、本当はもっと早く入所したかった。前年度に希望を伝えてほしかったと言われましたが、4月や5月に産まれるのに、産まれる前から入所希望は難しいと思う。（本当に無事産まれるかもわからないのに）入所前にも一時保育をお願いしたかったが、子どもが多く、保育士が足りないのが難しいと言われた。どうしても無理だからお願いしたいのに、対応してもらえなくて困りました。
- ・仕事の為、保育園で何でも教わってきます。同じ世代の子と過ごすので、日常も楽しくしています。とても有難い環境だと思っています。
- ・祝日が仕事なので、保育園を利用したい（他の施設でもいい）今年のGW10連休が保育園休みだと見る人がいないので困る。
- ・希望の保育園に入れるようにしてほしい。

- ・保育園で希望している所になかなか入れないときいた。兄弟姉妹が優先になるということもきいた。保育士が少ないからそのような状況になっているのか疑問だが、どこに聞いたらいいかわからない。大野にある保育園の説明会（特色など）を開いてくれたらうれしかった。（見学は別であり）
- ・一時預かりをお願いしたい時があったが、人がいっぱいできない時があった。2週間前からお願いしなければならず、急に預かってもらえないので、もう少し気軽に利用したい。

## （２）保育時間、保育施設、保育士関係

- ・子ども的人数に対し保育士が少ないように思います。ぜひ増やしていただきたいです。
- ・毎週土曜日に保育をしてほしい。
- ・夜間休日など気軽に預けられる施設が少ないように思うので、一番大変な時間帯でもあり、その辺充実してもらえると、育児の負担もかなり減ると思います。
- ・保育園に預ける時間等、細かいことが多く、女性がフルタイムで働きにくい環境にあると思う。現状では、祖父母等の助けがないとフルタイムで働くのは難しいと思う。（フルタイムで働いていても、子どもが小さいうちはパート、アルバイトにならざるを得ない。）
- ・土・日・祝の保育が不十分に感じます。公立だと土曜日は半日とかだと、1日仕事の場合に、結局は半日休まないといけないので、その点ではもう少し改正して欲しいです。
- ・早朝・延長保育ができる等、入園のしおりに書いてあるものの、他保護者があまりそれを利用していないこともあり、利用しづらい。入園後、体調を崩しやすく、ほとんど園に通えてないが、祖父母にみてもらったり、病児を利用せざるを得なかつたり、負担が大きい。（金銭面的にも）
- ・朝7時からの保育を普通に行って欲しい。（制度的には可能なはずだが、原則7：30～などと言われる。）
- ・夜勤のある職についていると、子どもを預ける所がないと勤務が難しく、収入も減るの夜間預ける所を作ってほしい。
- ・保育園、こども園の土曜延長保育時間を17時から18時までに延ばしてほしい。
- ・保育園に行っているが、先生方がとてもよく見てくださっており、感謝している。今、ニュース等で話題によくあがるが、保育士の給与を上げるべきである。
- ・保育園の先生方のサポートも必要と思います。数が増えたけど、質が。大事な子どもをあずけるので。
- ・園舎がきれいな所が多く、保育しやすい。新しいので、施設の安全性も問題なく、安心して預ける事ができる。
- ・土曜日でも保育園に預けやすいとありがたい。
- ・土曜日、日曜日、夏休みも、安心して子どもを預けられるような環境が欲しいです。
- ・土・日曜日に利用できる子どもを遊ばせる施設が少なくて困る。土・日曜日でも支援セン

ターのようにただで遊ばせる施設がほしい。

- ・希望保育日として、月2回程土曜日だけ保育を申し込めば預かってもらえますが、毎週あったらとてもありがたい。希望日と保育園が受け入れてくれる日がずれていれば結局たのめない。希望保育日でも、できればお弁当ではなく給食を出してほしい。その日だけお弁当を持たせるのはとても負担。
- ・標準保育で18時まで預けられるはずなのに、多くの家庭が16:30~17:00頃お迎えに来られるので、仕事でも遅くまで預けにくい雰囲気がある。結局、祖父母に協力してもらわなければならない。保育園でこれなのだから、小学校へ行くと・・・と思うと今から気が重い。大野市は働きにくい市だと思う。
- ・育児休業の方が、子どもを保育施設に預けるが、仕事をしているときと変わらずお迎えが毎日遅い。子どもの気持ちを少しは考えてほしい。子どもの人数は減っている中で、保育士の人数が減ってきている。仕事の割に給料が上がっていない。
- ・大野市は、祖父母が協力してくれる前提の話が多すぎる。もしも保育園などが快く土日みてくれるなら、喜んでフルタイムで仕事する。サービス業の場合、土日働こうと思うと、パートタイムしかない。少数派だと思うので、土日預けられる子ども達が少ないだろうと思うと、子どもがかわいそうとも思うし、早く土日預けるのが当たり前になって欲しい。
- ・大野の保育園は次々とこども園になっています。民間保育園も立て直してキレイにしてほしいです。
- ・他の市に比べて未就学児対象のイベントが少ない。
- ・子どもを預けて早く働きたいが、市内の保育園の様子を見ていると（園開放などで）ここに預けて働くのは不安だなと思うことがある。（先生への子どもへの接し方など）保育の質を上げてほしい。
- ・保育園の事ですが、土曜日、祝日の預かる時間等を考えてほしい。祝日は祖父母などをお願いして何とかなる時もあるが、土曜日は全員仕事だと必然的に預かりになるが、預かる子が少ない為、1人になったりするのはかわいそうである。
- ・年末は29日まで保育してもらえるとありがたい。大抵の会社は29日までなので、年末の忙しい時期に休みの希望を出すのは非常に大変。職場の理解が難しい。

### (3) 保育料関係

- ・もっと子どもを育てやすい環境（保育料の見直し、産休、育休）になってほしい。
- ・共働き（フルタイム）だと、保育料が高い。なんのために働いているのかと思うこともある。パートタイムで働いてる人は、同じ時間子どもを預けて保育料も安い。当然、子どもは同様にみてもらっているのに。収入の差と理解していても、なんだか差がありすぎると感じてしまう。
- ・保育料が割高（都会ではないので、もう少し安くしてもいいのではないか）

## 2 放課後子ども対策

- ・ 保育園の定員数が少なかったり、児童館がない。特にフルタイムをしていると、小学生になると帰る時間が合わなくなり、家で一人でいさせるのが心配。富田地区にも児童館など、学校帰りに18時くらいまで安心していられるような場所を作ってほしい。親がフルタイムで働いていても大丈夫なように支援してほしい。
- ・ 校区が町中ではないので、就学後、子どもを安心して預けることができるか今から不安です。仕事時間も長いので、希望の時間までみてもらえるのか、金銭面の不安もあります。
- ・ 下庄地区から児童館までかなり遠い為、とても不安です。週1で子どもだけで学校から児童館に行くので、大きい通りや踏切を通るので不安。
- ・ 市外に就職しているため、学童や放課後子ども教室が充実して利用できると嬉しい。祖父母が近くに住んでいるが、まだ働いているため就学後の長期休暇（夏休みなど）に学童に入れるようにしてほしい。（噂で近くに祖父母が居る人は入りにくいと聞いたので）
- ・ 児童館の職員の待遇が悪い。もう少し丁寧にするべき。申込み締切りの期限が分かりにくい。
- ・ 今は保育園で安心していますが、小学校になって、放課後、仕事が終わって帰ってくるまで子どもが心配。放課後児童クラブを充実してほしい。勝山は無料と聞いています。
- ・ 児童クラブについては、以前、長女の時に不信感を抱く事案があったので、子どもを守ってくれない所（子どもが先生に泣いて訴えていても）預ける気はない。学校や役所に相談した際、児童クラブの先生にも話を聞いて頂いたが、「知らない」シラを切られてもいるので（事件当時にその児童クラブに居た先生もいるのに）、信用はできません。
- ・ これからの子どもの教育環境がとても不安です。小山に関しては、放課後子ども教室は大変ありがたいですが、給食のない夏休みなどは預ける事が出来ない事で、今後どうしたらいいのか。学校の先生が少なくて、子ども達が満足できる教育ができるのか、小山がなくなってほしいのではなく、対策がないのかと思います。
- ・ 小学校入学となると、住んでいる地域には児童館がないため、夏休みなどの長期のお休みになった時、どんな影響が仕事にあるか、どのような生活リズムになるのか不安です。児童館のない地域は、身内に頼める人がいない場合、不安に思う事が色々あります。
- ・ 勝山市のように、児童クラブを（放課後）を学校内にしてほしい。小1に児童クラブに行かせていたが、その時の担任が児童クラブに子どもを出さずに、子どもを自宅に帰してしまい、児童クラブの先生から「子どもが来ていない」と電話があり、担任からはなんの連絡もなく、自宅に帰した子どもに連絡なく、フォローも謝罪も一切なかった。人間性を疑った。

### 3 相談体制

- ・実家が遠く、同居しているのが祖父だけのため、一人で育児家事をこなさなければいけないので、大変ですが市役所の方など、相談にのってくれたり話を聞いてもらえるので助かってます。
- ・子育て支援センターを土日祝も開放してほしい。
- ・支援センターや保健師さん等のサポートとても助かっています。
- ・上の子が小さかった頃は支援センターによく足を運び、とても助けられたのを覚えています。下の子は保育園に入りましたが、2人とも園で学んでくことも多く、家でずっと見ているより、たくさんのことを覚えてきて、成長を感じられます。行事など（子育て広場や季節の行事、劇やコンサート）も多く、子どもにより刺激になっているようです。図書館のよみきかせなどもすすんで参加しています。今でも十分ですが、もっと親子で楽しめる行事や食事やお茶ができたり、あそんだりできる場所が増えてほしいと思います。
- ・子育て支援センターのようなところをもっと欲しい。休日でも利用できるところを増やしてほしい。
- ・入園する前、支援センターや育児相談にも足を運んだ。気軽に相談できる場所があるのはとても良いと思った。
- ・市役所が、もっと母子手帳とりにいった時などに、くわしく説明してくれないと、制度や良いこと、大変なことなどわからない。役所はつめたい。なにもわからない人に対しての説明がへた。何も伝わらない。
- ・長所：子育て支援センターの利用のしやすさ、一時預かりの利用のしやすさ
- ・支援センターやちくたつくはよく利用するが、子どもも親も満足です。
- ・福井市や坂井市の支援センターでは、1歳未満でも楽しめるリトミックや食育講座があったりするので、大野市の支援センターでももう少しイベントが充実しているといいと思います。
- ・以前、支援センターを利用したが（市役所内の）、何の説明もなく「この部屋で好きにどうぞ」と言われるだけで、話することもなく、こちらから話しかけにくい感じで、この施設の方達は何をしているんだろうと思いました。子育ての事でいろいろ聞こうと思ってたけど、聞く気にもならず、別の保育園でおこなわれているなかよし広場で聞きました。
- ・いつも、ちくたつくを利用しています。子どもも先生に慣れていて、いつも楽しそうにしています。今、子育て中の子を、すみずみにお願いしたことはないのですが、いざという時にちくたつくに預けれるので安心です。（上の子の時預けたことがあります）子供たちにとって、楽しい場所をありがとうございます。

#### 4 病児保育

- ・病児デイケアの受入時間を早めてほしい。
- ・病児デイケアありがたいのですが、定員が少なく、病気が流行している時期にことわられる事もあり……。定員が増えるとありがたいです。
- ・病児保育の利用を考えたが、8：30～からとのことで、結局祖母にみてもらうことになった。8：00～など業務に間に合うように登園禁止の子たちがあずけられるところがあると良いと思う。一方で、普段は仕事に間に合うように保育園に預けられるので、先生方の負担はとても大きいと思いますが、とてもありがたいです。
- ・病児保育が病院定休日は都合悪い。
- ・フルタイムで働くためには、子どもが病気になった時、困る親御さんは多いと思います。病児保育をしてくれる病院が増える事で、定員に関係なく安心してあずける所が多くなると思います。保育園の子どもに限らず、小1～3までは、どうしても心配になるので、このような年齢にも対応してくれる場所が増えてほしい。
- ・急な病気で保育園に行けない時、祖父母が見てくれればいいのですが、用事や連絡がつかなかった場合、簡単に行ける病児保育があればありがたい。
- ・病児保育は大野市にはなく、勝山市に行かないといけないと認識しているが、大野にもあると助かる人が多いのではないかと思います。

#### 5 職員の対応

- ・2人目を妊娠中から、育児短時間勤務を利用していたが、仕事復帰後1年目で、県で補助金が出る事を知りました（時短利用者に）保育園からのおたよりで知り、窓口となる市役所に問い合わせたが、申請期限があり、終了しているとの事で、補助金は出ず、3人目で申請して下さいと言われたが、3人目の予定はなく、大変失礼だと思いました、また、情報が浸透していない為、模索中との事でした。3年ほど前から実施みたいですが、病院などにもチラシが置いてあるといわれたが。2人目は定期的に病院へ通っていたが、国立付属病院でも小さな小児科や割と大きな小児病院へも通っていたが、案内を目にしたことはなく、大変不公平感を味わいました。役所関係の限られた中での情報では、対象者に伝わりません。
- ・支援センターに、先生はなぜ3人いるのですか。最近ぜんぜん事務室から出てきませんね。（事務の仕事の時間に利用していたらごめんなさい。）
- ・ちくたつくは、子どもと遊んでいるのを見られているだけなので、この人達は何のためにいるのかなと時々思います。（支援のない土日、すごくありがたいです。）

#### 6 職場環境

- ・やはり大野では働いててあたり前。しかし、仕事場は休むと冷たい態度、どうしても退職しなくてはならないような状態になります。お金をくれれば良いといくわけではありません。他の市に移るのも分かる気がします。もっと育児をしている人に優しい社会であってほしいです。
- ・2才になるまで育休がとりやすい環境を作ってほしい。

## 7 祖父母世代との関係

- ・祖父の言葉遣いが汚い。(祖父母は子どもや孫のお手本になるはず?)年寄りはずぐ「昔は、こうだった」と言う。やっている事が(地域行事が)田舎くさい。時代遅れ。

## 8 地域等とのかかわり

- ・近所の方がよく声をかけてくださり、地域と共に育っている。見守られていると実感している。とても感謝している。
- ・地域に支援センターのミニ版があれば、保育園に入る前からもっと地域で交流できるし、気軽に行きやすいと思う。
- ・嫁に来たので友達がいないので、ママ友を作れる場所がもっと近くにあると良いと思う。もっと地域密着型の。

## 9 情報提供

- ・子育て支援やサービス、イベントなどが1ヶ所で情報が得られるHPがあると有り難い。
- ・色々な人にもっとわかりやすく利用しやすい環境を作って頂けるとありがたいです。知っている人だけが利用していて知らずに困っている方もいらっしゃると思います。
- ・子育てに関する支援事業や施設について、どこから情報が得られるのかよく分からなかった。
- ・保育園や幼稚園入所の際に、市からの情報が少ない。こちらが聞きに行ってもやっと情報を得ることができる。対象の保護者向けに入園手続きの説明会などをしてはどうか。

## 10 子育て環境

### (1) 遊び場の充実

- ・屋内で遊べる施設がほしい(走りまわれる場所、無料で利用できる)わざわざ福井市へでかけなければいけない。
- ・近所に気軽に遊べる公園がない。あっても遊具が1つだったり、走り回れる環境ではな

い。雨の日に子どもが思い切り体を動かして遊べる場所が少ない。(もしくはそういう情報がない)

- ・安全な室内の遊び場がほしい。
- ・大野市は子どもが気軽に遊べる公園が少ない。徒歩圏内で行ける場所も、ブランコしかなく草が伸びていたり遊ばせにくい。公園へ車で行かないと十分に遊べないのは、子育てがしにくいと思う。また休日に雨の場合、遊べるところがない。(もしくは情報がない)
- ・子どもが走り回れるような室内遊具場があると嬉しい。
- ・雨や雪が降った時に、子どもが体を使っておもいきり遊べる所がありません。夏も気温が高すぎると、外で遊ぶのも危険です。共働きをしていると、平日しかやっていない所は利用できません。土日祝日に利用できる「体を動かしておもいきり遊べる場所(室内)」は、その親も望んでいる事です。VIOに有料の施設ができ、福井市内まで行って遊ばせていた親は、どんなに有り難い事だったのでしょうか。空いている施設を利用して、子どもが遊べる場所の設置を希望します。
- ・雨天でも遊べるような施設(公園)等を増やして欲しい
- ・ふれあい公園などの大きい公園があってもいいが、広い屋内施設を作ってほしいと思う。
- ・子どもを安心して遊ばせることができる場所がもっと欲しい。
- ・子どもが少なくなってきたので、子ども同士で安全に遊べる場が保育園以外にも(小さいうちから遊べる場が)地域にあると良いと思う。また、親同士もそこに集まり、親しくなれる場にもなると良いと思う。
- ・子どもが雨の日遊べる場所が、土日は少ないので増やしてほしい。
- ・上庄地区に公園を作ってほしい。雨の日も晴れの日も、そこに行けばだれかしら地区の友達と一緒に遊べるような子どもや老人も一緒に集まれるような施設が欲しいです。
- ・子どもが安心して遊べる全天候型の施設を新規に建設してほしい。道の駅を作る予算があるなら、施設を増やすとよいと思う。
- ・室内で遊べる施設を増やしてほしい。六呂師の広場がさびれてしまってもったいない。せつかく動物もいるので、公園など充実させてもっと楽しめるようにしてほしい。
- ・もっと子どもがあそべる公共の施設が欲しいです。(木やおもちゃの施設など)
- ・短所：雨や雪が降ると出かける場所が市内にない。エンゼルランドやエルパ、だるま公園等、人気のある施設へ行こうとすると、片道1時間かかる。
- ・晴れた日は公園等で遊べますが、雨、雪の日でも遊べる屋内の施設があるといいなと思います。天気が悪い日が続くとおもいきり体を動かせない。
- ・土曜日や日曜日でも利用できるあそび場を増やしてほしい(無料)
- ・廃校になった学校の体育館や施設を子どもの遊び広場にはできないか。
- ・室内でも遊べる場を作って下さい。雨や雪の時などに大野でも遊べる場所が欲しいです。
- ・子どもを遊ばせることのできる施設が少ない。(とくに悪天候のとき)休日は、市内で遊ばせる場所がなく、市外へでなくてはならない。

- ・公園はあるが、遊具が汚かったり、草がおいしげったりと、きれいではない。
- ・支援センターのおもちゃが少ない。ままごとの種類も少ない。舞鶴市の「あそびあむ」のように、小学生も未就園児も一緒にあそべるような場がほしい。子育て支援をもっと充実させてほしい。(園開放だけでなく、支援センターの内容を充実させてほしい。)
- ・子どもがあそべる所(特に室内)が増えてほしい。
- ・室内施設(遊戯施設)を充実させてほしい。雨、雪の時に、遊びにつれて行くところがない為。
- ・子ども達を遊ばせる場所が少なすぎる。子育て支援センターは平日のみだし、V I Oにできたキッズランドは13時からしかやっていない。特にこれから、雨や雪などで外で遊ぶ機会も減るので不都合。池田や福井駅前にあるような木育の施設、エンゼルランドのような安心して室内で子どもを遊ばせられる場所が欲しい。
- ・公園の遊具がどこもさみしい。1つの遊具のためにあっちこっちいくのはしんどい。
- ・休日や天候が悪い時に遊べる場所が欲しいです。エンゼルランドの様な場所があれば、他市町村からも人がきたり、就労も増えたりいいのかなと思います。
- ・大野は雪国だし、建物内で遊びができる施設がほしい。例えばエンゼルランドのように①幅広い年齢層に対応したもの②土日曜日もOPENしてほしい。③体を十分に動かせる広さを持つもの。

## (2) 保健関係

- ・義務教育の間は医療費は「無料」にしてほしい。また、インフルエンザのワクチンにも助成がほしい。となりの勝山市では2,000円の補助があり、負担額が少ないため受ける子どもが多い。
- ・市外の小学校の就学前検診では、来年度の入学式の日が伝えられたようだが、大野市はなかった。(父親が行ったため、聞きのがしたのかもしれないが)仕事の関係上、少しでも早く分かっているような予定を出してくれると嬉しい。
- ・インフルエンザの予防接種の補助をしてほしい。
- ・平日仕事なので、日曜日に健診をしてもらえると助かる。

### 1 1 育児休業等の制度関係

- ・保育園に入れない場合のみ育休手当が2歳まで給付されるが、親が選べるようになればもっと良い。企業によっては3年取れる所もあるが、まだ少なく、親が延長を希望しても待機児童にならない限り、1年で復帰となることが多い、早く復帰したい人、子どもと一緒にいたい人など、人それぞれなので、自由に選べたら良いと思う。無条件で2歳まで育休手当が給付されれば、選択肢が増えるので早くそうなってほしい。
- ・パートでも有期雇用でも、育休・産休を必ずとることができる制度になってほしい。

## 12 小学校関係（再編関係含む）

- ・ 小学校が少人数なのに、大きいところとくっつけないのは中学校になってから子どもがかわいそう。ルールでは近くの小学校へ行かないといけないと決まっているかもしれないが、保護者の思いも考えてほしい。中学校からいきなり多くなるより小学校から多い人数の方が子どもの負担（心の）も少ない。
- ・ 学校再編についての情報が、該当する子どもの保護者に確実に伝わるようにしてほしい。市長が変わってから、現状がどうなっているのか全く分からず不安になる。子育て環境の将来ビジョンが想像できないのは不安が大きい。
- ・ 小中学校の再編については、慎重に進めてほしいです。効率や財政のことを優先にするのではなく、学校現場の声を大切にしてほしいです。
- ・ 小中の再編があるなら、早く提示してほしい。
- ・ 小学校は歩いていさせられる地域にあってほしい。地域の人との関係も希薄になるし、友達関係も大変だと思う。
- ・ 小学校合併も、1校なんて絶対むりが出る。考えるべきだ。
- ・ 学校が統廃合するのは困る。小さいのに、バスで遠くへ通うのは負担が大きい。小規模でも地域とのきずなを大切に、地域で育ててほしい。中学校が1校では、井の中の蛙で、トップになっても県下でみると力がついていないのではと思う。部活のようなものを、社会人の力をかりて、放課後、どこかに集まって、やりたいことをやればよいと思う。その方が専門的。子どもたちに広い選択肢で、いろいろやらせてあげれる。
- ・ 教育について、第一子が平成32年度から小学校に通いますが、乾側小学校に通わずことに大きな不安があります。理由は、下庄小学校や有終東小学校等に比べて、集団行動の経験やいろんな友達と関わる機会が少なくなると感じているからです。現在は、乾側小学校は全校児童数が18人です。これから先はさらに減少が進み、1学年あたりの人数は2人や3人もしくは1人になる可能性が非常に高いと思います。また、現在の大野市の学校区の制度では、居住している住所が判断基準になるため、乾側地区に住みながら、乾側小学校以外の学校に通わずことはできません。現に、乾側地区に住んでいた方が、よりよい学校に通わずために引越しをしようと考えています。ただ、これでは、せっかく乾側地区に住んで子どもを育てようと思った方が、どんどん街の方に移り住んでしまい、乾側地区から離れていくことになっていくと思います。学校の統廃合が進むとよいですが、それよりもまず、乾側小学校のような、人数がかなり少なくなっている地区は、学校区に縛られずに、転居することなく乾側地区に住みながら希望する学校に通わずことができる制度を作っていただきたいです。どうかよろしくお願いします。
- ・ 小学校を2校にするというのは、リスクが高すぎる。子どもと親の負担をなにも考えていない。道や学校が行事などで混雑して混乱するのは目に見える。阪谷、小山、乾側は

少なすぎてかわいそう。中学校になったら、絶対戸惑うし、子どもも親も負担が大きすぎる。少しは市民の声を聞いてほしい。そうしないと人口はいなくなる。

- ・まだ0歳ですが、小学校、中学生になったら、学校の数が減ってってしまうのか心配。中学校が1校になるという話はどうなったのか、わからない。
- ・小学校、中学校を1つに統合しないでください。子どもがかわいそうです。
- ・学校再編、反対
- ・小学校入学時にお金がほしい。早く入学準備をしたいので、説明会をもっと早くしてほしい。教科書を学校においておけるようにしてほしい。就学前健診、歯科の先生の声かけがきつい。相手は子どもなので、やさしくしてほしい。就学前健診で、座っていたごさがボロボロでズボンにつくので新しくしてほしい。

### 13 市の助成などその他の支援

- ・他の市より遅れている気がする。子どもを何人も産める支援が少ない。(近隣の市に劣っている) 支援してくれても料金を取られたり、子どもにかかる費用の助成も少なく、ここで暮らしながら何人も産みたいかと言われると難しい。金銭的な面で子どもに対する費用がほかの市より大きい。これでは大野に住んで子育てしようと思う人が減ると思う。他の市に勝るところはどこかわからない。いいところだけ。
- ・3歳まで年間10万円の商品券が支給されるのはありがたいです。
- ・保育環境には満足しているが、今後、経済的な面が心配です。
- ・子育て世帯応援の結の故郷すこやかゆめみらい応援券をもう少し枚数を増やしてほしい。3年のうちに2人目が生まれると重なり、1人分しかもらえないので困っている。
- ・ゆめみらい応援券、とても助かっています。
- ・すこやかゆめみらい応援券の交付はすごく助かります。あつという間になくなりますが、できれば有効期限を伸ばしたり、交付年数を5年ぐらいにしてくれると、本当に助かります。有効期限が生まれた月によって左右されると、本当に必要？と思うものに使うしかなかったり、ということがあったので。窓口の方も親切に教えてくれるといいですが、(来月申請すると有効期限が〇月末までになりますよ)とか。私の場合、窓口対応が知人だったので教えてもらって、次月申請して助かったこともあり、みなさん同じ対応だといいますが。
- ・本当は母親として子育てにどっぷり集中したいが、家計的にも難しい。母親が仕事にかたむかなくても良くなるような金銭的な支援がほしいです。
- ・子どもとの時間をたくさん作りたいけど、働かないと経済的に厳しいので、少しでも支援があると時間もとれると思います。
- ・子育てをきっかけに地元に戻ってきたが、子育て世代に対して手当等を行政で検討してほしい。

- ・結婚や出産後3年間、10万円の券が給付されるが、3年間は少し短いかと思う。出産の場合は、5年間にするなど、子育てしやすい環境がほしい。もしくは、3年間給付後は、小学校入学までの間、毎年3万給付など。おむつやおしりふきで思ったより出費が多くなるため、現金でも券でも支給されるとありがたいです。
- ・3人以上の家庭に、市からも援助があると非常にありがたい。(すこやかゆめみらい応援券、非常にありがたいです。これからもお願いします。)古着のマッチングもっと活発になるといいですね。
- ・入学時は色々物入りなので手当てがほしい。子ども手当が3歳〜減るのにオムツがとれてないと、めちゃくちゃいたい。だんだんオムツ代はかさむのに。
- ・子育て支援の券(10万円分)いただいているのですが、そういう一部の人に多額払うのではなく、給食費を無料もしくは値下げにした方が、みんなに還元されていいと思います。

#### 14 その他

- ・他市に比べ遅れていると思う、また質の充実を望む。
- ・小学校に歩いて集団登校させたいが、人数が少なく不安なためなかなかできない。車で送っている現状。なんとか歩いてもらいたい。
- ・地域により大型トラックなど車通りの多いところもあるので、交通マナーをよくし、取り締まりを強化し、安心安全なまちづくりをすすめてほしいです。交通マナーが悪い人が多すぎる。送り迎えの時など、毎日のように危険を感じています。
- ・豊かな自然に恵まれていて、保育環境はいいと思います。少子化で同級生がいないので、休日等遊ぶ友達がいません。もっと子どもが増えて欲しいです。市街地ばかりに集中させるのではなく、村の方にも残すべきだと思います。
- ・家の前の道が狭いにもかかわらず、ものすごいスピードで車が通るので(ほとんどの車が)、ほんとに危なくなんとかしてほしい。
- ・二人乗りのお買い物カートがほしい。
- ・人口減少問題には観光事業を進めるより、“子育てしやすい市”にした方がいいかと。このままでは大野市がなくなりますよね。
- ・大野市は共働き核家族にとっても冷たい所だと思います。
- ・子育てしやすい環境であると思います。しかし、良い病院と思えるところが少なく、病気やケガなどした時に病院が遠く非常に不便であると思います。地域に昔から住んでいる方は、どこがいい病院とかわかるかもしれませんが、外から来た人は正直わからないと思います。総合病院などあってほしいです。
- ・休日急患センターが21時には終わってしまうために、福井の病院までハシゴ受診をしました。小さい子供を子育て中なのですが、その時に地域医療の不便さをとても感じま

した。小児科の充実を切に求めます。

- ・いまのところ何も不満もなく育児、仕事等サポートしてもらってます。
- ・子どもの事に関する事（学校や習い事）は、基本、自宅から近い方がよい。選択肢が1つでもある。遠い所に通わす事は、送迎の面で時間や労力的に難しく、遠慮してしまう。
- ・とても満足しています。
- ・習い事を習わせたいと思いますが、親が見ていないといけなかったり（サッカーやバスケットなど運動系）、時間帯が17～19時までと仕事をしている者には習わせづらいので、習わせやすいものが増えたらいいなと思います。
- ・今の制度は、核家族も同居も同じです。でも、本当に、どこにも預ける事も出来ず、病気の時は仕事に行けず、子どもを見ないといけないので、パートしかできず・・・子育て環境は、全く違います。夫婦二人だけの収入で生活している家庭も、親と協力してやっている家庭も全て同じ・・・こんな小さな大野でも、行政の方が気付いてない格差がすごくありそうですが・・・少数意見だとは思いますが、そんな格差があることは知っていてほしいと思います。お金の悩み、心の悩み、全て一人でしょっている人、いますよ。
- ・昔に比べるとすごく少子化で、近所に遊ぶ友達がいないので、低学年のうちは児童館を利用したいが、下庄は児童館までが遠い。便利で子育てしやすい大野市になって、少子化をストップしてほしい。
- ・本アンケートについて、質問が多すぎるのと分かりづらいものがあります。また、インターネット利用による回答方式を用意しても良いのでは？
- ・短所：病院（皮膚科、歯医者）など、行こうと思うと半日かかり、これから子どもが大きくなるにつれて、習い事などの選択肢が少ない。
- ・幼稚園またはこども園を利用すると同じ小山地区の子が少ない。小学校に入学した時に友達が出るか不安。
- ・スクールバスがあるとよい。
- ・病児保育と放課後子ども教室について一番興味があります。
- ・子どもの習い事や体験講座等の場所、種類、機会が増えて欲しい。行きやすい雰囲気も求めたい。
- ・人数が少ないので、今後どうするのか、どうなっていくのか不安です。
- ・保育園、小学校が近くの方が安心して預けられ、登下校、登園などしやすい。
- ・子育て環境は、教育保育施設ばかりでなく、医療機関も含めて考えてほしい。病院数が少ない。小児科を夜間みてもらえる医療機関が遠方すぎる。
- ・小児専門の病院が少なく限られてくるため医師が増えるとうれしい。
- ・関係ないが、産婦人科病院がないのが不便。
- ・子どもの下着などの必要なものを購入できる施設が少ない。
- ・ベビーカーで歩きにくい歩道が多い。

- ・夜、日曜のみでなく、小児科医が診てくれるところを作ってほしい。
- ・公民館などの体育館が、土日曜日は予約で一杯のようなので、休日、急に思い立っても体育館で体を動かせるように、体育館を増やしてほしい。

## 第4章 調査票

## 全国共通アンケート

### 《お住まいの地域についてうかがいます》

問1 お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |        |        |        |       |        |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| 1. 有終西 | 2. 有終南 | 3. 有終東 | 4. 下庄 | 5. 乾側  |
| 6. 小山  | 7. 上庄  | 8. 富田  | 9. 阪谷 | 10. 和泉 |

### 《封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます》

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成	年	月	生まれ
----	---	---	-----

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。  
2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数	人	末子の生年月	平成	年	月	生まれ
--------	---	--------	----	---	---	-----

問4 宛名のお子さんの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況について、当てはまるものすべてに○をつけてください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 父同居  | 2. 母同居  | 3. 祖父同居 | 4. 祖母同居 |
| 5. 祖父近居 | 6. 祖母近居 | 7. その他（ | ）       |

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |         |   |
|-------|-------|---------|---|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ | ） |
|-------|-------|---------|---|

問6 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |       |       |        |         |   |
|----------|-------|-------|--------|---------|---|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. その他（ | ） |
|----------|-------|-------|--------|---------|---|

### 《子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます》

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |       |       |        |        |           |         |   |
|-------|-------|--------|--------|-----------|---------|---|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 | 6. その他（ | ） |
|-------|-------|--------|--------|-----------|---------|---|

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭    2. 地域    3. 幼稚園    4. 保育所    5. 認定こども園    6. その他（    ）

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } ⇒問10-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |           |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } ⇒問10-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない ⇒問11へ                    |           |

問10-1 問10で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（    ）

問10-2 問10で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（    ）

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問11-1へ                      2. いない／ない ⇒ 問12へ

問11-1 問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2) - 1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問15へ
6. これまで就労したことがない	

(2) - 1 (1)で「1. ~ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり _____ 日	1日当たり _____ 時間
---------------	----------------

(2) - 2 (1)で「1. ~ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、8時~18時のように24時間制でご記入ください。

家を出る時刻 _____ 時	帰宅時刻 _____ 時
----------------	--------------

問14 問13の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい





問17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- |   |
|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）                                    |
| 2. 幼稚園の一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）            |
| 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）             |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）                         |
| 5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの） |
| 6. 家庭的保育（養育者の家庭等で子どもを保育する事業）                          |
| 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）                         |
| 8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）            |
| 9. その他の認可外の保育施設                                       |
| 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）             |
| 11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）                   |
| 12. その他（ ）  |

問17-1 教育・保育の事業を利用したい場所についてうかがいます。次のいずれかに○をつけてください。

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1. 居住している市区町村内 | 2. 他の市区町村 |
|----------------|-----------|

問17-2 問17で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の一時預かり」に○をつけ、かつ「3. ～12.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

### 《宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます》

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～④の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
① 保健センターの育児相談	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
② 保健所や市役所の発達相談	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
③ 教育委員会や公民館などの家庭教育に関する学級・講座	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ
④ 教育委員会の教育相談	はい    いいえ	はい    いいえ	はい    いいえ



## 《幼稚園を利用の方のみお答えください》

問20 宛名のお子さんについて、通常の就園時間と夏休み・冬休みなどの長期休業について、一時預かりの利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

### (1) 通常

- |  |
|--|
| 1. 幼稚園において一時預かりを利用したい<br>⇒ 1週間当たり _____ 日 1日当たり _____ 時間 |
| 2. 幼稚園における一時預かりを利用する必要はない                                |

### (2) 長期休業（夏休み、冬休み、春休み）

- |                            |   |                     |
|----------------------------|---|---------------------|
| 1. 休みの期間中、ほぼ毎日、一時預かりを利用したい | ⇒ | 利用したい時間帯            |
| 2. 休みの期間中、週に数日、一時預かりを利用したい |   | _____ 時から _____ 時まで |
| 3. 幼稚園における一時預かりを利用する必要はない  |   |                     |

問21 問20(2)で、「2. 週に数日利用したい」方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため        |
| 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため  |
| 4. 息抜きのため             |
| 5. その他 ( _____ )      |

## 《宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます》

問16で「1. 利用している」に○をつけた方（平日の定期的な教育・保育を利用）にうかがいます。

⇒ 利用してない方は、問23へ

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- |        |         |         |       |
|--------|---------|---------|-------|
| 1. あった | ⇒問22-1へ | 2. なかった | ⇒問23へ |
|--------|---------|---------|-------|

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

	1年間の対処方法	日数	
ア	父親が休んだ	_____ 日	⇒問22-2へ
イ	母親が休んだ	_____ 日	
ウ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	_____ 日	⇒問22-5へ
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	_____ 日	
オ	病児・病後児の保育を利用した	_____ 日	

カ	ベビーシッターを利用した	_____日
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	_____日
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
ケ	その他（ _____ ）	_____日

⇒問22-5へ

問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- |                          |        |         |
|--------------------------|--------|---------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい | _____日 | ⇒問22-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない           |        | ⇒問22-4へ |

問22-3 問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業            |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業                         |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ _____ ）                                  |

⇒問23へ

問22-4 問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安           |
| 2. 地域の事業の質に不安がある                 |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない |
| 4. 利用料がかかる・高い                    |
| 5. 利用料がわからない                     |
| 6. 親が仕事を休んで対応する                  |
| 7. その他（ _____ ）                  |

⇒問23へ

問22-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

- |                   |        |         |
|-------------------|--------|---------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい  | _____日 | ⇒問23へ   |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい |        | ⇒問22-6へ |

問22-6 問22-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。  
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他 ( )

### 《宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます》

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不  
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべ  
てに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を数字でご記入ください。

1. 一時預かり  
(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業) \_\_\_\_\_ 日
2. 幼稚園の一時預かり  
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ) \_\_\_\_\_ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) \_\_\_\_\_ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ  
(児童養護施設等で、休日や夜間に子どもを保護する事業) \_\_\_\_\_ 日
5. ベビーシッター \_\_\_\_\_ 日
6. その他 ( ) \_\_\_\_\_ 日
7. 利用していない

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ( )

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不  
定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業  
を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○  
をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字で  
ご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計____日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	____日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	____日
ウ 不定期の就労	____日
エ その他（ ）	____日
2. 利用する必要はない ⇒問25へ	

問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	____泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	____泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	____泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	____泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	____泊
	カ その他（ ）	____泊
2. なかった		

問25で「1. あった ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 _____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 _____ 日くらい
4. 児童センター	週 _____ 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週 _____ 日くらい
6. 放課後児童クラブ ※2	週 _____ 日くらい →下校時から _____ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 _____ 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 _____ 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 _____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 _____ 日くらい
4. 児童センター	週 _____ 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週 _____ 日くらい
6. 放課後児童クラブ ※2	週 _____ 日くらい →下校時から _____ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 _____ 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 _____ 日くらい

問28 問26または問27で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		



問31で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問32へ

問31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問31-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問31-3 育児休業からは、実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

(1) 母親

(2) 父親

実際の取得期間	____ 歳	____ ヶ月	実際の取得期間	____ 歳	____ ヶ月
希望	____ 歳	____ ヶ月	希望	____ 歳	____ ヶ月

問31-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

(2) 父親

____ 歳	____ ヶ月	____ 歳	____ ヶ月
--------	---------	--------	---------

問31-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問31-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

(2) 父親

1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ( )	5. その他 ( )

「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

(2) 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ( )	6. その他 ( )

問3 1-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問3 1-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問3 1-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ( )

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる



## 大野市追加アンケート

問34 保育園、幼稚園、認定こども園を利用する時、何を基準に施設を選びましたか。利用していない場合は、何を基準に選ぼうと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 家から近いから
2. 職場に近いから
3. 保育・教育内容
4. 知人や友人からの情報
5. その他 ( )

問35 大野市の子育ての情報は、何から得ていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育園、幼稚園、認定こども園
2. 市役所の窓口
3. 市のホームページ
4. 市で作成している「大野市子育て支援情報」
5. 市の広報誌
6. 地域子育て支援センター
7. 子育て交流ひろば「ちくたつく」
8. 知人や友人
9. その他 ( )

問36 子育てアプリを利用していますか。または、利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している
2. 今は利用していないが、いずれ利用したい
3. 今は利用していないが、興味はある
4. 利用するつもりはない
5. その他 ( )

問37 マイナンバーカードを持っていますか。(回答いただいている方について)

1. 持っている
2. 持っていない

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
返信用封筒に入れ、各施設（幼稚園、保育園、認定こども園）へお戻しく下さい。

大野市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果

就学児童

令和元年6月

## 第1章 調査概要

調査概要

## 第2章 ニーズ調査結果

《お住まいの地域について》

《家族の状況について》

《放課後の過ごし方について》

## 第3章 自由意見

- ・【問11】 最後に、子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

## 第4章 調査票

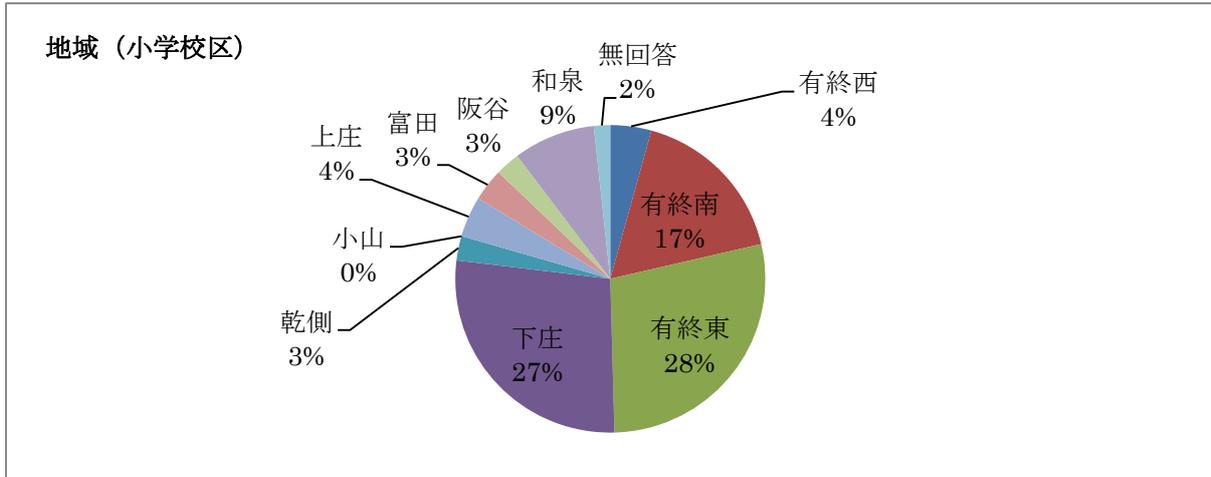
# 第1章 調査概要

- 1 調査名 大野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 就学児童用
- 2 調査の目的 子ども・子育て支援法第61条に基づく、第二期「大野市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料とするため、子育て家庭の子育て支援サービスの利用状況や利用希望等を把握する。
- 3 実施期間 平成30年12月中旬発送 ～ 平成31年1月11日
- 4 調査対象 大野市に住民登録のある就学児童保護者
- 5 調査地域 大野市全域
- 6 抽出数 155人
- 7 抽出方法 無作為抽出
- 8 調査方法
- ・各児童館に配布、回収を依頼
  - ・郵送配布、郵送回収
- 9 回収結果
- ・児童館に配布依頼した55通のうち、55通回収（回収率100%）
  - ・郵送配布100通のうち、62通回収（回収率62%）
- 【全体】
- |     |       |
|-----|-------|
| 配布数 | 155通  |
| 回収数 | 117通  |
| 回収率 | 75.5% |

## 第2章 ニーズ調査結果

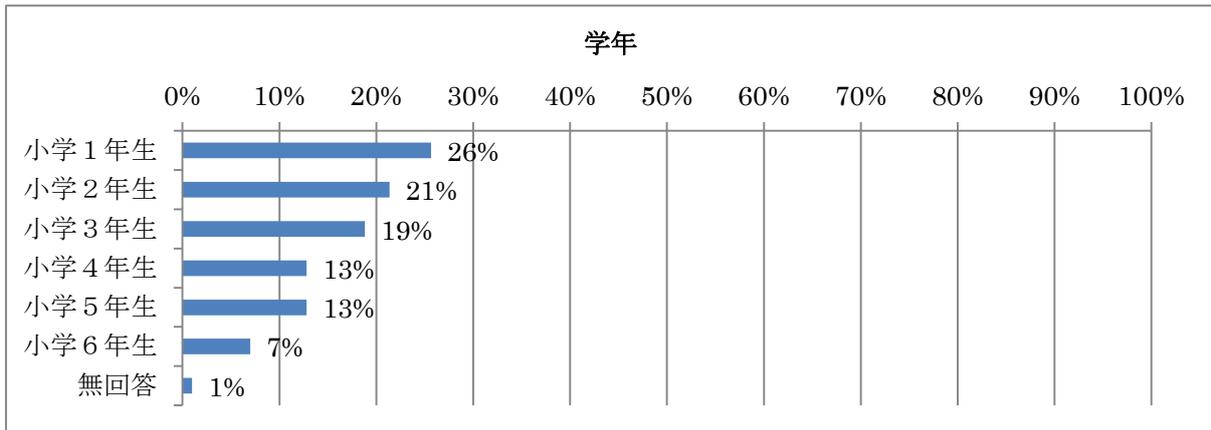
## 《お住まいの地域についてうかがいます》

問1 お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

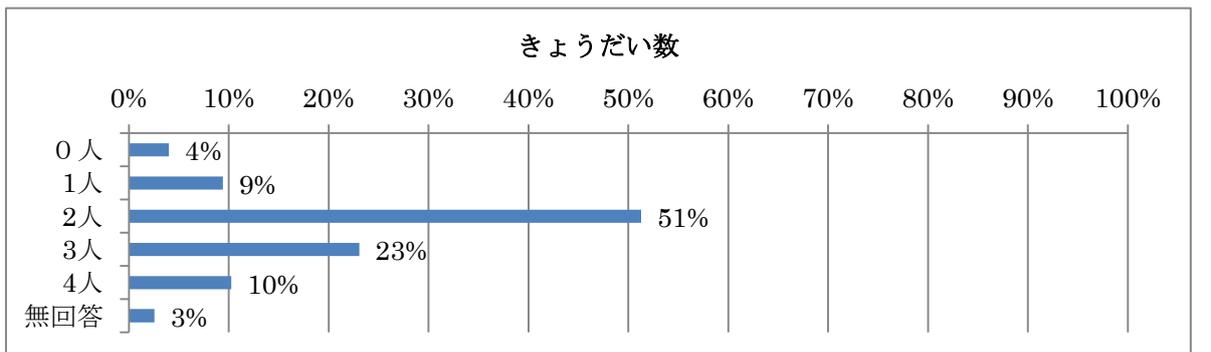


## 《封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます》

問2 宛名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。



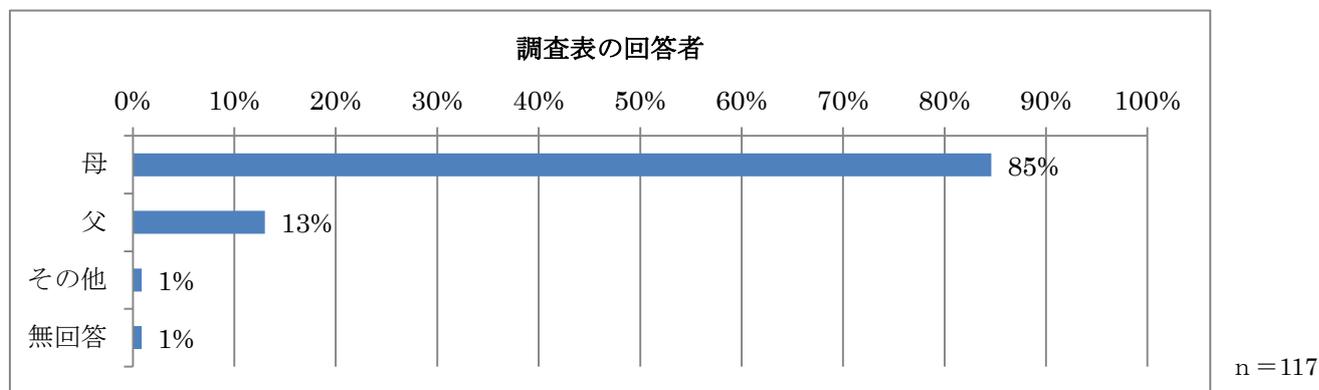
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。  
2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。



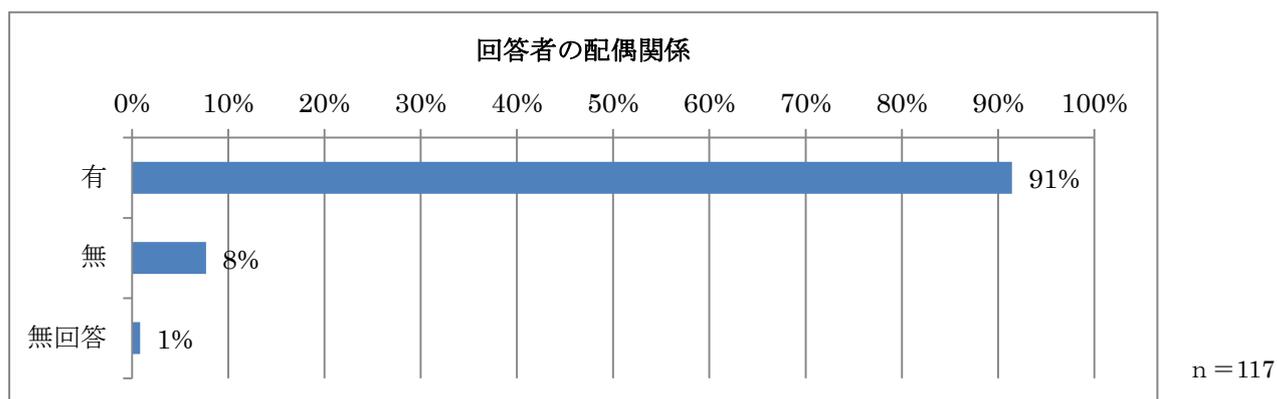
末子の生月日(お子さんが2人以上)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
19年度		2			2								4
20年度			1			1			1	1		1	5
21年度	1	2	1	2	2	0	1	1	1			3	14
22年度		3	3	1		1		1	1	1	2	2	15
23年度	1	1	3	3		2	3	1			3	1	18
24年度		2	1		1	1	1	1	1		1		9
25年度	1	1	2	2	1		1	1					9
26年度		1	1	1			1	1				1	6
27年度								1				1	2
28年度						1	1				1		3
29年度					1				1			1	3
30年度				2			1						3
無回答	8												
お子さんが2人以上の方のみ													99

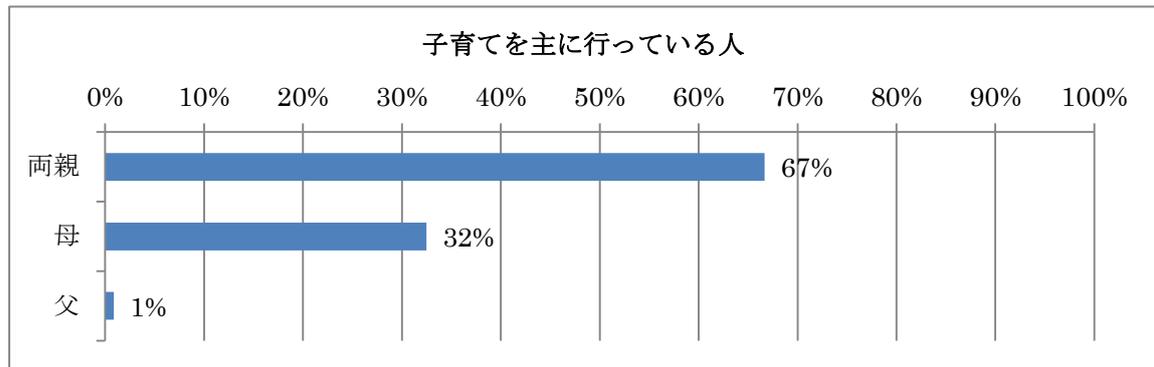
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



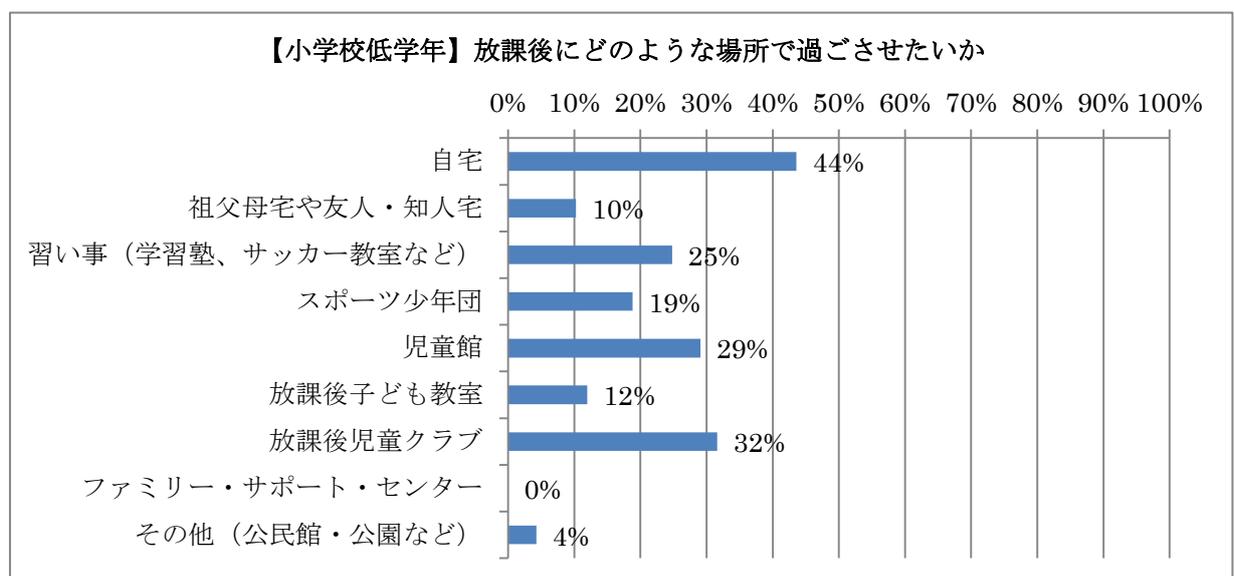
### 《お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます》

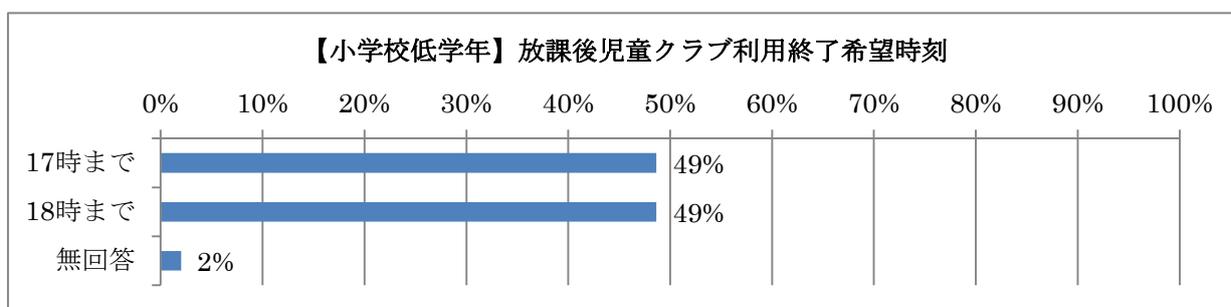
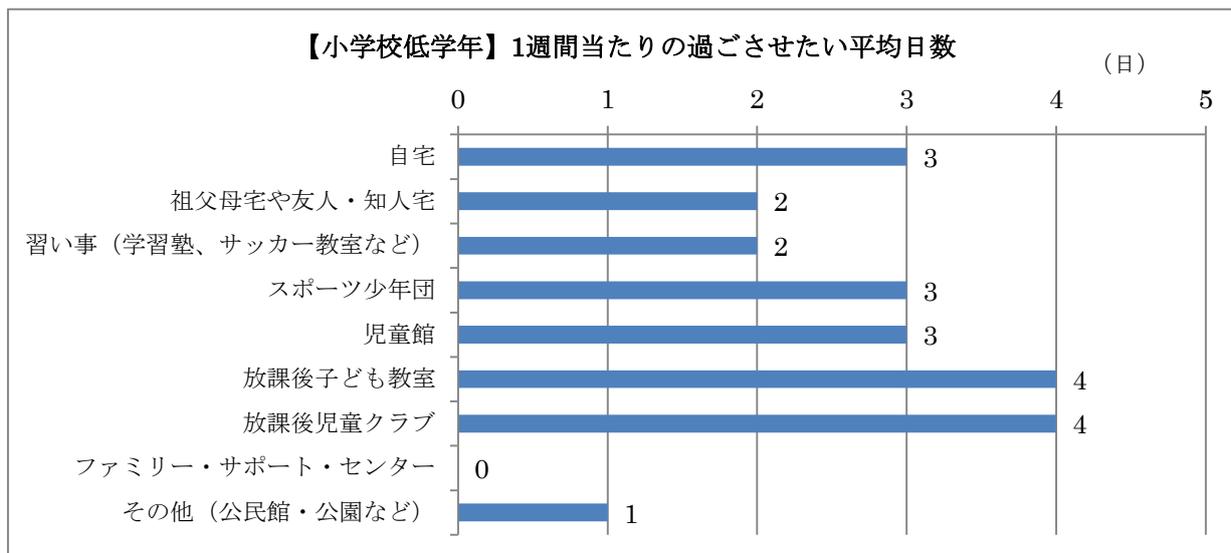
問7 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。大野市内には5つ（西部、南部、東部、北部、和泉）の放課後児童クラブがあります。

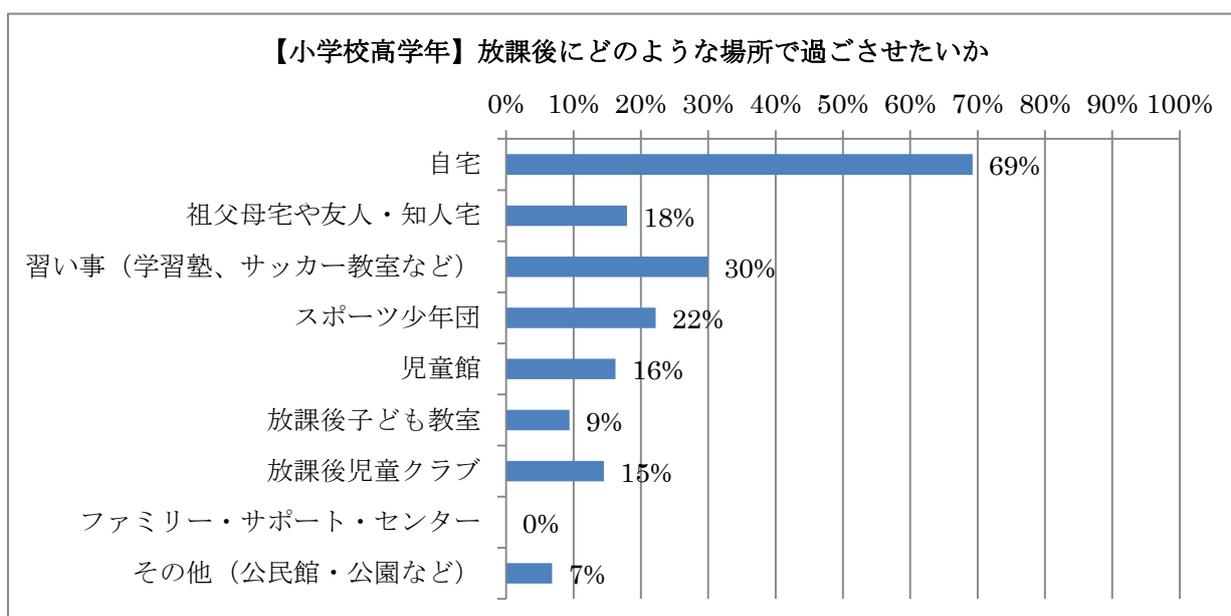
※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。大野市内には5つ（乾側、小山、上庄、富田、阪谷）の放課後子ども教室があります。

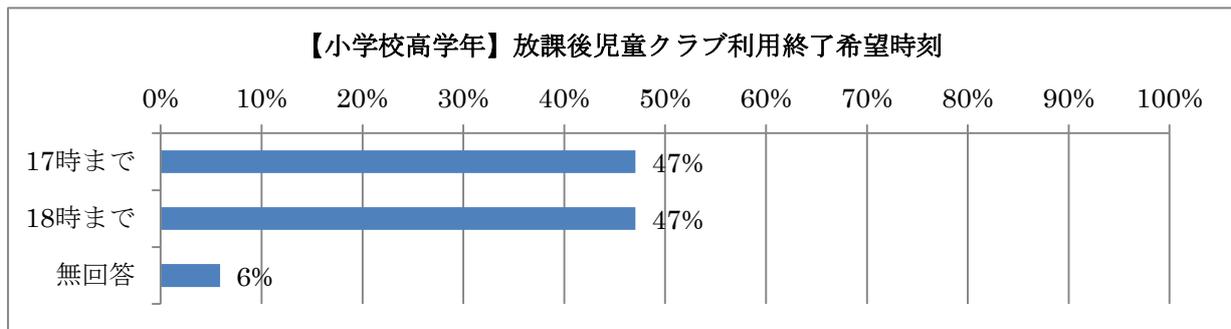
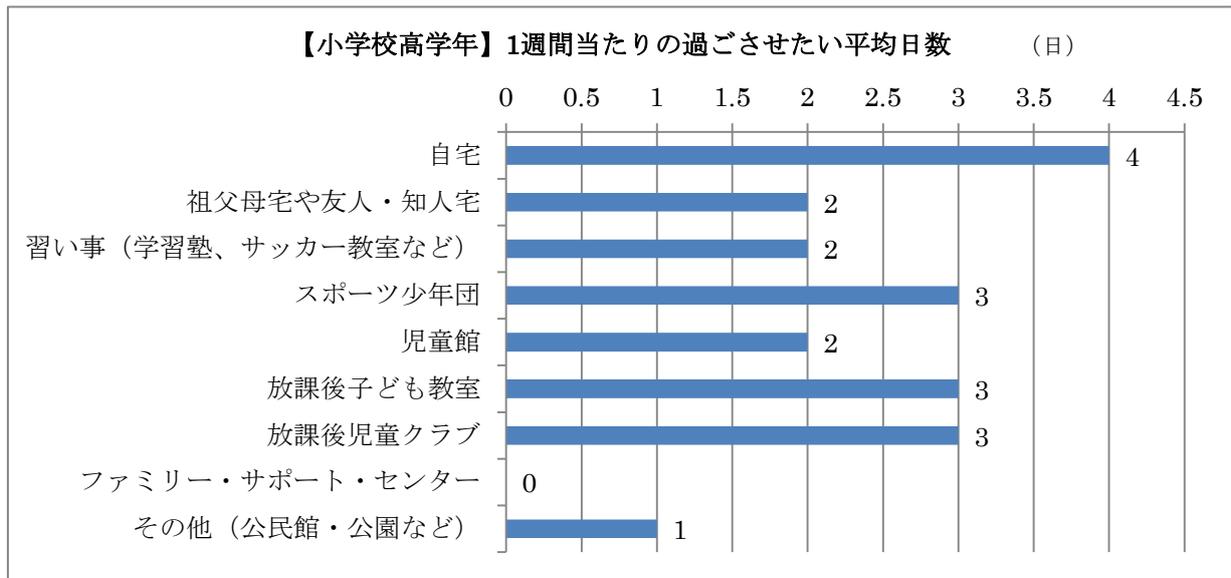
※ファミリーサポートセンター…子どもの預かりを希望する会員と、援助を行うことを希望する提供会員との相互援助活動に関する連絡・調整を実施する事業です。現在、大野市では実施していません。





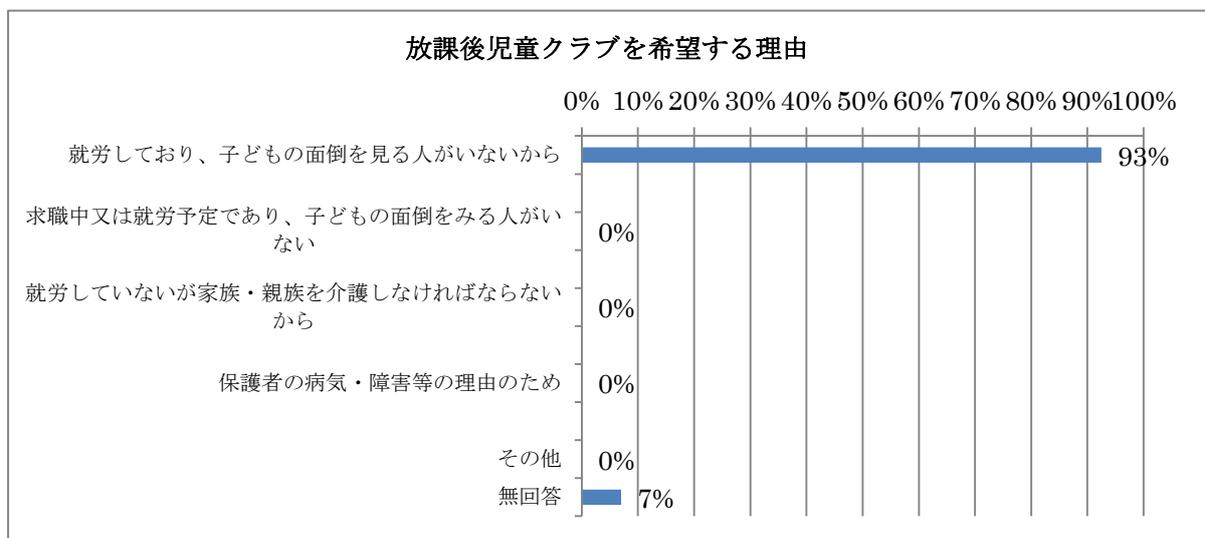
**問8 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。**





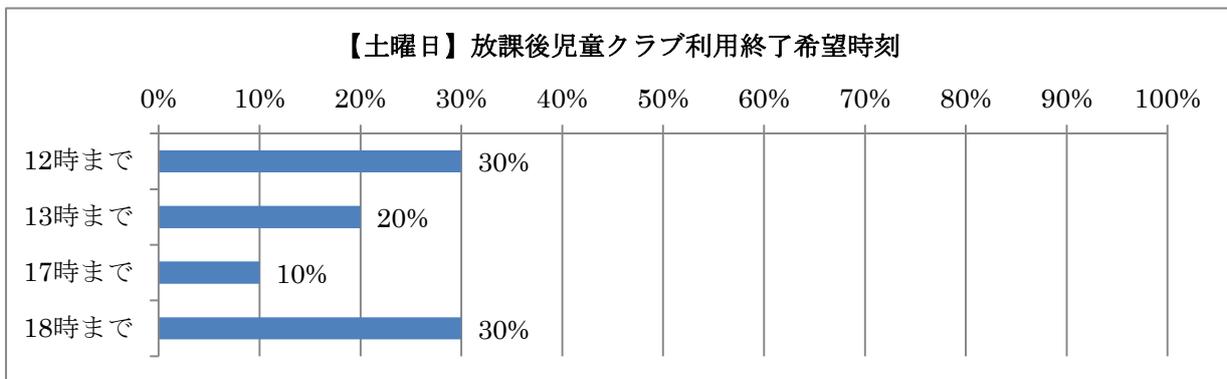
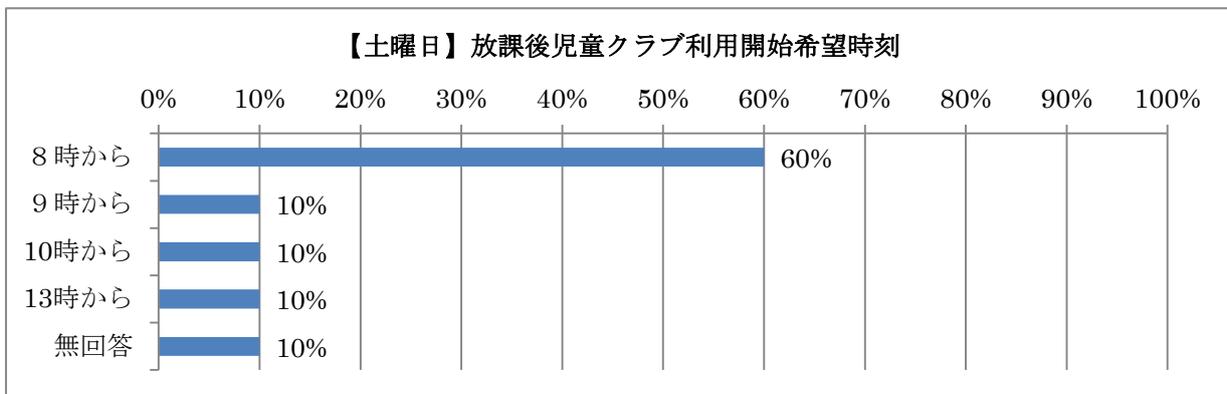
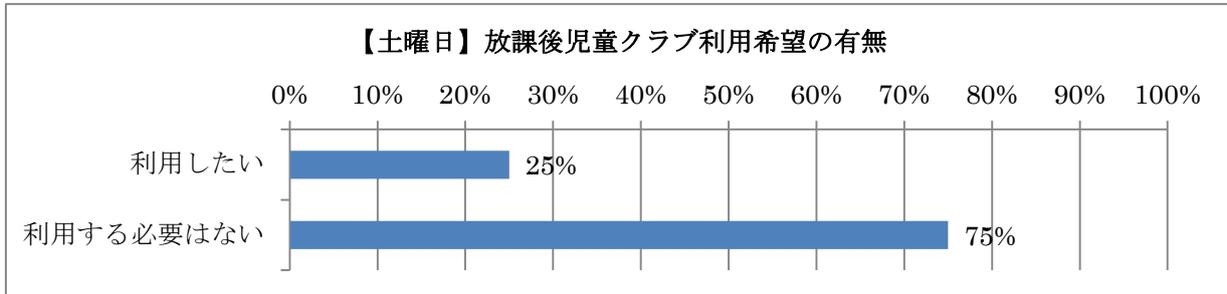
問9 問7および問8で「7. 放課後児童クラブ (児童館で実施)」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 希望する理由について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。

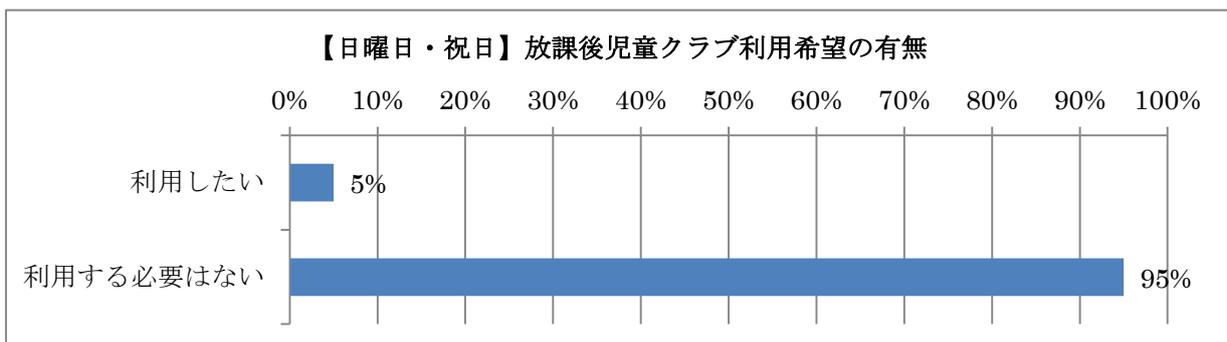


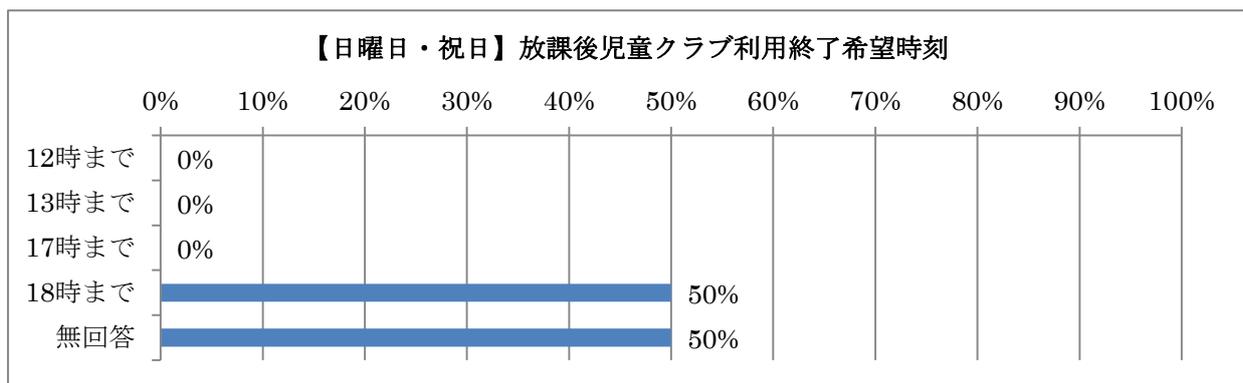
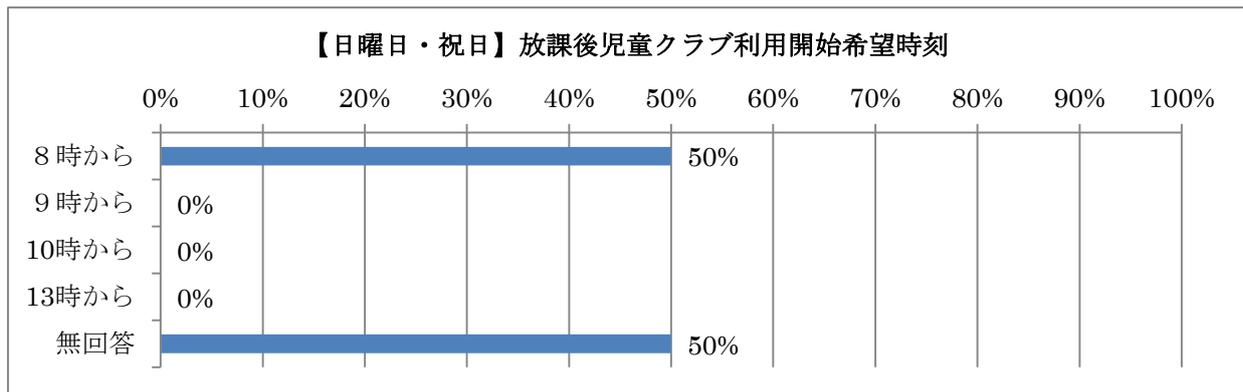
(2) 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。①②それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。時間は、9時～18時のように24時間制でご記入ください。

①土曜日



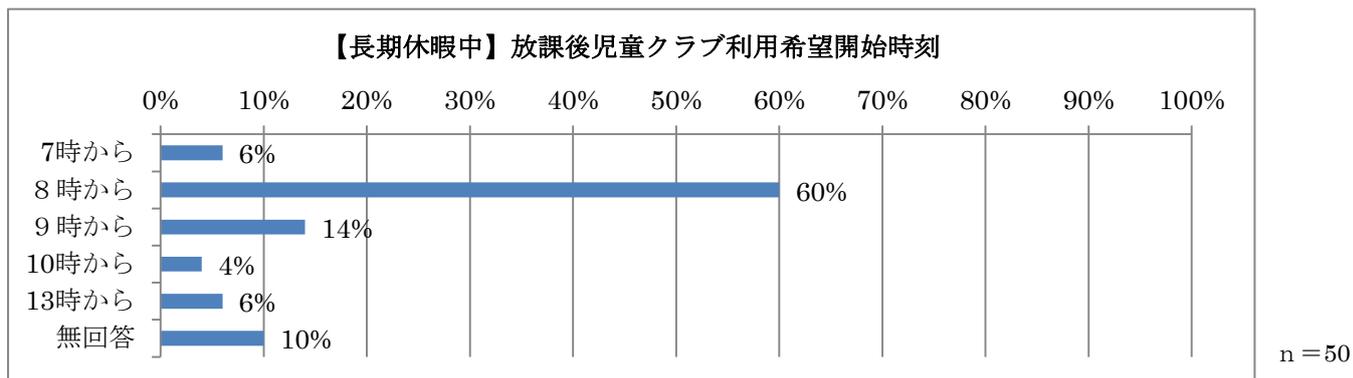
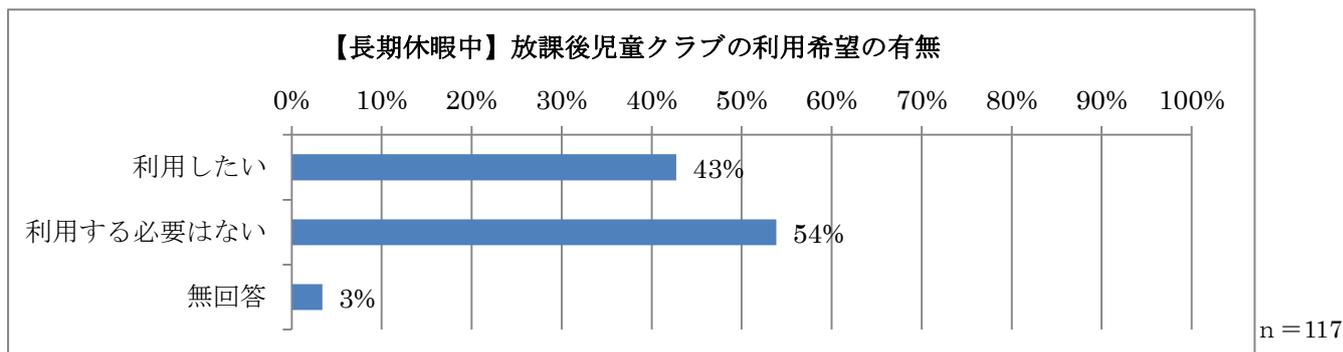
②日曜日・祝日

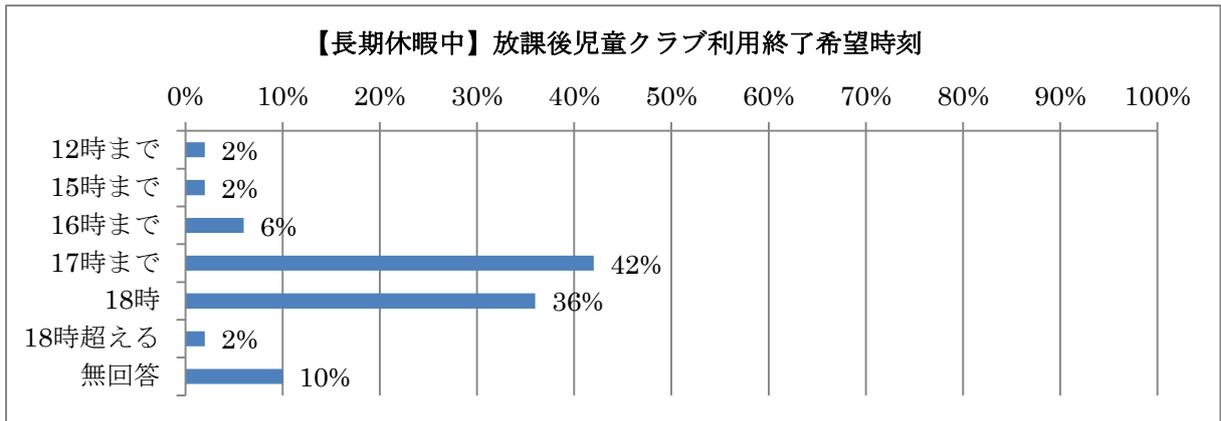




問10、11は、すべての方にうかがいます。

問10 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。





**問 1 1** 最後に、子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

別添のとおり

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

## 第3章 自由意見

問 1 1 最後に、子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

### 【34人から回答】

#### 1. 活動について

- ・その地区の特徴を生かした活動をたくさんしてほしい。
- ・学校の体育館をもっと使用できる日が増えたらよい。
- ・児童クラブで、いろんなことを学んだり経験したりできありがたい。
- ・放課後子ども教室や児童クラブで他の学校の友達も出来喜んでいる。感謝している。
- ・親子で楽しめる講座が年間を通してあるとよい。保育士や児童館の職員の安定した雇用環境、十分な給与、専門家の配置等を行うことが大野の財産になる。
- ・学校の体育館やホールが使用できる機会を増やしてほしい。
- ・児童クラブは高学年には少し物足りないのかもしれないが、保護者や子どもにとって必要な場所である。クリスマス会やものづくりの日などは喜んでいた。
- ・長期期間の宿題が少ない。

#### 2. 利用について

- ・友達と遊びたい気持ちが強く、行事があると喜んで児童館に行くがその他は行きたがらないこともある。児童館の存在はありがたい。
- ・夏休み・冬休み等の長期期間中も無料にしてほしい。
- ・北部児童館は下庄小学校から遠いため、途中怪我等の危険性がある。対策をお願いしたい。
- ・3年生になっても児童クラブを利用させてもらえると助かる。仕事で子どもと一緒にいられない間は児童クラブを利用したい。
- ・たまに面倒を見る人がいないときに気軽に利用できるとよい。
- ・下校時の子どもの安全に不安がある。児童館の利用規約（特例）を作してほしい。
- ・家族全員がサービス業または看護、福祉業のため、放課後児童クラブも土・日・祝日の開設を検討してほしい。
- ・祖父と同居のため児童クラブが利用できなかった。家庭の事情によって柔軟に対応してほしい。
- ・長期休暇の時に児童クラブを利用するが、慣れないためストレスを感じるようだ。解決策があるとよい。
- ・子どもが2年生で児童クラブを利用したいが、祖母がいるときは利用できない現状。祖母は通院等で不在の時もあり、長期休暇になると一人で待たせることがとても不安。
- ・放課後児童クラブにおける長期休暇期間の弁当作りは負担なので希望者は注文できるとよい。

- ・ 3年生の時に児童館の職員からの利用に関しての対応で、子どもが行きたがらずやめた。安心して利用できる児童クラブであってほしい。改善希望。
- ・ 父母が仕事をしているため、放課後や長期休暇等子どもは祖母宅で過ごし、助かっている。
- ・ 子どもを一人で家にいさせたくないが、4年生の時に児童館の職員から言われた言葉がきっかけで行けなくなったので、習い事やスポ少に入らせた。
- ・ 児童館が、18時前になると迎えに来るよう電話がかかってくるが、仕事が18時までなので18時半まで預かってもらえると助かる。

### 3. 放課後子ども教室について

- ・ 放課後子ども教室は、給食がない日は受け入れてもらえず困っている。弁当持参での受け入れをしてほしい。
- ・ 放課後子ども教室を初めて知り、利用してみたいと思ったが、連れてまでは行けないので残念だ。
- ・ 放課後子ども教室はとても有難いが、学校で先生に怒られ子ども教室でも厳しい職員がいると聞く。
- ・ 長期期間中、放課後子ども教室を利用できるとよいと思うが、無理だと理解している。核家族で両親が就労している場合、利用しやすい施設があるとよいと思う。保育園で共同生活があると助かる。放課後児童クラブは、平日利用していないため利用しにくい。

### 4. その他

- ・ エンゼルランドのような施設と小児科を含む総合病院が必要。平日夜間の小児を対象とした救急センターの充実を望む。
- ・ 医療費の助成が中3までなので良いと思う。学校の制服や体操服等をそろえると金額的に負担なので、制服をやめて私服にしてはどうか。
- ・ 子どもが3人いる家庭に何かしらの特典がほしい。
- ・ インフル予防接種の補助を検討してほしい。(子どもの数×2回接種は負担が大きいため、毎年受けられない)
- ・ インフルエンザ等任意接種の補助をしてほしい。
- ・ 母親一人で子育てをしようと思うと、公共の支援より家政婦等のほうが助かる気がする。
- ・ 学校から家までが遠いため、仕方なく公民館で過ごさなければいけない子もいる。地域の人子どもを見ているが、指導面など不安がある。

## 第4章 調査票

## 《お住まいの地域についてうかがいます》

問1 お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |        |        |        |       |        |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| 1. 有終西 | 2. 有終南 | 3. 有終東 | 4. 下庄 | 5. 乾側  |
| 6. 小山  | 7. 上庄  | 8. 富田  | 9. 阪谷 | 10. 和泉 |

## 《封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます》

問2 宛名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。

平成	年	月	生まれ	小学	年生
----	---	---	-----	----	----

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数	人	末子の生年月	平成	年	月	生まれ
--------	---	--------	----	---	---	-----

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 ( ) |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |       |       |        |            |
|----------|-------|-------|--------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. その他 ( ) |
|----------|-------|-------|--------|------------|

## 《お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます》

問7 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。大野市内には5つ（西部、南部、東部、北部、和泉）の放課後児童クラブがあります。

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。大野市内には5つ（乾側、小山、上庄、富田、阪谷）の放課後子ども教室があります。

※ファミリーサポートセンター…子どもの預かりを希望する会員と、援助を行うことを希望する提供会員との相互援助活動に関する連絡・調整を実施する事業です。現在、大野市では実施していません。

1. 自宅	週 _____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 _____ 日くらい
4. スポーツ少年団	週 _____ 日くらい
5. 児童館	週 _____ 日くらい
6. 放課後子ども教室	週 _____ 日くらい
7. 放課後児童クラブ (児童館で実施)	週 _____ 日くらい →下校時から _____ 時まで
8. ファミリー・サポート・センター	週 _____ 日くらい
9. その他 (公民館、公園など)	週 _____ 日くらい

問8 宛名のお子さんについて、**小学校高学年 (4～6年生)** になったら、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 _____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 _____ 日くらい
4. スポーツ少年団	週 _____ 日くらい
5. 児童館	週 _____ 日くらい
6. 放課後子ども教室	週 _____ 日くらい
7. 放課後児童クラブ (児童館で実施)	週 _____ 日くらい →下校時から _____ 時まで
8. ファミリー・サポート・センター	週 _____ 日くらい
9. その他 (公民館、公園など)	週 _____ 日くらい

問9 問7および問8で「7. 放課後児童クラブ (児童館で実施)」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 希望する理由について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。

1. 就労しており、子どもの面倒をみる人がいないから
2. 求職中、または就労予定であり、子どもの面倒をみる人がいないから
3. 就労していないが、家族・親族を介護しなければならないから
4. 保護者の病気・障がい等の理由による
5. その他 ( _____ )

(2) 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。①②それぞれについて、当てはまる番号 1つに〇をつけてください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。時間は、9時～18時のように24時間制でご記入ください。

①土曜日

1. 利用したい	利用したい時間帯	_____	時から	_____	時まで
2. 利用する必要はない					

②日曜日・祝日

1. 利用したい	利用したい時間帯	_____	時から	_____	時まで
2. 利用する必要はない					

問10、11は、すべての方にかがいます。

問10 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1つに〇をつけてください。また利用したい時間帯を、9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 利用したい	利用したい時間帯	_____	時から	_____	時まで
2. 利用する必要はない					

問11 最後に、子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封しました封筒に入れ、郵送してください。